

書評 201909



児玉源太郎

長南 政義 著

作品社

台湾統治を軌道に乗せ、日露戦争を勝利に導いた“窮境に勝機を識る”名将・児玉源太郎の実像を、明治軍事史の専門家が軍事学的視点と新史料「児玉源太郎関係文書」を使用し描き出す。

2019:6./ 18p,427p

978-4-86182-752-5

本体 ¥3,400+税



産経新聞 2019/09/01



ネオジパング〜21ST-CENTURY JAPAN〜

高橋 歩、EXILE ?SA 著

A-Works

21世紀の日本には、素晴らしいヒト・モノ・コトが溢れている! 日本のスペシャルな8つの特徴、日本発祥の面白いモノ、伝統と最新をミックスした新しい日本のカルチャーを、豊富なビジュアルで紹介する。

2019:6./ 259p

978-4-902256-86-4

本体 ¥1,600+税



産経新聞 2019/09/01



石原裕次郎昭和太陽伝(叢書・20世紀の芸術と文学)

佐藤 利明 著

アルファベータブックス

昭和を駆け抜いた男、石原裕次郎。誕生からトップスターとして駆け抜けた青春期、そして病苦と闘い続けた晩年まで、その生涯を編年体でたどる。伝記と記録、作品論が融合した本格評伝。

2019:7./ 477p

978-4-86598-070-7

本体 ¥3,800+税



産経新聞 2019/09/01



詩情のスケッチ〜批評の即興〜

新保 祐司 著

藤原書店

近代日本において信仰の本質を看取した存在を通して<絶対なるもの>に貫かれる経験を批評の軸としてきた新保祐司。文学・思想・音楽の手応えを簡明かつ鮮烈に素描した批評を集成。『表現者』『音楽現代』ほか掲載を書籍化。

2019:7./ 282p

978-4-86578-233-2

本体 ¥2,500+税



産経新聞 2019/09/01



八本目の槍

今村 翔吾 著

新潮社

秀吉の配下となった8人の若者たち。武勲を上げた7人は「賤ヶ岳の七本槍」とよばれるように。己の望みに正直な男たちは、迷いながらも別々の道を進む。残りのひとり、石田三成は時代に抗い…。『小説新潮』掲載を単行本化。

2019:7./ 394p

978-4-10-352711-4

本体 ¥1,800+税



産経新聞 2019/09/01

- ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、ISBNも併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会には弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- 表示価格は2019年9月時点での税抜価格です。



ラッコの家

古川 真人 著
文藝春秋

見えないからこそ見えてくるものがある。夢とリアルが絶え間なく交錯する老女は、自らの空想に怯えていたことを笑い飛ばして生きる…。『文學界』掲載の表題作と、『新潮』掲載の「窓」を収録する。

産経新聞 2019/09/01

2019:7./ 217p

978-4-16-391086-4

本体 ¥1,500+税



100年後まで残したい日本人のすごい名言

齋藤 孝 著
アスコム

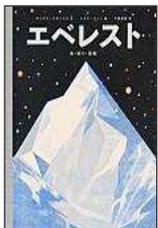
フラフラと動きやすく折れやすい心を支えてくれるのが名言。時代を越えて残したい、普遍的な価値を持つ名言を紹介。言葉の持つストーリーや、込められた想い、「使い方」なども掲載する。

産経新聞 2019/09/01

2019:7./ 221p

978-4-7762-1051-1

本体 ¥1,400+税



エベレスト〜命・祈り・挑戦〜

サンダマ・フランシス、リスク・フェン、千葉 茂樹 著
徳間書店

およそ 5 千万年前に誕生した世界でいちばん高い山、エベレスト。その誕生の理由や生息する動植物、伝説、登山家たちなど、さまざまな角度からエベレストとヒマラヤ山脈の魅力をさぐる。

産経新聞 2019/09/01

2019:7./ 72p

978-4-19-864891-6

本体 ¥2,800+税



球数制限〜野球の未来が危ない!〜

広尾 晃 著
ビジネス社

過酷な登板が続けば、投手は必ず壊れる! 「球数制限」の背景に、どんな問題が存在し、解決に向けてどんな方法論があるのか。野球関係者、医師、専門家にインタビューし、野球少年の未来を考える。

産経新聞 2019/09/01

2019:8./ 255p

978-4-8284-2124-7

本体 ¥1,600+税



最高の顧客が集まるブランド戦略〜ボルボはいかにして「無骨な外車」からプレミアムカーへ進化したのか〜

木村 隆之、小沢 コージ 著
幻冬舎メディアコンサルティング

経営は「データ」「アイデア」「ストーリー」だ! ボルボ・カー・ジャパンを再生させた敏腕社長が、4 年間で売上 1.6 倍にした大躍進の鍵を自ら明かす。著者らの対談も収録。

産経新聞 2019/09/07

2019:7./ 215p

978-4-344-92319-5

本体 ¥1,500+税



ブラ酒場〜女も酔う奇跡の 55 店〜

本郷 明美 著
講談社

お酒、絶品おつまみ、店主やおかみさんとのやり取り、おなじみさんとの会話…。『おとなの週末』居酒屋担当の著者が、15 年かけて訪れた 3300 軒から厳選した 55 の酒場を紹介。覆面調査の裏側も公開する。

産経新聞 2019/09/08

2019:4./ 254p

978-4-06-515593-6

本体 ¥1,000+税





「戦場のピアニスト」を救ったドイツ国防軍将校～ヴィルム・ホーゼンフェルトの生涯～

ヘルマン・フィンケ、高田 ゆみ子 著

白水社

迫害された数多のポーランド人やユダヤ人を救済した、「正義の人」ヴィルム・ホーゼンフェルトの素顔とは？ 生い立ちからソ連の捕虜となり獄死するまでの悲運の生涯を、書簡と日記で再現する。写真多数収録。

2019:7./ 332p,2p

978-4-560-09712-0

本体 ¥2,800+税



産経新聞 2019/09/08



季語を知る(角川選書 622)

片山 由美子 著

KADOKAWA

時に解釈の分かれる季語。古今の歳時記をひもとき、季語の本意と疑問点を明らかにする。実作・鑑賞に役立つ季語論。『俳句』連載にエッセイを加えて書籍化。

2019:6./ 235p

978-4-04-703678-9

本体 ¥1,600+税



産経新聞 2019/09/08



私は幽霊を見ない

藤野 可織 著

KADOKAWA

心霊体験をしたいがために、廃墟訪問までしたが、ニアミスまでは体験できたものの、幽霊には会えていない…。“日常のずれ”を描いた著者初めてのエッセイ。『Mei(冥)』『幽』連載に書き下ろしを加えて書籍化。

2019:8./ 205p

978-4-04-108188-4

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2019/09/08



秋吉敏子と渡辺貞夫(新潮新書 826)

西田 浩 著

新潮社

ジャズとの出会い、アメリカでの修業、そして世界的ミュージシャンとしての栄光。戦後日本ジャズ史に重なる秋吉敏子と渡辺貞夫の人生を、本人たちへの長年の取材を基に描き出す。ペギー葉山らレジェンドたちの証言も満載。

2019:8./ 183p

978-4-10-610826-6

本体 ¥720+税



産経新聞 2019/09/08



「朝ドラ」を観なくなった人は、なぜ認知症になりやすいのか?

奥村 歩 著

幻冬舎

脳を衰えさせやすい人の共通傾向とは？ もの忘れ外来で 10 万人以上の患者を診た医師が、どのような考え方や行動をとっていけば、脳を健康なままにキープしていくことができるのかを、じっくりと解説する。

2019:8./ 253p

978-4-344-03493-8

本体 ¥1,200+税



産経新聞 2019/09/08



北朝鮮と観光

磯崎 敦仁 著

毎日新聞出版

観光で読み解く、金正恩政権の実態。日本人観光客の受け入れが始まった1987年以降、とりわけ金正日政権期と金正恩政権初期の北朝鮮観光がいかなるものであったかを、主に日本と北朝鮮で公開された多様な資料をもとに描く。

2019:7./ 220p

978-4-620-32593-4

本体 ¥2,000+税



産経新聞 2019/09/08、毎日新聞 2019/09/22



この世を生き切る醍醐味(朝日新書 729)

樹木 希林 著
朝日新聞出版

樹木希林は、なぜあれほど“平気に”死んだのか？ 全身がんで世を去る半年前、7 時間に及ぶ最後のロングインタビューを全収録。生老病死をおもしろがるヒントが満載。娘・内田也哉子のインタビューも掲載する。

2019:8./ 261p
978-4-02-295037-6

本体 ¥810+税



産経新聞 2019/09/14



いるいないみらい

窪 美澄 著
KADOKAWA

妊活を始めて 4 カ月。時間がないとあせる妻に対し、夫の睦生は…。子どもがいてもいなくても、毎日を懸命に生きるすべての人へそっと手を差し伸べてくれる全 5 編を収録。『小説野性時代』掲載を単行本化。

2019:6./ 221p
978-4-04-105492-5

本体 ¥1,400+税



産経新聞 2019/09/15



新宿二丁目(新潮新書 818)

伏見 憲明 著
新潮社

ゲイバー、女装系、レズビアン系バー…。世界最大の多様性をかかえる新宿二丁目は、なぜ、どのようにしてそうなったのか。この街でゲイバーを経営する著者が、関係者への丹念な取材を積み重ね、知られざる歴史をひも解く。

2019:6./ 270p
978-4-10-610818-1

本体 ¥820+税



産経新聞 2019/09/15



長寿と画家～巨匠たちが晩年に描いたものとは？～

河原 啓子 著
フィルムアート社

魂の叫びを作品にぶつけてきた美術家たち。ゴヤ、ルノワール、ピカソ、葛飾北斎、岡本太郎といった 15 人の長寿の画家たちの代表作や晩年期の作品から画業、私生活、出来事などをたどり、老境を考える。

2019:6./ 211p,11p
978-4-8459-1817-1

本体 ¥1,800+税



産経新聞 2019/09/15



だれかに話したくなる相撲のはなし

十枝 慶二 著
海竜社

記録に残る最初の相撲は？ 貴乃花親方はなぜ角界を去った？ 相撲のルーツにまでさかのぼり、現在の大相撲のなりたちにかかわるさまざまなエピソードを紹介する。書下ろしに『月刊相撲』等掲載の記事を加えて単行本化。

2019:9./ 188p
978-4-7593-1677-3

本体 ¥1,400+税



産経新聞 2019/09/15



イヴリン嬢は七回殺される

スチュアート・タートン、三角 和代 著
文藝春秋

婚約披露の宴の夜、令嬢イヴリンが殺された。この夜を何度もループすることになった私は事件を阻止しようとするが…。英国調の正統派ミステリの舞台にタイムループと人格転移という SF 要素を組み込んだ超絶 SF 本格ミステリ。

2019:8./ 421p
978-4-16-391048-2

本体 ¥2,000+税



産経新聞 2019/09/15



巨大空港

鎌田 歩 著
福音館書店

世界の空とつながる空港に、朝いちばんの飛行機がやってきました。きょうも空港の1日が始まります。人、もの、車、そして飛行機のにぎやかな1日を描いた絵本。ターミナルを図解した約1.2mの観音開きページあり。

産経新聞 2019/09/15

2019:9./ 30p

978-4-8340-8479-5

本体 ¥1,500+税



アネモネの姉妹リコリスの兄弟

古内 一絵 著
キノブックス

兄弟姉妹は、最も近くにおいて、最も謎の関係。アネモネ、ヒエンソウ、リコリス…。花ことばをモチーフにした連作短編集。全6編を収録する。webマガジン『キノノキ』連載を加筆修正し書籍化。

産経新聞 2019/09/15

2019:8./ 308p

978-4-909689-50-4

本体 ¥1,800+税



おしゃべりながんの図鑑～病理学から見たわかりやすいがんの話～

小倉 加奈子 著
CCCメディアハウス

病理診断がどのように行われているのか紹介するとともに、様々な病気の中でも特に病理診断が重要ながんの特化して、病理学的な解説を加える。最新のがん治療についても説明し、病理学者・仲野徹との対談も掲載。

産経新聞 2019/09/15、読売新聞 2019/09/15

2019:6./ 251p

978-4-484-19220-8

本体 ¥1,600+税



日本の伝統文化<1> 伝統文化

五味 文彦 著
山川出版社

日本文化の継承と創造の歴史をひもとく。1は、伝統文化の基層である古代から近世まで、9世紀初頭の宮廷文化形成期にあたる嵯峨朝の時代を重視し、伝統文化の形成と展開を明らかにする。

産経新聞 2019/09/21、朝日新聞 2019/09/21

2019:8./ 5p,476p,14p

978-4-634-21301-2

本体 ¥4,000+税



かなしきデブ猫ちゃん

早見 和真、かのう かりん 著
愛媛新聞社

愛媛・道後に住む家族の飼い猫「マル」。人間を観察しながら優雅に過ごしているが、メス猫「スリジェ」が家族に加わり生活は一変。ふてくされて家出をし、県内各地を大冒険!『愛媛新聞』土曜日付の連載を加筆し書籍化。

産経新聞 2019/09/22

2019:3./ 79p

978-4-86087-143-7

本体 ¥1,800+税



バッシング論(新潮新書 816)

先崎 彰容 著
新潮社

日本人はなぜかくも余裕を失ったのか。くり返されるバッシング、謝罪と反省のなかに浮かびあがる社会の構造変化をとらえ、異様なまでに「マジメ」な人たちであふれた「美しい国」の病根をえぐりだす。

産経新聞 2019/09/22

2019:6./ 203p

978-4-10-610816-7

本体 ¥740+税





朝鮮戦争と日本・台湾「侵略」工作(PHP新書 1197)

江崎 道朗 著

PHP研究所

GHQ、トルーマン、スターリン、?介石、毛沢東は日本とアジアをどのように改造しようとしたのか。朝鮮戦争はいかにして起こり、日本は紛争に巻き込まれたのか。知られざる日本・台湾の「侵略」工作を明らかにする。

2019:8./ 371p

978-4-569-84349-0

本体 ¥1,100+税



産経新聞 2019/09/22



ルネ・シャール詩集～評伝を添えて～

ルネ・シャール、野村 喜和夫 著

河出書房新社

20世紀フランス語圏を代表する詩人のひとり、ルネ・シャールの膨大ともいえる詩集から、代表的な40余篇を選び、現代詩の第一人者の新訳で収録。その詩と生涯を辿る評伝も付す。

2019:7./ 277p

978-4-309-20774-2

本体 ¥2,900+税



産経新聞 2019/09/22



落日

湊 かなえ 著

角川春樹事務所

新人脚本家の甲斐千尋は、新進気鋭の映画監督・長谷部香から、新作の相談を受けた。香は15年前に起きた、判決も確定している「笹塚町一家殺害事件」を手がけたいというが…。絶望の淵を見た人々の祈りと再生の物語。

2019:9./ 380p

978-4-7584-1342-8

本体 ¥1,600+税



産経新聞 2019/09/22



カスハラ～モニター化する「お客様」たち～

NHK「クローズアップ現代+」取材班 著

文藝春秋

いきなりネットに名前をさらす、大声で値引きを迫る…。広がる一方のカスハラ(顧客の迷惑行為)の事例とその対策を紹介する。NHKの番組「クローズアップ現代+」の放送内容をもとに情報を追加し書籍化。

2019:8./ 220p

978-4-16-391081-9

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2019/09/22



老父よ、帰れ

久坂部 羊 著

朝日新聞出版

老人ホームから認知症の父を自宅に引き取った、45歳の好太郎。父の介護に懸命に取り組むが…。高齢者医療を知る医師でもある著者が、家族の悲喜劇を描く。『小説トリッパー』連載を改題、加筆修正して書籍化。

2019:8./ 283p

978-4-02-251626-8

本体 ¥1,600+税



産経新聞 2019/09/22



知識ゼロからの植物の不思議

稲垣 栄洋 著

幻冬舎

春に咲く花が多いのはなぜ? サボテンにはなぜトゲがあるの? 計算高くて、したたかな植物たちの話を、Q&A形式で紹介する。理科の学習にも役に立つ、おもしろ知識が満載。

2019:8./ 142p

978-4-344-90339-5

本体 ¥1,300+税



産経新聞 2019/09/22



遠い他国でひょんと死ぬるや

宮内 悠介 著
祥伝社

単身フィリピンに渡り、激戦地ルソン島で戦死した詩人・竹内浩三の足跡を辿りはじめた須藤。山下財宝、山岳民族、イスラム独立闘争...須藤はそこで何を見たのか。『小説 NON』連載を加筆し書籍化。

2019:9./ 347p
978-4-396-63575-6

本体 ¥1,700+税



産経新聞 2019/09/22



虫の文学誌

奥本 大三郎 著
小学館

バルザックの「幻滅」に登場する昆虫学者、「日本書紀」にみえるトンボ、「源氏物語」のホタル...。古今東西の文学を涉猟し、虫に関わる箇所を抜き出し、考察する人間論。NHK 教育テレビのテキストを元に書籍化。

2019:7./ 447p

978-4-09-388706-9

本体 ¥3,700+税



産経新聞 2019/09/29



世界を救う100歳老人

ヨナス・ヨナソン、中村 久里子 著
西村書店

101歳のアランと親友のユーリウスが乗った熱気球がインド洋に不時着。漂流していたところを北朝鮮の船に助けられ...。各国のリーダーを翻弄するドタバタアドベンチャー。「窓から逃げた100歳老人」の続編。

2019:7./ 421p

978-4-89013-799-2

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2019/09/29



モンスーン(エクス・リブリス)

ピョン ヘヨン 著
白水社

ユジンとテオの夫婦関係は冷めきって、会話が成り立たない。きっかけは、生まれて間もないわが子の死だった。表題作ほか「ウサギの墓」「少年易老」など、反復される日常に潜む人間存在の不条理と謎を描いた全9篇を収録。

2019:8./ 242p

978-4-560-09060-2

本体 ¥2,000+税



産経新聞 2019/09/29



イギリスの失敗〜「合意なき離脱」のリスク〜(PHP新書 1196)

岡部 伸 著
PHP研究所

世界経済への悪影響が必至の「合意なき離脱」を、イギリスはなぜ進めるのか。老大国の「失敗」から、日本が知っておくべき「教訓」とは。国民投票後の現地情勢を、産経新聞ロンドン支局長として体感した著者がレポートする。

2019:9./ 221p

978-4-569-84350-6

本体 ¥920+税



産経新聞 2019/09/29



CIAスパイ養成官〜キョ・ヤマダの対日工作〜

山田 敏弘 著
新潮社

CIAで日本語を教え、多くのスパイを育て上げたキョ・ヤマダ。教え子たちは数々の対日工作に関わり、キョ自らも秘匿任務に従事していた。歴史に埋もれたキョの数奇な人生と、知られざる日米諜報秘史を綴る。

2019:8./ 223p

978-4-10-334772-9

本体 ¥1,450+税



産経新聞 2019/09/29



ボッティチェッリの裏庭

梶村 啓二 著
筑摩書房

タカオの親友フランツがスイスで謎の死を遂げ、未亡人が何者かに誘拐された。身柄はフランツが所有していた絵と交換だという。その絵とはルネサンスの巨匠が遺した未発見の真筆。タカオはまだ見ぬ名画の搜索に乗り出した...

産経新聞 2019/09/29

2019:8./ 253p
978-4-480-80488-4

本体 ¥1,800+税



平尾誠二名言録～人を動かす 120の言葉～

平尾 誠二 著
宝島社

“ミスターラグビー”平尾誠二が遺した言葉から、「人を動かす」をキーワードに構成。自己を変革し、他者に影響を与え、そして組織をも動かす 120 の言葉を通して、平尾誠二の生きざま、リーダーとしての考え方を伝える。

産経新聞 2019/09/29

2019:8./ 263p
978-4-8002-9765-5

本体 ¥1,300+税



武蔵野 改版(新潮文庫 <-1-1)

国木田 独歩 著
新潮社

詩情に満ちた自然観察で武蔵野の林間の美をあまねく知らしめた表題作ほか、「忘れえぬ人々」「源叔父」「河霧」「鹿狩」など、浪漫主義と抒情に出發した、国木田独歩の初期の名作全 18 編を収録した短編集。

朝日新聞 2019/09/07

1992:3./ 226p
978-4-10-103501-7

本体 ¥520+税



政治家はなぜ質問に答えないか～インタビューの心理分析～

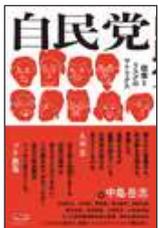
木下 健、オフエル・フェルドマン 著
ミネルヴァ書房

建て前、二枚舌、レトリック、はぐらかし...。日本の政治家はインタビューでどう話すのか。2012 年政権交代前後における日本の政治家インタビューの事例を「どっちつかず理論」に当てはめて、実証分析する。

朝日新聞 2019/09/07

2018:4./ 13p,293p,18p
978-4-623-08234-6

本体 ¥3,800+税



自民党～価値とリスクのマトリクス～

中島 岳志 著
スタンド・ブックス

安倍晋三、菅義偉、小泉進次郎ら自民党の有力政治家 9 名の言葉、著作を徹底分析。これからの政治を、価値とリスクのマトリクスで読み解く。『WEBRONZA』(現『論座』)掲載に書き下ろしを追加。

朝日新聞 2019/09/07

2019:5./ 222p
978-4-909048-05-9

本体 ¥1,600+税



図説ヴィクトリア朝の女性と暮らし～ワーキング・クラスの人びと～(ふくろうの本)

川端 有子 著
河出書房新社

華やかなヴィクトリア朝文化の陰には、貧困や疫病に苦しみ、学校に行きたいと願いながら過酷な労働を担っていた女性たちがいた。ワーキング・クラスの女性たちの暮らしの実態を、膨大な史料から読みとく。

朝日新聞 2019/09/07

2019:5./ 127p
978-4-309-76282-1

本体 ¥1,800+税





昆虫食と文明～昆虫の新たな役割を考える～

デイビッド・ウォルトナー=テープズ、片岡 夏実 著
築地書館

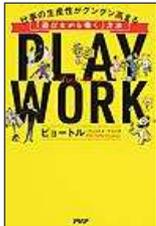
バッタ、ハチ、カイコ...昆虫を食べることは、人類の将来をよりよい方向に変えるか？ 人類の昆虫利用の歴史から、昆虫を食料とすることによる環境負荷の軽減、人の食料や飼料としての昆虫生産の現状と持続可能性を探求する。

朝日新聞 2019/09/07

2019:6./ 366p

978-4-8067-1585-6

本体 ¥2,700+税



プレイワーク～仕事の生産性がゲンゲン高まる「遊びながら働く」方法～

ピョートル・フェリクス・グジバチ 著

PHP研究所

仕事と遊びが混在しているからこそ、自由な発想や創造性を発揮することができる。仕事で価値を生み出すことができる。遊ぶように働く、世界最先端のワークメソッド「PLAY WORK」に必要な4つのステップを詳しく解説。

朝日新聞 2019/09/07

2019:7./ 205p

978-4-569-84335-3

本体 ¥1,500+税



図書室

岸 政彦 著

新潮社

定職も貯金もある。一人暮らしだけど不満はない。思い出されるのは、小学生の頃に通った、あの古い公民館の小さな図書室のこと。ひとりの女性の追憶を描いた『新潮』掲載の表題作に、書下ろし自伝エッセイ「給水塔」を併録。

朝日新聞 2019/09/07

2019:6./ 173p

978-4-10-350722-2

本体 ¥1,600+税



長寿時代の医療・ケア～エンドオブライフの論理と倫理～(ちくま新書 シリーズ ケアを考える 1333-6)

会田 薫子 著

筑摩書房

医療・ケアの現場を丹念に調査し、人生の最終段階における医療はどうあるべきか、その考え方を示す。老年医学と臨床倫理の知見を踏まえつつ、超高齢社会における医療とケアの役割を整理する。

朝日新聞 2019/09/07

2019:7./ 292p,10p

978-4-480-07239-9

本体 ¥900+税



キリン解剖記

郡司 芽久 著

ナツメ社

キリンが亡くなりました。クリスマスも正月も、訃報で予定をキャンセルし…。これまでに30頭のキリンを解剖し、「8番目の“首の骨”」を見つけた著者が、キリンとの出会い、探求、発見の日々を綴る。

朝日新聞 2019/09/07

2019:7./ 215p

978-4-8163-6679-6

本体 ¥1,200+税



ロマンチック・ドリンカー～飲み物語精華集～

長山 靖生 編

彩流社

飲み物が登場する文豪達の作品を、読みやすい現代仮名遣いにしたアンソロジー。堀辰雄「顔」、小川未明「白い門のある家」、太宰治「美少女」、夏目漱石「火鉢」などを収録する。木下杢太郎「珈琲」ほか喫茶詩歌も併載。

朝日新聞 2019/09/07

2019:8./ 171p

978-4-7791-2606-2

本体 ¥2,200+税





ゆけ、おりょう(文春文庫 か 48-7)

門井 慶喜 著
文藝春秋

幕末の京都で出会った「世話の焼ける弟」のような男・坂本龍馬と結婚したおりょう。寺田屋で龍馬の命を救ったおりょうは日本初のハネムーンで薩摩へ、軍艦に乗って長崎へ…。

朝日新聞 2019/09/07

2019:8./ 343p

978-4-16-791328-1

本体 ¥760+税



教養としてのミイラ図鑑～世界一奇妙な「永遠の命」～

ミイラ学プロジェクト 著
ベストセラーズ

ミイラは私たちに何を語りかけてくるのか? 「死」を「永遠の命」として形にしたミイラ。エジプトをはじめ世界各地で発見されたミイラを、最新の研究結果とインパクトのあるビジュアルで紹介する。

朝日新聞 2019/09/07

2019:7./ 151p

978-4-584-13934-9

本体 ¥2,500+税



洋書天国へようこそ～深読みモダンクラシックス～

宮脇 孝雄 著
アルク

かつて読んだ名著の魅力を再発見! 長年膨大な洋書におぼれてきた翻訳家が、主に 20 世紀の英語の古典を、作品の一部の原文・訳文を引用しながら紹介する。『マガジンアルク』連載に加筆修正し単行本化。

朝日新聞 2019/09/07

2019:7./ 262p

978-4-7574-3353-3

本体 ¥1,600+税



絵本原画ニャー!～猫が歩く絵本の世界～

100%ORANGE 著
青幻舎

絵本の中でしか出会えない猫たちが大集合! 町田尚子、馬場のぼるなど、15組の絵本作家たちが描く猫たちを、約 250 点の原画や貴重な資料で紹介する。シール、描き下ろしミニ絵本つき。

朝日新聞 2019/09/07

2019:7./ 159p

978-4-86152-744-9

本体 ¥2,200+税



モンテーニュの言葉～人生を豊かにする 365 の名言～

モンテーニュ、久保田 剛史 編
モンテーニュ、宮下 志朗 著

白水社

仕事、名声、外見、友情、結婚、国家、病気、老いについて…。人間のすべての問いに対し深い思索を重ねた、古典の名著「エッセー」に収められた印象深い名言を抜粋。モンテーニュの魅力的な思想や軽妙な語り口を味わえる一冊。

朝日新聞 2019/09/07

2019:8./ 195p,41p

978-4-560-09715-1

本体 ¥1,800+税



新選組最後の勇士たち(小学館文庫 や 5-3)

山本 音也 著
小学館

新選組最後の隊長・相馬主計と隊士の安富才助、沢忠輔は、土方歳三の最期を看取った。彼らは明治の世へと生き残る。流刑での島暮らしの中、思わぬ邂逅と確執を経た相馬と安富の人生は、やがて「御一新」の荒波に翻弄され…。

朝日新聞 2019/09/07

2019:8./ 381p

978-4-09-406680-7

本体 ¥840+税





孤蓬のひと(角川文庫 時-は 42-9)

葉室 麟 著
KADOKAWA

戦国乱世を生き抜き、徳川の天下となったのちも、大名として、茶人として名を馳せた小堀遠州。遠州が辿り着いた“ひとの生きる道”とは。茶道具にまつわる物語とともに、戦国に生きた者たちの権謀術数や恋を描いた歴史小説。

2019:8./ 379p
978-4-04-108043-6

本体 ¥720+税



朝日新聞 2019/09/07



不登校・ひきこもりの 9 割は治せる〜1 万人を立ち直らせてきた 3 つのステップ〜(光文社新書 1016)

杉浦 孝宣 著
光文社

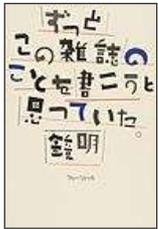
「放置」せず「行動」を！ 不登校・ひきこもり問題に教育者の立場から長年取り組み続け、多くの生徒を立ち直らせてきた著者が独自に開発した「規則」「責任」「自律」の3ステップモデルを公開する。

2019:7./ 243p
978-4-334-04424-4

本体 ¥800+税



朝日新聞 2019/09/07



ずっとこの雑誌のことを書こうと思っていた。

鏡 明 著
フリースタイル

この雑誌がなかったら、いまのぼくはなかった。著者が少年のときに出会った雑誌『マンハント』を通して、ポピュラー・カルチャーとは何かを考える。『フリースタイル』連載を改題して単行本化。

2019:7./ 378p 図版 16p
978-4-939138-96-6

本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2019/09/07



バトルグラウンドワーカーズ(ビッグ コミックス)

竹良 実 著
小学館

失業中に 30 歳を迎えた平仁一郎のもとに届いた、一通の手紙。それは未知の生命体「亜害体」と戦う人形兵器「RIZE-ライズ-」を遠隔操縦するパイロット職の通知だった。

2019:9./ 208p
978-4-09-860381-7

本体 ¥591+税



朝日新聞 2019/09/07



若者は社会を変えられるか?

中西 新太郎 著
かもがわ出版

現代日本の若者は政治に無関心なのか？ それとも巨大な変化が生まれつつあるのか？ <若者の政治>を妨げるしくみと自己責任感覚を歴史的・社会的に分析し、社会を組み直すための方策を展望する。

2019:7./ 166p
978-4-7803-1040-5

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2019/09/07



高校野球が 10 倍おもしろくなる本

江本 孟紀 著
青志社

夏の甲子園大会はもともと日本人に愛された国民的行事。高校野球がこれからも人々の心の拠り所であり続けるにはどうすればいいか。日程の問題、球児の育成、教育などについて江本孟紀が検証する。

2019:8./ 218p
978-4-86590-087-3

本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2019/09/07



おいしいとはどういうことか(幻冬舎新書 な-25-1)

中東 久雄 著
幻冬舎

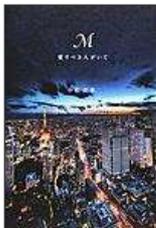
「おいしい」とは、体という自然によりそい喜ばせてあげたときに生まれる感覚のこと。ただおいしいだけでなく、「体が喜ぶ料理」はどうしたら作れるのか。京都の人気日本料理店の店主が、野山を巡りながら得たことを伝える。

朝日新聞 2019/09/07

2019:7./ 211p

978-4-344-98564-3

本体 ¥780+税



M〜愛すべき人がいて〜

小松 成美 著
幻冬舎

博多から上京したありふれた少女・あゆを変えたのは、あるプロデューサーとの出会いだった。やがて愛し合うふたりは、“浜崎あゆみ”を瞬く間にスターダムに押し上げる。しかし…。事実に基づいたフィクション。

朝日新聞 2019/09/07

2019:7./ 205p

978-4-344-03491-4

本体 ¥1,400+税



なぜ脳はアートがわかるのか〜現代美術史から学ぶ脳科学入門〜

エリック・R.カンデル、高橋 洋 著
青土社

絵画を「よい」と思うとき、脳では何が起きているのか。複雑怪奇な現代アートが「わかる」とは-。脳科学、医学、認知心理学、行動科学から美学、哲学まで、あらゆる知を総動員し、人間の美的体験のメカニズムを解き明かす。

朝日新聞 2019/09/07、産経新聞 2019/09/15

2019:6./ 216p,24p

978-4-7917-7175-2

本体 ¥3,200+税



海外で研究者になる〜就活と仕事事情〜(中公新書 2549)

増田 直紀 著
中央公論新社

どうすれば海外で研究者になれるのか。応募書類の書き方から、面接の実際、待遇交渉まで、イギリスの大学に就職した著者が詳説。各国で活躍する研究者17人へのインタビューも収録する。

朝日新聞 2019/09/07、読売新聞 2019/09/08

2019:6./ 3p,253p

978-4-12-102549-4

本体 ¥880+税



試される民主主義〜20世紀ヨーロッパの政治思想〜<上>

ヤン=ヴェルナー・ミュラー、板橋 拓己、田口 晃、五十嵐 美香 著
岩波書店

20世紀のヨーロッパを舞台に、民主主義の思想と実践をめぐって、数々の思想家・政治家たちが繰り広げたドラマを描いたミュラーの代表作。上は、第一次大戦・ロシア革命からファシズムの時代までを扱う。

朝日新聞 2019/09/07、読売新聞 2019/09/15

2019:7./ 18p,242p,36p

978-4-00-061351-4

本体 ¥2,600+税



試される民主主義〜20世紀ヨーロッパの政治思想〜<下>

ヤン=ヴェルナー・ミュラー、板橋 拓己、田口 晃、五十嵐 美香 著
岩波書店

20世紀のヨーロッパを舞台に、民主主義の思想と実践をめぐって、数々の思想家・政治家たちが繰り広げたドラマを描いたミュラーの代表作。下は、第二次大戦から冷戦の時代、そして世紀末までを扱う。

朝日新聞 2019/09/07、読売新聞 2019/09/15

2019:7./ 8p,236p,51p

978-4-00-061352-1

本体 ¥2,600+税





ルポ教育困難校(朝日新書 724)

朝比奈 なを 著
朝日新聞出版

知られざる「底辺校」衝撃の現実。元高校教師の教育ジャーナリストが、教育困難校の在學生・卒業生・教員・PTA 関係者らへのインタビューと、自身の体験などを通して、重層性を持つ教育困難校の問題を多角的に考察する。

2019:7./ 219p
978-4-02-295031-4

本体 ¥790+税



朝日新聞 2019/09/07、読売新聞 2019/09/15



教育格差～階層・地域・学歴～(ちくま新書 1422)

松岡 亮二 著
筑摩書房

日本は「生まれ」で人生の選択肢・可能性が大きく制限される「緩やかな身分社会」。教育格差の実態を圧倒的なデータ量で検証。すべての人が自分の可能性を活かせる社会をつくるために、採るべき現実的な対策を提案する。

2019:7./ 360p,21p
978-4-480-07237-5

本体 ¥1,000+税



朝日新聞 2019/09/07、日本経済新聞 2019/09/14



在野研究ビギナーズ～勝手に始める研究生活～

荒木 優太 著
明石書店

在野の研究者に資格はいらない。卒業後も退職後も、いつだって学問はできる！現役で活躍中の在野研究者たちが、研究生活の実践と方法を、おのおのの体験の中で論じる。

2019:9./ 286p
978-4-7503-4885-8

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2019/09/07、日本経済新聞 2019/09/28



ウィリアムが来た時～ホーエンツォレルン家に支配されたロンドンの物語～

サキ、深町 悟 著
国書刊行会

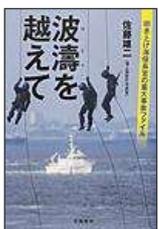
ある日突然戦争を仕掛けてきたドイツ帝国に、瞬く間に支配された架空のロンドン。帝国に迎合するか、それとも抗うか-? 「短編の名手」サキによる、ディストピア歴史 IF 群像劇。

2019:6./ 297p
978-4-336-06356-4

本体 ¥2,400+税



朝日新聞 2019/09/08



波濤を越えて～叩き上げ海保長官の重大事案ファイル～

佐藤 雄二 著
文藝春秋

海洋立国日本を 24 時間護り続ける海上保安庁。2013 年に初の生え抜き長官となった著者が、極秘重大事案の内幕を公開するとともに、あるべき「海の護り」の姿を綴る。『海上保安新聞』連載をもとに単行本化。

2019:7./ 231p
978-4-16-391056-7

本体 ¥1,650+税



朝日新聞 2019/09/08



幽霊島～平井呈一怪談翻訳集成～(創元推理文庫 F ン 10-1)

A.ブラックウッド、平井 呈一 著
東京創元社

西洋怪奇小説の紹介と翻訳など、日本における怪奇翻訳の礎を築いた巨匠・平井呈一。名訳として知られるラヴクラフト「アウトサイダー」ほか全 13 篇を収録するほか、対談・エッセー・書評を掲載。

2019:8./ 543p
978-4-488-58508-2

本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2019/09/08



「縮み」志向の日本人(講談社学術文庫)

李 御寧 著
講談社

小さいものに美を認め、あらゆるものを「縮める」ところに日本文化の特徴がある。「縮み」の類型に拠って日本文化の特質を分析、「日本人論中の最高傑作」と言われる名著。

2007:4./ 342p
978-4-06-159816-4

本体 ¥1,130+税



朝日新聞 2019/09/14



「歴史認識」とは何か～対立の構図を超えて～(中公新書 2332)

大沼 保昭、江川 紹子 著
中央公論新社

韓国併合、満洲事変から東京裁判、慰安婦問題まで、歴史的事実が歴史認識問題に転化する経緯、背景を具体的に検証。あわせて、欧米諸国が果たしていない植民地支配責任を提起し、日本の取り組みが先駆となることを指摘する。

2015:7./ 7p,254p

978-4-12-102332-2

本体 ¥840+税



朝日新聞 2019/09/14



「地政心理」で語る半島と列島

ロー ダニエル 著
藤原書店

東アジアの隣国どうして、古代から交流があった半島と列島は、本当に似ているのか? 従来の「地政学」でも「地経学」でもない、「地政心理」という新しい概念で、朝鮮半島と日本列島の関係を読み解く。

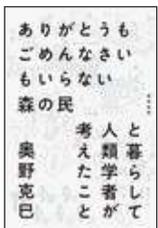
2017:10./ 397p

978-4-86578-139-7

本体 ¥3,600+税



朝日新聞 2019/09/14



ありがとうもごめんなさいもいらない森の民と暮らして人類学者が考えたこと

奥野 克巳 著
亜紀書房

ボルネオ島の狩猟採集民「プナン」とのフィールドワークから見てきたこととは。豊かさ、自由、幸せとは何かを根っこから問い直す、刺激に満ちた人類学エッセイ。ウェブマガジン『あき地』連載に書下ろしを加えて単行本化。

2018:5./ 331p

978-4-7505-1532-8

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2019/09/14



分解の哲学～腐敗と発酵をめぐる思考～

藤原 辰史 著
青土社

世界は新品と廃棄物、生産と消費、生と死のあわいにある豊かさに満ち溢れている。歴史学、文学、生態学から在野の実践知までを横断する、<食>を思考するための新しい哲学。『現代思想』他掲載を書籍化。

2019:6./ 341p,4p

978-4-7917-7172-1

本体 ¥2,400+税



朝日新聞 2019/09/14



鞍馬の歌～《図案対象》と戦没画学生・久保克彦の青春～

木村 亨 著
国書刊行会

今もなお注目を集めつづける、東京美術学校工芸科図案部首席卒業作品<図案対象>。この傑作を遺し中国大陸の戦火の中に消えた久保克彦の、短くも鮮烈な生涯に迫る評伝。

2019:6./ 239p 図版 12p

978-4-336-06366-3

本体 ¥2,700+税



朝日新聞 2019/09/14



結局、ウナギは食べていいのか問題(岩波科学ライブラリー 286)

海部 健三 著

岩波書店

ウナギは絶滅危惧種なのか? なぜ土用の丑の日にウナギを食べるのか? どうすればウナギの住む環境を守れるのか? 気鋭のウナギ研究者が、気になるウナギ事情を Q&A で整理。ウナギと美味しく共存する道を探る。

2019:7./ 9p,119p,5p

978-4-00-029686-1

本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2019/09/14



掃除婦のための手引き書〜ルシア・ベルリン作品集〜

ルシア・ベルリン、岸本 佐知子 著

講談社

多くの作家に影響を与えながらも、生前は一部にその名を知られるのみだったルシア・ベルリン。逝去から 10 年を経て出版され、ベストセラーとなった短篇集から、24 篇をよりすぐって収録する。

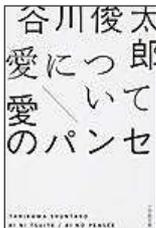
2019:7./ 317p

978-4-06-511929-7

本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2019/09/14



愛について/愛のパンセ(小学館文庫 た34-2)

谷川 俊太郎 著

小学館

24 歳の時に刊行された谷川俊太郎の第 3 詩集「愛について」と、26 歳の年に発表された初のエッセイ集「愛のパンセ」。20 代半ばの若き詩人の<愛という名を冠した>2 つの作品を収録。江國香織の解説も掲載。

2019:8./ 345p

978-4-09-406681-4

本体 ¥900+税



朝日新聞 2019/09/14



小泉八雲東大講義録〜日本文学の未来のために〜(角川ソフィア文庫 C102-5)

ラフカディオ・ハーン、池田 雅之 著

KADOKAWA

小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)が生き生きと、懇切丁寧に、文学の価値と面白さを説く。西洋が遠い存在だった明治期、将来、日本の学問や文学を背負って立つ学生たちに深い感銘を与えた、最終講義を含む名講義 16 篇。

2019:8./ 395p

978-4-04-400486-6

本体 ¥1,080+税



朝日新聞 2019/09/14



都市型災害を生き延びるサバイバルプラン

川口 拓 著

イースト・プレス

帰宅困難者が続出し、避難所不足になる可能性もある都市型災害。生き延びるための対策プランを自分で作ろう。サバイバルの基本原則やサバイバルプランの立て方などを紹介する。

2019:8./ 213p

978-4-7816-1811-1

本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2019/09/14



きみの言い訳は最高の芸術(河出文庫 さ45-1)

最果 タヒ 著

河出書房新社

詩人・小説家の最果タヒのエッセイ集。「友達はいらない」「宇多田ヒカルのこと」「最初が最高系」「不適切な言葉が入力されています。」などエッセイ 45 本に「おまけ」9 本、「あとがき」を収録する。

2019:9./ 188p

978-4-309-41706-6

本体 ¥500+税



朝日新聞 2019/09/14



バタフライ～17歳のシリア難民少女がリオ五輪で泳ぐまで～

ユスラ・マルディニ、ジョージ・ルブロンド、土屋 京子 著

朝日新聞出版

シリア出身の競泳選手、ユスラ・マルディニ。内戦の続く祖国を逃れ、ヨーロッパへ渡って難民となり、ドイツに受け入れられ、難民アスリートとしてリオデジャネイロ・オリンピックに出場するまでの道のりを綴る。

2019:7./ 445p

978-4-02-251621-3

本体 ¥1,900+税



朝日新聞 2019/09/14、東京・中日新聞 2019/09/22



そっとページをめくる～読むことと考えること～

野矢 茂樹 著

岩波書店

本と出会い本に遊ぶことはそのまま、人生そのものを味わう旅となる。哲学者の包丁さばきが冴える書評の数々とともに、より深く本の世界に潜っていくレッスンを収録する。

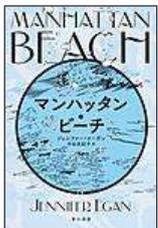
2019:7./ 12p,224p

978-4-00-023740-6

本体 ¥1,900+税



朝日新聞 2019/09/14、読売新聞 2019/09/22



マンハッタン・ビーチ

ジェニファー・イーガン、中谷 友紀子 著

早川書房

幼いころから海に魅了され、潜水士を志すアナは、クラブのオーナーのデスクターに会う。アナは彼が父の失踪の鍵を握っていると考え…。第二次世界大戦下のニューヨークを舞台に、海に魅惑された女性の軌跡を描く長篇。

2019:7./ 533p

978-4-15-209873-3

本体 ¥3,500+税



朝日新聞 2019/09/14、日本経済新聞 2019/09/14



僕らはそれに抵抗できない～「依存症ビジネス」のつくられかた～

アダム・オルター、上原 裕美子 著

ダイヤモンド社

スマホ、フェイスブック、インスタ、ネットフリックス、ゲーム、メール…。新時代にはびこる依存症から逃れる術はあるのか? のめりこませる手口とその仕組みの全貌をあばき、対処法を読み解く。

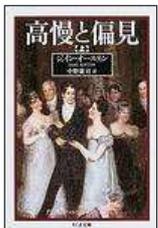
2019:7./ 14p,402p

978-4-478-06730-7

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2019/09/14、日本経済新聞 2019/09/28



高慢と偏見<上>(ちくま文庫)

ジェイン・オースティン 著

筑摩書房

朝日新聞 2019/09/21

2003:8./ 360p

978-4-480-03863-0

本体 ¥950+税



みんなの教育スウェーデンの「人を育てる」国家戦略

川崎 一彦、澤野 由紀子、鈴木 賢志、西浦 和樹、アールベリエル松井久子 著

ミツイパブリッシング

経済成長、多文化共生、持続可能性をパラレルに推し進めるスウェーデンの教育。「就学前教育からの起業家精神教育」「アウトドア教育」「生涯学習」などのキーワードで、スウェーデンの教育事情を紹介する。

2018:3./ 237p

978-4-907364-08-3

本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2019/09/21



分断社会と若者の今

狭間 諒多朗 編
大阪大学出版会

現代若者言説の正否を、成人を対象とした大規模社会調査のデータによって検証。権威主義、消費、幸福、ジェンダーなど幅広いトピックを扱い、若者の属性、基底的社会意識、表層的社会意識・社会的行動の関連を明らかにする。

朝日新聞 2019/09/21

2019:4./ 6p,279p

978-4-87259-679-3

本体 ¥2,500+税



愛国という名の亡国(河出新書 010)

安田 浩一 著
河出書房新社

移民労働者、沖縄、在日コリアン、生活保護…。さまざまなかたちであらわれる差別と排外主義の禍々しい現場に肉迫してきた著者が、数年にわたる取材を集成し、この国の「愛国」の悲惨な真実とその行方を問う。

朝日新聞 2019/09/21

2019:7./ 301p

978-4-309-63108-0

本体 ¥880+税



キリスト教と日本人～宣教史から信仰の本質を問う～(ちくま新書 1424)

石川 明人 著
筑摩書房

キリスト教は、なぜ日本では広まらなかったのか。宗教を「信じる」とはどういうことか。そもそも「宗教」とは何か。宣教師たちの言動や、日本人のキリスト教に対する複雑な眼差しを糸口に、宗教についての固定観念を問い直す。

朝日新聞 2019/09/21

2019:7./ 302p

978-4-480-07234-4

本体 ¥900+税



ケーキの切れない非行少年たち(新潮新書 820)

宮口 幸治 著
新潮社

認知力が弱く、「ケーキを等分に切る」ことすらできない。人口の10数%いるとされる「境界知能」の人々に焦点を当て、彼らを学校・社会生活で困らないように導く超実践的メソッドを公開する。

朝日新聞 2019/09/21

2019:7./ 182p

978-4-10-610820-4

本体 ¥720+税



ヨーロッパ憲法論(叢書・ユニベルシタス 1097)

ユルゲン・ハーバーマス 著
法政大学出版局

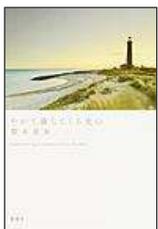
EUのような複雑な組織にあっても「民主主義の欠如」を正し、トランスナショナルな公共圏における意見形成に依拠した意思決定が可能であることを提示。国際条約を超えた、ヨーロッパ全体にまたがる憲法制度の必要性を説く。

朝日新聞 2019/09/21

2019:7./ 6p,232p

978-4-588-01097-2

本体 ¥2,800+税



やがて満ちてくる光の

梨木 香歩 著
新潮社

たしかな言葉を伝えたい。今いる場所から、見て、感じて、歩いて、考え続けたい。日常を、この一瞬を、大切に生き抜くために。デビューから現在まで、梨木香歩の25年の作家人生を映し出すエッセイ。

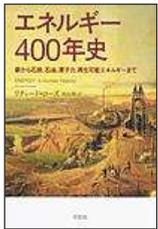
朝日新聞 2019/09/21

2019:7./ 317p

978-4-10-429912-6

本体 ¥1,600+税





エネルギー400年史～薪から石炭、石油、原子力、再生可能エネルギーまで～

リチャード・ローズ、秋山 勝 著
草思社

人間はこの地球からどのようなエネルギー資源を見つけだし、どのように利用してきたのだろうか。発見、発明、発展、そして立ちはだかる難題…。400年にわたるエネルギーの変遷をめぐる「人間」たちの物語。

2019:7./ 663p
978-4-7942-2407-1

本体 ¥3,800+税



朝日新聞 2019/09/21



西周現代語訳セレクション

西 周、菅原 光、相原 耕作、島田 英明 著
慶應義塾大学出版会

日本における哲学の父・西周の著作のうち、哲学に関連する文章を精選。「百一新論」「人世三宝説」など全 6 篇を読みやすい日本語で新訳し、各篇の成立経緯や背景、位置づけをわかりやすく紹介した解題とともに収録する。

2019:9./ 308p
978-4-7664-2620-5

本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2019/09/21



殺す親 殺させられる親～重い障害のある人の親の立場で考える尊厳死・意思決定・地域移行～

児玉 真美 著
生活書院

「生きるに値しない命」を親や家族に殺させようとする力動に静かに抗うために。重症心身障害の娘を持つ著者が、「死ぬ・死なせる」をめぐる意思決定や「無益な治療」論、親であることを考える。テキストデータの引換券付き。

2019:8./ 375p
978-4-86500-099-3

本体 ¥2,300+税



朝日新聞 2019/09/21



シリア震える橋を渡って～人々は語る～

ウェンディ・パールマン、安田 菜津紀、佐藤 慧 著
岩波書店

2011年3月、シリアにも“アラブの春”が波及し、人々はアサド政権の崩壊を目指して抗議行動に立ち上がった。恐ろしい暴力に晒されても、人々はその夢をあきらめていない。想像を絶する惨状を赤裸々な証言でたどる。

2019:8./ 50p,236p
978-4-00-061357-6

本体 ¥3,200+税



朝日新聞 2019/09/21



アフターマン～人類滅亡後の動物の図鑑～

ドゥーガル・ディクソン、G.Masukawa 著
学研プラス

5000 万年後の地球。そこには、人類は存在していない。人類不在の地球を支配するのは、どんな動物たちか？ 緻密な考証をもとに、人類滅亡後の動物たちの姿を空想した動物図鑑。歴史的名著の児童書版。

2019:8./ 127p
978-4-05-204810-4

本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2019/09/21



夜しか開かない精神科診療所

片上 徹也 著
河出書房新社

夜に活動するフクロウ(OWL)にちなみ「アウルクリニック」と名づけられた精神科診療所。会社員からシングルマザー、風俗嬢、LGBT まで、心の病を抱える人たちの苦しみを受け止める、若き精神科医の思いと患者との記録。

2019:8./ 214p
978-4-309-02820-0

本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2019/09/21



赤ちゃんはことばをどう学ぶのか(中公新書ラクレ 663)

針生 悦子 著
中央公論新社

赤ちゃんはことばを発するまでこんなに「努力」していた! 「赤ちゃんは耳にした音をどうやってことばとして認識する?」「海外暮らしならバイリンガルに育つ?」など、子どもはどのように言語を身につけているのかを紹介。

2019:8./ 214p
978-4-12-150663-4

本体 ¥820+税



朝日新聞 2019/09/21



おばちゃんたちのいるところ(中公文庫 ま 51-1)

松田 青子 著
中央公論新社

追いつめられた現代人のもとへ、おばちゃん(幽霊)たちが一肌脱ぎにやってくる。失業中の男に牡丹燈籠を売りつけるセールスレディ、シングルマザーを助ける子育て幽霊…。嫉妬や怨念こそが人々を救う!? 愉快な怪談集。

2019:8./ 261p
978-4-12-206769-1

本体 ¥640+税



朝日新聞 2019/09/21



ロボ・サピエンス前史<上>(ワイド KC)

島田 虎之介 著
講談社

ロボットの捜索を職とするサルベージ屋、誰の所有物でもない「自由ロボット」、半永久的な耐用年数を持つ「時間航行者」…。時の流れの中で、いつしか彼らの運命は1つの大きな終着点に向かって動きだしていく…。

2019:8./ 160p
978-4-06-516886-8

本体 ¥920+税



朝日新聞 2019/09/21



ロボ・サピエンス前史<下>(ワイド KC)

島田 虎之介 著
講談社

ロボットたちがヒト以上の存在になったとき、彼らが目にするものとは? 人類とロボットが迎える果てしなき未来の物語。

2019:8./ 144p
978-4-06-516887-5

本体 ¥920+税



朝日新聞 2019/09/21



データで読み解く「生涯独身」社会(宝島社新書 538)

天野 馨南子 著
宝島社

「結婚したいのに、できない」人が増えつつある「生涯独身社会」日本。結婚の妨げになっている要因とは、いったい何なのか。さまざまなデータから、「未婚化」が猛スピードで進む現代日本の実像を読み解く。

2019:8./ 271p
978-4-8002-9253-7

本体 ¥800+税



朝日新聞 2019/09/21



がんばらない練習

pha 著
幻冬舎

コミュニケーション、生活、人生をがんばらない。やりたくないことは、やらない-。京大卒・元ニートが実践する自分らしく生きる方法。『幻冬舎 plus』連載「猫を撫でて一日終わる」を加筆修正。

2019:7./ 149p
978-4-344-03487-7

本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2019/09/21



劇場(新潮文庫 ま-57-1)

又吉 直樹 著
新潮社

劇団を旗揚げした永田と大学生の沙希。公演が酷評され、ままならない日々を送る永田にとって、自分を信じてくれる沙希の笑顔だけが救いだった-。理想と現実の狭間でものがきつつ、かけがえのない誰かを思う、不器用な恋の物語。

2019:9./ 240p
978-4-10-100651-2

本体 ¥490+税



朝日新聞 2019/09/21



リフォームの爆発(幻冬舎文庫 ま-34-2)

町田 康 著
幻冬舎

居場所がない大型犬の苦痛、猫たちの住む茶室・物置の痛みによる倒壊の懸念...。これらの解消のための自宅改造が悲劇の始まりだった-。犬と猫と暮らす作家が、リフォームをめぐる実態・実情を呆れるほど克明に描く。

2019:8./ 278p
978-4-344-42888-1

本体 ¥600+税



朝日新聞 2019/09/21



隠された悲鳴

ユニティ・ダウ、三辺 律子 著
英治出版

ある村で行方不明になった 12 歳の少女。村には「儀礼殺人」ではと噂が流れる。だが、警察は野生動物に襲われたのだと結論づけ...。ボツワナの現職女性大臣が実際の儀礼殺人事件をもとに描いたアフリカ発サスペンス。

2019:8./ 331p
978-4-86276-289-4

本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2019/09/21



称えることば悼むことば~加藤周一推薦文・追悼文集~

加藤 周一、鷺巣 力 編
加藤 周一 著
西田書店

加藤周一が、内容見本や新聞広告、書籍の帯などに書いた推薦文 55 点と、葬儀で述べた弔辞や発表した追悼文 38 点を収録。彼の精神の運動、知識の博さ、そして文章の切れ味をあますところなく見せる一冊。

2019:9./ 273p
978-4-88866-640-4

本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2019/09/21



三体

劉 慈欣、大森 望、光吉 さくら、ワン チャイ、立原 透耶 著
早川書房

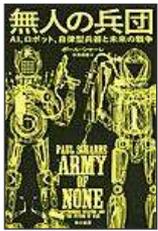
物理学者の父を文化大革命で亡くし、人類に絶望した中国人エリート科学者・葉文潔。ある日、彼女は謎めいた軍事基地にスカウトされる。そこでは、人類の運命を左右するかもしれないプロジェクトが極秘裏に進行していて...

2019:7./ 447p
978-4-15-209870-2

本体 ¥1,900+税



朝日新聞 2019/09/21、日本経済新聞 2019/09/21



無人の兵団～AI、ロボット、自律型兵器と未来の戦争～

ポール・シャーレ、伏見 威 著

早川書房

勃興する AI・ロボット技術を受け、急速に進化を遂げる「自律型兵器」。米陸軍レインジャー部隊出身のアナリストが、各国の実例を紹介して、あらゆる関係者に取材。最先端軍事技術の実態とその深部に迫る。

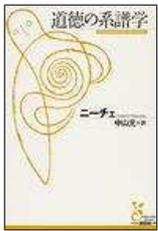
2019:7./ 574p

978-4-15-209875-7

本体 ¥3,700+税



朝日新聞 2019/09/21、日本経済新聞 2019/09/21、読売新聞 2019/09/29



道徳の系譜学(光文社古典新訳文庫)

ニーチェ 著

光文社

朝日新聞 2019/09/28

2009:6./ 378p

978-4-334-75185-2

本体 ¥780+税



シャーデンフロイデ～人の不幸を喜ぶ私たちの闇～

リチャード・H.スミス、澤田 匡人 著

勁草書房

他人の失敗や不幸にほくそ笑み、心を弾ませる。密やかな喜び「シャーデンフロイデ」の源泉を明らかにした書。実証研究などの科学的アプローチに加え、メディア、文学、日常生活の種々の例も随所に盛り込む。

2018:1./ 9p,261p,48p

978-4-326-29927-0

本体 ¥2,700+税



朝日新聞 2019/09/28



左派ポピュリズムのために

シャンタル・ムフ、山本 圭、塩田 潤 著

明石書店

ベルギー出身の政治理論家シャンタル・ムフが、ギリシャのシリザ、スペインのポデモスなど、「解放志向」の左派ポピュリズム勢力をとり上げ、民主主義を回復・深化させるためのラディカル・デモクラシー戦略を説く。

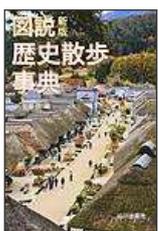
2019:1./ 149p

978-4-7503-4772-1

本体 ¥2,400+税



朝日新聞 2019/09/28



図説歴史散歩事典 新版

佐藤 信 編

山川出版社

遺跡や遺物といった史跡、寺社、町並みと住宅、仏像・神仏、絵画、書跡・典籍・古文書といった美術工芸品などの見方を、豊富な写真や図版とともにやさしく解説。暦と時刻、度量衡、年代表などの資料も充実。

2019:8./ 439p

978-4-634-59119-6

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2019/09/28



線は、僕を描く

砥上 裕将 著

講談社

両親を事故で失い、喪失感の中にあつた大学生の霜介は、バイト先で水墨画の巨匠・篠田湖山と出逢った。なぜか湖山に気に入られた彼はその場で内弟子にされてしまうが、湖山の孫・千瑛は、それに反発し…。

2019:6./ 317p

978-4-06-513759-8

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2019/09/28



関わなければ社会は壊れる～<対決と創造>の労働・福祉運動論～

藤田 孝典 編
木下 武男 著
岩波書店

社会運動だけが、労働と福祉の権利を勝ち取り、社会を根源的に変える唯一の方法だ。福祉国家型の社会を実現するために、福祉・社会保障制度の現状と実践課題を明らかにし、これからのあるべき社会運動について考える。

朝日新聞 2019/09/28

2019:6./ 15p,236p
978-4-00-061349-1

本体 ¥2,400+税



ヤービの深い秋(Tales of Madguide Water 2)

梨木 香歩、小沢 さかえ 著
福音館書店

ふわふわの毛に包まれた、ハリネズミのように小さくてふしぎな生きもの、ヤービ。ヤービたちと「大きい人」たちは、深い海の時間で出合い…。永遠の子どもたちに贈る、マッドガイド・ウォーターシリーズ第2弾。

朝日新聞 2019/09/28

2019:8./ 237p
978-4-8340-8477-1

本体 ¥1,700+税



カルカッタの殺人(HAYAKAWA POCKET MYSTERY BOOKS 1945)

アビール・ムカジー 著
早川書房

1919年、英国領インドで英国政府高官が惨殺された。戦争と妻の死に倦み疲れたベテラン英国人警部と、インド独立を夢見るエリートのインド人新米部長刑事は捜査を開始。背後には現地の憤懣と暗躍する諜報機関の影が…。

朝日新聞 2019/09/28

2019:7./ 425p
978-4-15-001945-7

本体 ¥2,100+税



オープンダイアログがひらく精神医療

斎藤 環 著
日本評論社

個人精神療法からチームによるミーティングへ。「開かれた対話」を通じて精神疾患にアプローチする画期的な手法と思想を解説する。オープンダイアログ対話実践のガイドラインも収録。

朝日新聞 2019/09/28

2019:7./ 269p
978-4-535-98465-3

本体 ¥2,000+税



へぼ侍

坂上 泉 著
文藝春秋

明治維新で没落した大阪の与力の跡取り鍊一郎は「へぼ侍」と揶揄されていた。1877年、西南戦争が勃発すると官軍は元士族を「壮兵」として徴募。仕官の道が開けると考えた鍊一郎は意気込んでそれに参加するが…。

朝日新聞 2019/09/28

2019:7./ 326p
978-4-16-391052-9

本体 ¥1,400+税



父さんはどうしてヒトラーに投票したの?(エルくらぶ)

ディエーエ・デニクス、PEF、湯川 順夫、戦争ホーキの会 著
解放出版社

ミュンヘンにほど近い小さな町で楽器店を営む両親と障がいをもって生まれてきた妹と暮らす少年ルディ。彼の眼を通して、ヒトラーの台頭からナチスの支配、第二次世界大戦、そしてドイツの敗北までを描いた物語。

朝日新聞 2019/09/28

2019:7./ 39p
978-4-7592-2276-0

本体 ¥1,800+税





「誉れの子」と戦争～愛国プロパガンダと子どもたち～

斉藤 利彦 著
中央公論新社

戦争は子どもたちにどんな運命を強いるのか? 「誉れの子」「靖国の遺児」と呼ばれた、日本軍兵士の遺児たち。国家に翻弄され、利用された子どもたちの実像を、貴重な一次資料と証言を通して明らかにする。

朝日新聞 2019/09/28

2019:7./ 220p
978-4-12-005218-7

本体 ¥1,700+税



人体、なんでそうなった?～余分な骨、使えない遺伝子、あえて危険を冒す脳～

ネイサン・レンツ、久保 美代子 著
化学同人

人類が進化の最高傑作ならば、なぜしょっちゅう風邪を引くのか? なぜ手首に無駄な骨が多くあるのか? 人体の構造や機能の「欠点・欠陥」に焦点をあて、なぜそうなったのかを進化の歴史を紐解きながら語る。

朝日新聞 2019/09/28

2019:8./ 12p,286p
978-4-7598-2010-2

本体 ¥2,400+税



隠された奴隷制(集英社新書 0983)

植村 邦彦 著
集英社

「自由」に働く私たちがなぜ「奴隷」なのか? ロック、モンテスキュー、ルソー…。近代 350 年を辿り、マルクスが遺した「隠された奴隷制」という謎のキーワードで資本主義を読みとく。シンポジウムでの報告を基に新書化。

朝日新聞 2019/09/28

2019:7./ 268p
978-4-08-721083-5

本体 ¥880+税



月下の犯罪～一九四五年三月、レヒニッツで起きたユダヤ人虐殺、そして或るハンガリー貴族の秘史～(講談社選書メチエ 707)

サーシャ・バッチャーニ、伊東 信宏 著
講談社

1945 年 3 月 24 日の晩、オーストリアの村レヒニッツで 180 人のユダヤ人が惨殺された。パーティの主催者は著者の大叔母だった。彼女の関与はあったのか? 事件の真相に迫っていくノンフィクション。

朝日新聞 2019/09/28

2019:8./ 294p
978-4-06-516855-4

本体 ¥1,850+税



丘のうえのいっぼんの木に(絵本・こどものひろば)

今森 光彦 著
童心社

たんぼに囲まれた小さな丘に、大きな木がいっぼんありました。木の名前は、エノキ。春、オオムラサキの幼虫が落ち葉から顔を出して…。切り絵で綴る、里山の生きものの命を育むいっぼんの木の物語。

朝日新聞 2019/09/28

2019:7./ 36p
978-4-494-01567-2

本体 ¥1,400+税



ブラックバード(ハーパーBOOKS M・フ3・1)

マイケル・フィーゲル、高橋 恭美子 著
ハーパーコリンズ・ジャパン

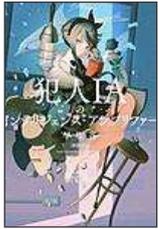
殺し屋エディソンは、ファーストフード店で銃乱射事件を起こし、8 歳の少女を現場から連れ去る。少女はなぜか逃げようとせず、やがて彼の娘として仕事を手伝い始める。だが殺しを繰り返すふたりに運命は思わぬ代償を課し…。

朝日新聞 2019/09/28

2019:8./ 502p
978-4-596-54120-8

本体 ¥1,194+税





犯人IAのインテリジェンス・アンプリファー(新潮文庫 nex は-72-2)

早坂 吝 著
新潮社

人工知能探偵・相以の推理力に大敗を喫した以相。復讐に燃える彼女は、人間の知能を増幅させ完璧な共犯者を作り、相以に挑戦状を叩き付け…。奇想とロジックが宙を舞う推理バトル。『yom yom』連載を加筆修正し文庫化。

2019:9./ 257p

978-4-10-180166-7

本体 ¥550+税



朝日新聞 2019/09/28



屍人荘の殺人(創元推理文庫 M い 12-1)

今村 昌弘 著
東京創元社

神紅大学ミステリ愛好会の葉村譲と明智恭介は、日くつきの映画研究部の夏合宿に加わるため、紫湛荘を訪ねた。その夜、想像しえない事態に遭遇し紫湛荘に立て籠もった彼らだが、翌日部員の1人が密室で死体となって発見され…。

2019:9./ 381p

978-4-488-46611-4

本体 ¥740+税



朝日新聞 2019/09/28



まちの植物のせかい～そんなふう生きていたのね～

鈴木 純 著
雷鳥社

美しく奇妙で驚きの形、多種多様な受粉方法…。植物観察家が、まちの植物にずんずん近づいて、個性的な見た目や生き方などを、豊富な写真と一緒に観察しているように紹介します。Q&A、おすすめ本も収録。

2019:9./ 238p

978-4-8441-3759-7

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2019/09/28



起きたことは笑うしかない!(朝日新書 728)

松倉 久幸 著
朝日新聞出版

人生まならぬものですが、笑っていたら、ボケません!「アハハ?ッ」と思いきり笑うには、どん底の経験を思い出せばいいのです。<爆笑>を売る浅草演芸ホールの前会長が、笑いとの付き合いについて語る。

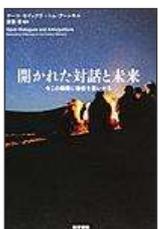
2019:8./ 193p

978-4-02-295035-2

本体 ¥750+税



朝日新聞 2019/09/28



開かれた対話と未来～今この瞬間に他者を思いやる～

ヤーコ・セイックラ、トム・アーンキル、斎藤 環 著
医学書院

創始者ふたりが「オープンダイアログ」「未来語りダイアログ」の謎を解き、具体的方法をわかりやすく紹介。日本語版解説、すぐに使える「対話実践のガイドライン」も収録する。

2019:8./ 345p,27p

978-4-260-03956-7

本体 ¥2,700+税



朝日新聞 2019/09/28



うっかりおじさん

エマ・ヴィルケ 著
朔北社

おじさんはこれからお出かけ。準備をはじめめるけど、みつからないものがある…。おじさんのさがしものを手伝おう!おじさんの上品で真面目なおとぼけぶりが楽しいスウェーデンの絵本。

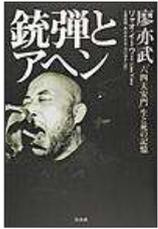
2019:8./ 40p

978-4-86085-133-0

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2019/09/28



銃弾とアヘン～「六四天安門」生と死の記憶～

廖亦武、土屋 昌明、鳥本 まさき、及川 淳子 著
白水社

30年前、天安門広場で何が起きたのか？ 民衆の視点から天安門事件の真相に迫り、今も続く当事者たちの苦難の道のりを追う。中国低層の声を記録しつつけてきた亡命作家によるオーラルヒストリー。

東京・中日新聞 2019/09/01

2019:6./ 370p

978-4-560-09698-7

本体 ¥3,600+税



酒天童子絵巻の謎～「大江山絵詞」と坂東武士～

鈴木 哲雄 著
岩波書店

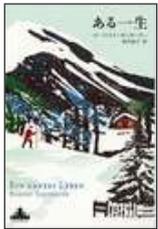
最古の酒天童子絵巻「大江山絵詞」は、いつ、どこで、だれによって作られたのか。京近辺の作という通説に疑問を呈し、中世の坂東武士が絵巻をつくり、伝来してきたことを解き明かしながら、「武士とは何か」という謎に迫る。

東京・中日新聞 2019/09/01

2019:6./ 7p,270p

978-4-00-061347-7

本体 ¥2,400+税



ある一生 (CREST BOOKS)

ローバート・ゼーターラー 著
新潮社

20世紀初頭、幼くして母を亡くし、アルプスの農場主のもと過酷な労働をしいられて育ったアンドレアス・エッガーはある日、雪山で瀕死のヤギ飼いと出会い、「死ぬときは氷の女に会おう」と告げられ…。恩寵に満ちた物語。

東京・中日新聞 2019/09/01

2019:6./ 153p

978-4-10-590158-5

本体 ¥1,700+税



猫をおくる

野中 柊 著
新潮社

たくさんの猫たちが暮らす木蓮寺の住職の真道は、猫専門のムーンライト・セレモニーを開設する。そこでは猫が手あつく弔われ、いつしか猫に生かされてきた男女が集うようになっていた…。『小説新潮』掲載をまとめて単行本化。

東京・中日新聞 2019/09/01

2019:7./ 221p

978-4-10-399906-5

本体 ¥1,700+税



地中海の十字路=シチリアの歴史 (講談社選書メチエ 703)

藤澤 房俊 著
講談社

古くはギリシア人とフェニキア人が覇権を争い、次にローマの穀倉となり、中世にはイスラーム勢力、ノルマン人が栄光の時代をもたらす。さらにフランス、スペイン、イギリスの確執-。シチリア島から世界史を照射する。

東京・中日新聞 2019/09/08

2019:6./ 261p

978-4-06-516328-3

本体 ¥1,750+税



緋の河

桜木 紫乃 著
新潮社

男として生まれた。でも、きれいな女の人になりたいな-。己の信じる道を進んだカルーセル麻紀の波瀾万丈の人生を、事実を元に、想像力を最大限に加えて描く。『北海道新聞』『中日新聞』ほか連載に加筆修正し単行本化。

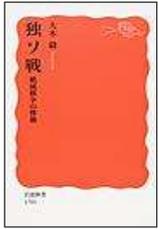
東京・中日新聞 2019/09/08、朝日新聞 2019/09/14

2019:6./ 534p

978-4-10-327725-5

本体 ¥2,000+税





独ソ戦〜絶滅戦争の惨禍〜(岩波新書 新赤版 1785)

大木 毅 著
岩波書店

これは絶滅戦争なのだ。ヒトラーが断言したとき、ドイツとソ連との血で血を洗う皆殺しの闘争が始まった。想像を絶する独ソ戦の惨禍。歴史修正主義の歪曲を正し、現代の野蛮とも呼ぶべき戦争の本質をえぐり出す。

2019:7./ 20p,248p
978-4-00-431785-2

本体 ¥860+税



東京・中日新聞 2019/09/08、毎日新聞 2019/09/22



虎とバット〜阪神タイガースの社会人類学〜

ウィリアム・W.ケリー、高崎 拓哉 著
ダイヤモンド社

なぜ我々は“ダメ虎”でも愛してしまうのか? イェール大学教授による本格的日本プロ野球論。社会人類学的視点から、阪神タイガースと大阪の特異な“絆”を解説する。

2019:6./ 331p
978-4-478-10766-9

本体 ¥1,800+税



東京・中日新聞 2019/09/15



藩とは何か〜「江戸の泰平」はいかに誕生したか〜(中公新書 2552)

藤田 達生 著
中央公論新社

戦国大名はいかにして「国家の官僚」たる藩主へと変貌したのか。家康の参謀・藤堂高虎が辣腕を振った幕藩国家の誕生過程をたどり、江戸時代の平和の基盤となった藩の歴史的意義を明らかにする。

2019:7./ 11p,248p
978-4-12-102552-4

本体 ¥860+税



東京・中日新聞 2019/09/15



我々は生命を創れるのか〜合成生物学が生みだしつつあるもの〜(ブルーバックス B-2103)

藤崎 慎吾 著
講談社

研究室で試作される「生」と「死」。最先端の合成生物学者や宇宙生物学者たちに連続取材し、「いのち」の本質を問う。キッチンでできる人工細胞のレシピ付き。講談社ブルーバックス公式ウェブサイト掲載に書き下ろしを追加。

2019:8./ 318p
978-4-06-516778-6

本体 ¥1,100+税



東京・中日新聞 2019/09/15



日本捕鯨史〜概説〜

中園 成生 著
古小烏舎

捕鯨は必要なのか。2019年7月に商業捕鯨を再開する日本。「日本には捕鯨の歴史と伝統がある」と語られるが、どれくらいの人がある実態を理解しているのか。「鯨と日本人の歴史」を再考し、見つめ直す。

2019:7./ 222p
978-4-910036-00-7

本体 ¥1,900+税



東京・中日新聞 2019/09/15



イチロー・インタビューズ激闘の軌跡〜2000-2019〜

石田 雄太 著
文藝春秋

歴史的偉業の瞬間、大きな決断のとき、イチローはなにを考え、なにを感じていたのか。数々の名言、知られざるエピソードでヒーローの足跡をたどる。「イチロー・インタビューズ」以降の『Number』掲載をもとに大幅改稿。

2019:8./ 426p 函版 32p
978-4-16-391067-3

本体 ¥1,800+税



東京・中日新聞 2019/09/22



古代の都～なぜ都は動いたのか～(シリーズ古代史をひらく)

吉村 武彦、吉川 真司、川尻 秋生 編
岩波書店

飛鳥の地から難波京、さらに平城京、平安京へ。古代国家の中心たる「都」が移動を繰り返したのは、そして平安京以降動かなくなったのはなぜか？ 古代都城の発掘を手がけたエキスパートが、都の実態や移り変わりを追う。

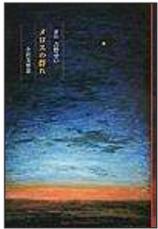
2019:7./ 7p,314p

978-4-00-028496-7

本体 ¥2,600+税



東京・中日新聞 2019/09/22



メロスの群れ～評伝吉野せい～

小沢 美智恵 著
シングルカット

文壇とは縁のない「百姓バツパ」が、70代半ばで刊行した「涙をたらした神」。生活の重みと鋭い切れ味の文体を持った“恐るべき文学”はどこからきたのか。小説家・吉野せいの生涯に迫った評伝。『ちば文学』掲載を単行本化。

2019:7./ 253p

978-4-938737-67-2

本体 ¥1,600+税



東京・中日新聞 2019/09/22



レンマ学

中沢 新一 著
講談社

大乘仏教、哲学、量子論、精神分析、数学、脳科学などを超えて、東洋知の結晶した華嚴経の潜在力を大展開。「チベットのモーツァルト」に始まった心と脳をめぐる探究の頂。『群像』連載や講演などに書き下ろしを加えて書籍化。

2019:8./ 469p

978-4-06-517098-4

本体 ¥2,700+税



東京・中日新聞 2019/09/22、毎日新聞 2019/09/22



1988年のパ・リーグ

山室 寛之 著
新潮社

1988年のパ・リーグで何が起こっていたのか？ 南海・阪急の衝撃的な身売りに、伝説の「10.19」ロッテ vs 近鉄のダブルヘッダー。“球史”に残る、昭和最終年のシーズン舞台裏を新証言と資料で綴る。

2019:7./ 239p

978-4-10-352731-2

本体 ¥1,550+税



東京・中日新聞 2019/09/29



いまこそ経済成長を取り戻せ～崩壊の瀬戸際で経済学に何ができるか～

ダンピサ・モヨ、若林 茂樹 著
白水社

政治・経済・社会を覆う「短期志向」、諸悪の根源としての「近視眼的思考」をいかに乗り越え、リベラル・デモクラシーの凋落と権威主義体制の隆盛に対するのか？ 「経済成長」を軸にこれからのデモクラシーを展望する。

2019:8./ 201p,35p

978-4-560-09718-2

本体 ¥2,400+税



東京・中日新聞 2019/09/29



万波を翔る

木内 昇 著
日本経済新聞出版社

開国から4年、幕府は外国局を新設した。実力本位で任ぜられた奉行は破格の穎才ぞろい。そこに鼻っ柱の強い江戸っ子の若者が出仕して…。維新前夜、近代外交の礎を築いた幕臣たちの物語。『日本経済新聞』夕刊連載を単行本化。

2019:8./ 555p

978-4-532-17149-0

本体 ¥2,000+税



東京・中日新聞 2019/09/29



人口で語る世界史

ポール・モーランド、渡会 圭子 著
文藝春秋

大英帝国の出現は産業革命と農業革命による人口爆発ありきだった。一方、ナチは優生学ゆえ人口増に失敗した。気鋭の人口学者が「人口の大変革期」に当たる直近 200 年を読み解いた、画期的な歴史教養書。

2019:8./ 405p

978-4-16-391085-7

本体 ¥2,200+税



東京・中日新聞 2019/09/29、毎日新聞 2019/09/29



日本の庭ことはじめ

岡田 憲久 著

TOTO出版

変化する自然を意匠(デザイン)の主演として扱う日本庭園には、自然をより美しく享受するために、どのような装置が構造やディテールとして巧まれているのか。造園家である著者が、さまざまな庭園を写真とともに読み解く。

2008:5./ 327p

978-4-88706-292-4

本体 ¥2,500+税



読売新聞 2019/09/01



京都・禅寺の名庭(SUIKO BOOKS)

水野 克比古 著

光村推古書院

禅の庭は、日常生活の苦悩から厭離できる導きと癒しを秘めて静かに佇んでいる。京都の代表的な禅宗寺院 59 ケ寺の庭園を、美しい写真で紹介。簡単な庭の解説、寺院の来歴なども掲載。

2009:10./ 107p

978-4-8381-0416-1

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2019/09/01



風をつかまえた少年～14 歳だったぼくはたったひとりで風力発電をつくった～ (文春文庫 S17-1)

ウィリアム・カムクワンバ、ブライアン・ミーラー、田口 俊樹 著

文藝春秋

アフリカの最貧国マラウイで学費を払えず中学校に行けなくなった少年。独学により廃品を利用して風力発電のできる風車を製作した彼は、わずかな人しか電気を使えない自国で家に明かりをとすことに成功する。感動の実話。

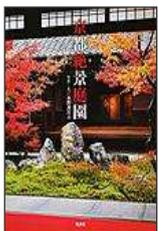
2014:12./ 477p

978-4-16-790265-0

本体 ¥950+税



読売新聞 2019/09/01



京都絶景庭園～名庭 30 を大判美麗写真で完全ガイド～

水野 秀比古 著

電波社

春夏秋冬の木々や花々、風雪などの天候、時間帯による光線の変化…。四季折々に表情を変える京都の名庭 30 庭園を、大判美麗写真と詳細データで完全ガイドする。データ:2017 年 10 月現在。

2017:11./ 127p

978-4-86490-122-2

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2019/09/01



藤原彰子(人物叢書 新装版 通巻 294)

日本歴史学会 編
服藤 早苗 著
吉川弘文館

一条天皇の中宮・藤原彰子。藤原道長の長女として生まれ、二人の天皇の母として、また天皇家の家長として、院政への架け橋となった。その 87 年の生涯を、「御堂関白記」「小右記」などに残された痕跡から浮かび上がらせる。

2019:6./ 15p,286p

978-4-642-05287-0

本体 ¥2,200+税



読売新聞 2019/09/01



がん外科医の本音～患者の前で言わない本当のこと～(SB新書 480)

中山 祐次郎 著
SBクリエイティブ

がんには闘い方がある! がん外科医が「医学研究の結果+現場の経験」をわかりやすく説明し、病院選びやがん治療医との付き合い方、がんとはそもそもどういうもので、なぜ抗がん剤の副作用は起こるのかなどを本音で記す。

2019:6./ 252p

978-4-8156-0247-5

本体 ¥850+税



読売新聞 2019/09/01



双極性障害～双極症I型・II型への対処と治療～ 第2版(ちくま新書 1415)

加藤 忠史 著
筑摩書房

統合失調症と並ぶ精神疾患、双極性障害(双極症)。臨床と研究の双方に携わる著者が、再発のリスクが高いこの病気の原因から診断、治療までを解説する。最新の研究成果や豊富な Q&A を収めた第2版。

2019:6./ 266p

978-4-480-07228-3

本体 ¥860+税



読売新聞 2019/09/01



『ころ』異聞～書かれなかった遺言～

若松 英輔 著
岩波書店

「先生」はなぜ妻を残して死のうと決心したのか。このテキストは「先生」の死からどれだけの時を経て書かれたのか。夏目漱石「ころ」に隠された謎を読み解く。『図書』連載を改題、改稿・加筆して単行本化。

2019:6./ 8p,239p

978-4-00-022967-8

本体 ¥2,300+税



読売新聞 2019/09/01



地獄めぐり(講談社現代新書 2527)

加須屋 誠 著
講談社

なぜ私たちは「地獄」に惹きつけられ、魅了されるのか。古代から近代までの、「地獄」を描いた作品を考察し、その理由を具体的かつ実証的に解き明かす。豊富な図版、地獄から生還した人たちの“証言”も収録。

2019:6./ 230p

978-4-06-516147-0

本体 ¥1,000+税



読売新聞 2019/09/01



生のみ生のまま<上>

綿矢 りさ 著
集英社

恋人と出かけたリゾートで、25歳の逢衣は彼の幼なじみと、その彼女・彩夏に出会う。逢衣と彩夏は東京へ帰った後も親しく付き合うようになるが、ある日とつぜん、彩夏に唇を奪われ…。『すばる』連載を加筆修正して単行本化。

2019:6./ 218p

978-4-08-771188-2

本体 ¥1,300+税



読売新聞 2019/09/01



生のみ生のままで<下>

綿矢 りさ 著
集英社

互いに男の恋人がいるのに惹かれあう逢衣と彩夏は、一緒に暮らし始めた。芸能活動をしていた彩夏の人気に火がつき、仕事も恋も順調に回り始めた矢先、思わぬ試練に襲われ…。『すばる』連載を加筆修正して単行本化。

2019:6./ 220p

978-4-08-771189-9

本体 ¥1,300+税



読売新聞 2019/09/01



コケはなぜに美しい(NHK 出版新書 588)

大石 善隆 著
NHK出版

初期の陸上植物の面影を残す植物、コケ。岩や樹木になぜ生える? 「苔のむすまで」はどれくらい? コケを愛してやまない気鋭の研究者が、200 点以上のカラー写真とともに語る、小さなコケの壮大な物語。

2019:6./ 286p

978-4-14-088588-8

本体 ¥1,200+税



読売新聞 2019/09/01



綾峰音楽堂殺人事件

藤谷 治 著
ポプラ社

音楽評論家として著名な英文学教授・討木穰太郎は、顧問をしている綾峰フィルの解散と、その活動拠点である音楽堂の取り壊しを告げられる。そして迎えた最終公演の日、音楽堂で殺人事件が起き…。『asta*』連載を書籍化。

2019:6./ 314p

978-4-591-16322-1

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2019/09/01



序列を超えて。〜ラグビーワールドカップ全史 1987-2015〜(鉄筆文庫 ふ 1-2)

藤島 大 著
鉄筆

ラグビーはハート。そしてときどきビール。これまでに行なわれたラグビーワールドカップ全 8 大会を現地取材してきた著者が、世界のラグビーの潮流、ジャパンの変遷、開催国の文化・人間・ビールを通して、大会の魅力を綴る。

2019:6./ 364p

978-4-907580-20-9

本体 ¥960+税



読売新聞 2019/09/01



戦禍に生きた演劇人たち〜演出家・八田元夫と「桜隊」の悲劇〜(講談社文庫 ほ 41-6)

堀川 恵子 著
講談社

戦禍の中に自由を奪われ、手足を縛られ、重い枷をはめられ、それでも芝居の世界に生きた舞台人たちがいた。演出家・八田元夫の膨大な遺品をもとに、広島に散った桜隊をはじめとする戦前戦中戦後の演劇史を綴る。

2019:7./ 489p

978-4-06-516343-6

本体 ¥900+税



読売新聞 2019/09/01



天使も怪物も眠る夜

吉田 篤弘 著
中央公論新社

2095 年、壁によって分断された東京は<不眠の都>と呼ばれていた。眠り姫を目覚めさせるため、8 人目の王子は壁をこえる…。競作企画「螺旋プロジェクト」の未来編。『小説 BOC』連載を単行本化。

2019:7./ 409p

978-4-12-005211-8

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2019/09/01



日本現代怪異事典副読本

朝里 樹 著
笠間書院

現代怪異の世界を探索するためのガイドブック。類似した特徴を持つ怪異たちを集め、その共通点を考察するほか、怪異たちの出没場所や使用凶器、日本各地方ごとの怪異の特色を紹介。新怪異 50 点も掲載する。

2019:6./ 315p
978-4-305-70878-6

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2019/09/01



座右の銘はない〜あそび人学者の自叙伝〜

石毛 直道 著
日本経済新聞出版社

辺境の地を駆け巡り、世界各地の生活や文化を考えていくと、人々が何をどのように食べているか、が主たる研究分野になっていた。自分が「おもしろい」ことを追求した、食文化のパイオニアの自叙伝。『日経新聞』連載に加筆。

2019:7./ 243p
978-4-532-17669-3

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2019/09/01



アフリカを見る アフリカから見る(ちくま新書 1428)

白戸 圭一 著
筑摩書房

もはやアフリカは援助対象地ではない。現代アフリカ社会の諸相に焦点を当てつつ、時にアフリカ側に自らの視座を定め日本を観察する。『朝日新聞 GLOBE+』連載に『Foresight』掲載の篠田英朗との対談を加える。

2019:8./ 251p
978-4-480-07242-9

本体 ¥820+税



読売新聞 2019/09/01



ローカルバスの終点へ(河出文庫 み 4-6)

宮脇 俊三 著
河出書房新社

鉄道の車窓から見ていたローカルバスに心惹かれ、鉄道も通わぬ「秘境」巡りの旅に出る。鄙びた田舎へ、過疎の村へ、深山幽谷、究極の僻地へ…。北海道から沖縄まで、鉄道作家の巨匠が 23 の路線バスの終点を訪ねた旅行記。

2019:8./ 278p
978-4-309-41703-5

本体 ¥840+税



読売新聞 2019/09/01



猫と偶然

春日 武彦 著
作品社

愛猫との心安らぐ日々、猫が現れる文芸作品、紡がれる詩的連想…。精神病理の解説から、含蓄ある評論、小説の執筆まで、人間心理の深奥に迫る表現を続けてきた著者が描く、猫と人間の美しくも、ちょっと不思議な断章集。

2019:7./ 231p
978-4-86182-758-7

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2019/09/01



日本の城の謎<築城編>(祥伝社黄金文庫 G い 5-4)

井上 宗和 著
祥伝社

鳥取城の攻城戦、江戸城の人柱、姫路城の抜け穴、大坂城の巨石運搬、小田原城の無血開城、会津若松城の絵図…。長年、日本の城の研究に取り組んできた著者が、日本の城のもつ謎と秘密に迫る。

2019:8./ 284p
978-4-396-31762-1

本体 ¥690+税



読売新聞 2019/09/01



昭和史講義<戦前文化人篇>(ちくま新書 1421)

筒井 清忠 編
筑摩書房

石橋湛山、和辻哲郎、鈴木大拙、柳田国男…。近代日本を代表する文化人たちは昭和戦前期をいかに生き抜いたか。16 人を採り上げ、彼らが戦争とどう関わり、あるいは背を向けたかを見ることで激動の時代を検証する。

2019:7./ 302p

978-4-480-07240-5

本体 ¥900+税



読売新聞 2019/09/01、産経新聞 2019/09/08



『帝国』ロシアの地政学～「勢力圏」で読むユーラシア戦略～

小泉 悠 著
東京堂出版

ウクライナへの軍事侵攻とクリミア半島併合、中東への介入、中国への接近、日本との北方領土問題…。近年広がりを見せるロシアの「勢力圏」。その狙いは何か? 「境界」の概念を軸として、ロシアの地政学的戦略を解説する。

2019:6./ 291p

978-4-490-21013-2

本体 ¥2,400+税



読売新聞 2019/09/01、朝日新聞 2019/09/07、毎日新聞 2019/09/29



ラグビーの世界史～楢円球をめぐる二百年～

トニー・コリンズ、北代 美和子 著
白水社

村の祝祭から名門校の教育に、大衆の娯楽から国民統合の象徴に。大英帝国の覇権とともに世界各地に広まった「楢円球のスポーツ」ラグビーを、知られざる逸話や資料をもとにグローバルに活写する。

2019:6./ 461p,48p

978-4-560-09708-3

本体 ¥5,800+税



読売新聞 2019/09/01、日本経済新聞 2019/09/21



どこにもない短篇集(角川文庫)

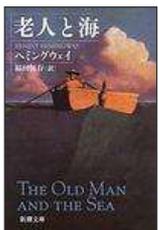
原田 宗典 著
角川書店

読売新聞 2019/09/08

2003:2./ 224p

978-4-04-176214-1

本体 ¥480+税



老人と海 改版(新潮文庫)

ヘミングウェイ、福田 恒存 著
新潮社

キューバの老漁夫サンチャゴは、長い不漁にもめげず、小舟に乗り、たった一人で出漁する。残りわずかな餌に想像を絶する巨大なカジキマグロがかかった。4日にわたる死闘ののち老人は勝ったが、帰途サメに襲われ…

2003:5./ 170p

978-4-10-210004-2

本体 ¥430+税



読売新聞 2019/09/08



我利馬の船出(復刻版理論社の大長編シリーズ)

灰谷 健次郎、太田 大八 著
理論社

ある少年が、不思議な男のもとで造った船「我利馬(ガリバー)号」。たどり着いたのは、巨人たちの島だった。傷つきながらも、人間の優しさにめざめる少年の姿を描いた、1980年代の名作を復刻。復刻版解説付き。

2010:1./ 319p

978-4-652-00547-7

本体 ¥2,400+税



読売新聞 2019/09/08



新編銀河鉄道の夜 改版(新潮文庫 み-2-5)

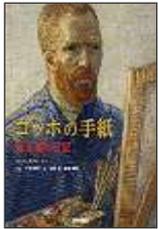
宮沢 賢治 著
新潮社

貧しく孤独な少年ジョバンニが、親友カムパネルラと銀河鉄道に乗って美しく哀しい夜空の旅をする表題作や、「よだかの星」「オツベルと象」など、全 14 編を収録。賢治童話の豊饒な醍醐味をあますところなく披露する。

読売新聞 2019/09/08

2012:4./ 423p
978-4-10-109205-8

本体 ¥430+税



ゴッホの手紙～絵と魂の日記～

H.アンナ・スー 編
ゴッホ 著
西村書店

「狂気の画家」ではなく、思慮深く知的なゴッホがみえてくる! 弟テオ宛を中心とする 700 通以上のゴッホの手紙から 251 通を選び、その抜粋を関連する作品とともに紹介。偶像化された画家の素顔に迫る。

読売新聞 2019/09/08

2012:7./ 319p

978-4-89013-678-0

本体 ¥3,800+税



大きな鳥にさらわれたいよ

川上 弘美 著
講談社

遙か遠い未来、滅亡の危機に瀕した人類は、小さな集団に分かれ、密やかに暮らしていた。生きながらえるために、ある祈りを胸に秘め-。かすかな光を希求する人間の行く末を暗示した、新しい神話。『群像』掲載等を単行本化。

読売新聞 2019/09/08

2016:4./ 340p

978-4-06-219965-0

本体 ¥1,500+税



須賀敦子の本棚<7> 私のカトリック少女時代

池澤 夏樹、メアリー・マッカーシー、若島 正 著
河出書房新社

須賀敦子の没後 20 年を記念した海外文学コレクション。7 は、20 世紀アメリカを代表する作家メアリー・マッカーシーの回想記「私のカトリック少女時代」を収録。池澤夏樹のエッセイも掲載。

読売新聞 2019/09/08

2019:4./ 286p

978-4-309-61997-2

本体 ¥2,400+税



わたしは哺乳類です～母乳から知能まで、進化の鍵はなにか～

リアム・ドリュー、梅田 智世 著
合同出版

哺乳類はどこから来て、どのようにわれわれの姿になったのか。母乳、セックス、子育て、知能などをテーマに、従来の通説を引っくり返すような最新の知見を盛り込みながら、哺乳類の起源と進化の謎を解き明かす。

読売新聞 2019/09/08

2019:6./ 429p

978-4-7726-9564-0

本体 ¥2,600+税



加藤典洋 本太幸と井伏～ふたつの戦後～(講談社文芸文庫 か P4)

加藤 典洋 著
講談社

4 度の自殺未遂を経て、生きることを選んだ太宰治は、戦後なぜ再び死に赴いたのか。師弟でもあったふたりの文学者の対照的な姿から、今に続く「戦後」の核心を鮮やかに照射する。考察を深めた論考を増補した完本。

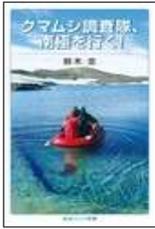
読売新聞 2019/09/08

2019:5./ 266p

978-4-06-516026-8

本体 ¥1,700+税





クマムシ調査隊、南極に行く!(岩波ジュニア新書 899)

鈴木 忠 著
岩波書店

南極クマムシ、コケ坊主、昭和基地、ジェームズ・マレー…。大学でクマムシを研究する生物学者が南極観測隊に参加。そこで体験した極地の自然と観測隊の日常を、ユーモアあふれる文体でつづる。貴重な写真も掲載。

2019:6./ 6p,228p

978-4-00-500899-5

本体 ¥960+税



読売新聞 2019/09/08



ルビンのツボ~芸術する体と心~

齋藤 亜矢 著
岩波書店

芸術を生み出す心のしくみとは? 子どものころの砂遊び、背骨を折った経験…。絵を描く心の起源を探求する異色の研究者が、自身の体と体験をとおしてを感じたことを軸に綴る。『図書』連載をもとに加筆して単行本化。

2019:6./ 9p,148p

978-4-00-025601-8

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2019/09/08



日本史に学ぶ マネーの論理

飯田 泰之 著
PHPエディターズ・グループ

「貨幣としての機能」を担ってきた、または担いうる様々な商品、債券、契約の背後にある論理は何か。貨幣の歴史を題材として、現代の貨幣、さらには未来の貨幣を考える論理を抽出し、経済学的な知見を導き検証する。

2019:5./ 252p

978-4-569-84293-6

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2019/09/08



止まった刻 検証・大川小事故

河北新報社報道部 著
岩波書店

東日本大震災の津波で多くの児童・教職員が犠牲となった石巻市大川小学校。そのとき、何があったのか? その責任はどこに? いま、各地の学校でなされている取り組みとは? 徹底検証する。『河北新報』連載を書籍化。

2019:7./ 20p,199p,9p

978-4-00-061348-4

本体 ¥1,700+税



読売新聞 2019/09/08



この日のために~池田勇人・東京五輪への軌跡~<上>(角川文庫 こ24-8)

幸田 真音 著
KADOKAWA

幻となったオリンピックを再び東京で開催しようと動き始める田畑政治。時を同じくして、池田勇人は大蔵省を経て、政治の世界へと身を投じていく…。知られざる東京オリンピック物語。

2019:7./ 284p

978-4-04-107789-4

本体 ¥640+税



読売新聞 2019/09/08



この日のために~池田勇人・東京五輪への軌跡~<下>(角川文庫 こ24-9)

幸田 真音 著
KADOKAWA

「記憶に残る大会に」「経済成長に弾みを」というそれぞれの理想を掲げて奔走した池田勇人と田畑政治。そしてついに五輪開催の日が訪れた…。知られざる東京オリンピック物語。

2019:7./ 297p

978-4-04-107790-0

本体 ¥640+税



読売新聞 2019/09/08



ミーツ・ガール(新潮文庫 あ-98-1)

朝香 式 著
新潮社

大学時代、僕の部屋を占拠したデブで不潔な「肉女」サトミ。3ヶ月後に追い出すが、10年後、ヤツは全く別の姿で僕の前に現れた…。一癖も二癖もある男と女が紡ぎだす、正解のない関係性の物語。全5編を収録。

読売新聞 2019/09/08

2019:8./ 277p
978-4-10-101341-1

本体 ¥520+税



「満洲」に渡った朝鮮人たち～写真でたどる記憶と痕跡～

李 光平、金 富子、中野 敏男、橋本 雄一、飯倉 江里衣 著
世織書房

「満洲」に渡った朝鮮人たちの人生を、写真がとらえたその姿と証言により想起しようという試み。集団移民の魂を探して数万里、写真家・李光平が20年にわたって聞き取ったオーラルヒストリー・ノート。

読売新聞 2019/09/08

2019:6./ 175p,10p
978-4-86686-006-0

本体 ¥2,400+税



南の島のよくカニ食う旧石器人(岩波科学ライブラリー 287)

藤田 祐樹 著
岩波書店

日本の人類史でもっとも古く、長く、そして謎の多い旧石器時代。ウナギを釣り、貝のビーズでおしゃれして、旬のカニをたらふく食べる。沖縄の洞窟遺跡の膨大な遺物から見えてきた、旧石器人の優雅な生活をいきいきと描く。

読売新聞 2019/09/08

2019:8./ 10p,134p,2p
978-4-00-029687-8

本体 ¥1,300+税



生命科学者たちのむこうみずな日常と華麗なる研究(河出文庫 な 40-1)

仲野 徹 著
河出書房新社

歴史に名を残す成果をあげた科学者たち。彼らはどれくらいすごいのか。18名の研究者を選び、その独創的で、むちゃくちゃで、けれども見事な人生と研究内容を解説する。文庫版特典「超二流」研究者の自叙伝も収録。

読売新聞 2019/09/08

2019:8./ 419p
978-4-309-41698-4

本体 ¥1,250+税



精神科医が教える 親のトリセツ(中公新書ラクレ 665)

保坂 隆 著
中央公論新社

相続、介護、2世帯、遠距離、悪質商法…。頑固な親を説得するには？精神科医の著者が、親との折り合いのつけ方について、さまざまな角度から徹底解説。心を通わせ合うためのヒントを伝える。

読売新聞 2019/09/08

2019:8./ 219p
978-4-12-150665-8

本体 ¥840+税



たぶの里

藤岡 拓太郎 著
ナナロク社

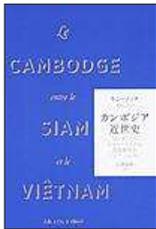
おすもうさんがどこから現れて、大きなおなかを、男の子や女の子の頭の上に、たぶ、と乗せて…。TwitterとInstagramでギャグ漫画を発表している著者が初めて手掛けた、不思議なリズムの笑える絵本。

読売新聞 2019/09/08

2019:7./ 42p
978-4-904292-89-1

本体 ¥1,200+税





カンボジア近世史～カンボジア・シャム・ベトナム民族関係史(1775-1860年)～

キン・ソック、石澤 良昭 著
めこん

現在のベトナム南部とタイ東北部地方はかつてカンボジア王国領であった。18世紀と19世紀のポスト・アンコール時代に、どのような経緯で国土の大半を失うことになったのか、約100年間の歴史展開をたどる。

2019:7./ 457p

978-4-8396-0315-1

本体 ¥5,000+税



読売新聞 2019/09/08



かまくら谷戸の風

山内 静夫 著
冬花社

昭和の初めの子ども時代、プロデューサーとして小津安二郎監督のもとで活躍し、映画の盛衰とともに歩んだ日々、鎌倉での暮らし…。洒落な筆で半生を振り返る。『鎌倉朝日』連載を書籍化。

2019:6./ 185p

978-4-908004-36-0

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2019/09/08



日本国民のための愛国の教科書

将基面 貴巳 著
百万年書房

愛国心を持つことは自然なことか。国のために尽くすことは正しいことか。愛国心の落とし穴とは何か。「愛国」という問題をめぐって研究してきた内容から重要な論点を選び、個人的体験も交えて平易に論じる。

2019:7./ 199p

978-4-9910221-9-7

本体 ¥1,680+税



読売新聞 2019/09/08、朝日新聞 2019/09/21



死ぬんじゃねーぞ!!～いじめられている君はゼツタイ悪くない～

中川 翔子 著
文藝春秋

あなたの命はあなたのもの。誰にも奪うことはできない。中学のころにいじめがきっかけで不登校になった中川翔子が、「死にたかった夜」の先に見つけた気持ちを言葉と漫画で綴る。

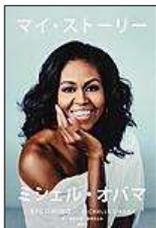
2019:8./ 206p

978-4-16-391072-7

本体 ¥1,200+税



読売新聞 2019/09/08、日本経済新聞 2019/09/14



マイ・ストーリー

ミシェル・オバマ、長尾 莉紗、柴田 さとみ 著
集英社

前アメリカ大統領夫人、ミシェル・オバマの回想録。優雅でユーモラス、そして率直な文章で、大統領一家の知られざる生活と、その特別な8年間を過ごしたホワイトハウスの内幕を鮮やかに綴る。

2019:8./ 579p 図版 16p

978-4-08-786117-4

本体 ¥2,300+税



読売新聞 2019/09/08、毎日新聞 2019/09/29



ねじれた絆～赤ちゃん取り違え事件の十七年～

奥野 修司 著
新潮社

昭和46年、沖縄で看護婦のミスにより生後まもない赤ちゃんが取り違えられた。愛娘誕生から6年後に取り違えに気づいた二家族の、裁判、子供の再交換、二家族の合体までの生き様を17年間にわたり取材したノンフィクション。

1995:5./ 313p

978-4-10-404901-1

本体 ¥1,456+税



読売新聞 2019/09/15



模範郷(集英社文庫 リ2-1)

リービ英雄 著
集英社

1950年代、6歳から10歳まで台湾にいた「ぼく」。日・米・中・台の会話が交錯する旧日本人街「模範郷」。そこは間違いなく「ぼく」の故郷であり、根源であった。半世紀を経て故郷・台湾を訪れる<時>の旅人の物語。

2019:3./ 179p

978-4-08-745850-3

本体 ¥540+税



読売新聞 2019/09/15



生命の歴史は繰り返すのか?〜進化の偶然と必然のナゾに実験で挑む〜

ジョナサン・B.ロソス、的場 知之 著
化学同人

進化は偶然か、必然か。世界各地を訪れ、地球の生命史における最大のミステリーを進化実験で解決しようとする研究者たちの奮闘。進化生物学の最先端で今おこなわれていることを、明晰かつ面白おかしく描き出す。

2019:5./ 16p,382p

978-4-7598-2007-2

本体 ¥2,800+税



読売新聞 2019/09/15



指揮者は何を考えているか〜解釈、テクニク、舞台裏の闘い〜

ジョン・マウチェリ、松村 哲哉 著
白水社

レナード・バーンスタインと親交の深かった指揮者ジョン・マウチェリが、師から弟子へと受け継がれる「極意」、そして「指揮者という仕事」をあらゆる角度から語る。著名な音楽家のエピソードも満載。

2019:6./ 339p,12p

978-4-560-09709-0

本体 ¥3,000+税



読売新聞 2019/09/15



老いのゆくえ(中公新書 2548)

黒井 千次 著
中央公論新社

優先席での年齢比べ、一向に進まない本の整理、曲げた腰を伸ばす難しさ、隙を見ては襲ってくる眠気、病気との付き合い方…。85歳の「区切り」を超えた作家が、老いのゆくえの失敗と喜びを描く。

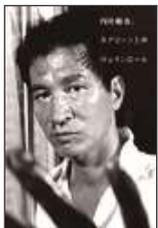
2019:6./ 235p

978-4-12-102548-7

本体 ¥820+税



読売新聞 2019/09/15



内田裕也、スクリーン上のロックンロール

内田 裕也 著
キネマ旬報社

2019年3月に亡くなった内田裕也。「ロックの神様」は、映画俳優としても活躍し、巨匠・名匠・鬼才たちと共に数々の傑作を生み出した。内田裕也の俳優人生に焦点を絞り、最後の超ロングインタビューからその軌跡を辿る。

2019:6./ 360p

978-4-87376-467-2

本体 ¥2,200+税



読売新聞 2019/09/15



棚田の民〜中国貴州省の苗族〜(NC PHOTO BOOKS)

沈 輝、長谷川 由美子 著
日本カメラ社

中国貴州省の南端に位置する従江県の加榜郷。苗族の村落が点在するこの地は、見渡す限り棚田で覆われている。整然と稲が実る棚田、将来消滅してしまうだろう農作業の様子、村の生活を記録した写真集。

2019:5./ 159p

978-4-8179-2173-4

本体 ¥3,200+税



読売新聞 2019/09/15



のっけから失礼します

三浦 しをん 著
集英社

体脂肪率が首位打者レベル、EXILE 一族や漫画への熱き思い…。ありふれているのに奇想天外な日常がつづられる、三浦しをんワールド炸裂の、抱腹絶倒のエッセイ集。『BAILA』連載に書き下ろしを加え単行本化。

読売新聞 2019/09/15

2019:8./ 303p
978-4-08-780870-4

本体 ¥1,600+税



問はずがたり・吾妻橋〜他十六篇〜(岩波文庫 31-042-13)

永井 荷風 著
岩波書店

フランスへの滞在経験もある画家が、終戦までの 20 数年の半生を自身の女性遍歴と重ねながら回想する「問はずがたり」ほか、若い女性の心象を描いた「吾妻橋」等、著者が戦後に執筆した小説 10 篇、戯曲 1 篇、随筆 7 篇を収録。

読売新聞 2019/09/15

2019:8./ 336p
978-4-00-360036-8

本体 ¥810+税



きえもの

九螺 ささら 著
新潮社

「現実」と「夢」、「有」と「無」、その境界線を飛び越える瞬間を鮮やかに切り取る燦めく言葉の万華鏡…。「きえもの」=「食べ物」を切り口に、日常の風景の中に非日常への扉を描き出した、短歌と物語が響き合う掌編集。

読売新聞 2019/09/15

2019:8./ 207p
978-4-10-352761-9

本体 ¥1,700+税



包摂・共生の政治か、排除の政治か〜移民・難民と向き合うヨーロッパ〜

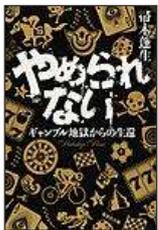
佐藤 成基 編
明石書店

「移民・難民問題」の政治争点化と右翼ポピュリスト政党台頭の実相について、EU 難民政策の専門研究員がヨーロッパ各国の具体的な政治社会動向を多角的に分析。その意味を考察する。

読売新聞 2019/09/15

2019:8./ 324p
978-4-7503-4860-5

本体 ¥2,800+税



やめられない〜ギャンブル地獄からの生還〜(集英社文庫 は 32-11)

帯木 蓬生 著
集英社

パチンコ、スロット、競馬、競輪…。日本国内のギャンブル症者は推定 320 万人。現役精神科医の著者が、様々な症例と共に、病気の全貌と回復への具体的な治療を明らかにする。カジノの危険性など最新情報を大幅加筆し文庫化。

読売新聞 2019/09/15

2019:8./ 301p
978-4-08-744011-9

本体 ¥620+税



マル暴総監(実業之日本社文庫 こ 2-13)

今野 敏 著
実業之日本社

北綾瀬署管内で起きたチンピラ殺人事件の捜査線上に浮かんだ謎多き人物。捜査本部でただ一人その正体を知る史上「最弱」刑事・甘糟は、現場にふらりとあらわれる男に翻弄されることに…。<マル暴>シリーズ第 2 弾。

読売新聞 2019/09/15

2019:8./ 429p
978-4-408-55496-9

本体 ¥741+税





掘り起こせ! 中小企業の「稼ぐ力」〜地域再生は「儲かる会社」作りから〜 (光文社新書 1023)

小出 宗昭 著
光文社

地方ビジネスを成功させるには、当事者には気づけない「強み」を発見し、新しい価値につなげる。その詳しい考え方を、企業支援拠点「エフビズ」の成功事例や、各ビズの活躍をもとに解説する。藻谷浩介との対談も収録。

2019:8./ 253p
978-4-334-04423-7

本体 ¥820+税



読売新聞 2019/09/15



銀の匙

中 勘助、安野 光雅 著
朝日出版社

古い茶? 筥の抽匣から銀の匙を見つけたことから始まる、伯母の愛情に包まれて過ごした幼少期の日々…。中勘助の自伝的作品に、安野光雅が子どもの内面世界を情感豊かに描いた美しい絵を添える。

2019:9./ 223p
978-4-255-01127-1

本体 ¥2,200+税



読売新聞 2019/09/15



ダイヤモンド広場(岩波文庫 32-739-1)

マルセー・ルドウレダ、田澤 耕 著
岩波書店

バルセロナのグラシア街を舞台に、スペイン内戦の混乱に翻弄されるひとりの女性の愛のゆくえを、散文詩のような美しい文体で綴る。30以上の言語に翻訳された、現代カタルーニャ文学の至宝と言われる世界的名作。

2019:8./ 289p
978-4-00-327391-3

本体 ¥780+税



読売新聞 2019/09/15、日本経済新聞 2019/09/21



中村裕 東京パラリンピックをつくった男

岡 邦行 著
ゆいぽおと

「パラリンピックの父」、ルートヴィヒ・グットマンに直接師事。人並み外れた押しの強さと行動力で日本の社会常識と闘って、東京パラリンピックを招致し、障がい者スポーツを大きく推進した中村裕の生涯を紹介する。

2019:8./ 366p
978-4-87758-480-1

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2019/09/15、毎日新聞 2019/09/22



雪沼とその周辺(新潮文庫)

堀江 敏幸 著
新潮社

読売新聞 2019/09/22

2007:7./ 206p
978-4-10-129472-8

本体 ¥430+税



<内在の哲学>へ〜カヴァイエス・ドゥルーズ・スピノザ〜

近藤 和敬 著
青土社

我々が<現在>の外へ出るために、いま<内在の哲学>の哲学的基盤が必要とされている。カヴァイエスらを射程に、エピステモロジー、シミュラクル論等の複線を展開し、思考の臨界に迫る。『現代思想』掲載を中心に書籍化。

2019:6./ 494p,6p
978-4-7917-7169-1

本体 ¥3,600+税



読売新聞 2019/09/22



21匹のネコがさっくり教えるアート史

ニア・グールド、上杉 隼人 著
すばる舎リンケージ

ネコたちとアートの歴史の旅へ出発！ 古代エジプトの美術から、ヤング・ブリティッシュ・アーティストたちのびっくりするけど大成功した作風まで、重要な芸術運動と芸術家たちを、21匹のネコがわかりやすく解説します。

2019:6./ 85p
978-4-7991-0802-4

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2019/09/22



書物の愉しみ〜井波律子書評集〜

井波 律子 著
岩波書店

絵本から童話、小説、そして広大な書物の海へ。本を読むことが、どれほど楽しいことか。いきいきとした好奇心と素直な驚きに溢れた文章で読者を書棚の前へといざなう、井波律子の30年間の書評を収録する。

2019:6./ 13p,521p,18p
978-4-00-061345-3

本体 ¥3,200+税



読売新聞 2019/09/22



最後の弟子が語る折口信夫

岡野 弘彦 著
平凡社

昭和22年からその死までの6年半、折口信夫と同居して晩年の生活と仕事を支えた“最後の弟子”が、言葉や心のやりとり、見聞や思い出など、師との濃密な時間を精魂こめて綴る。『こころ』連載を書籍化。

2019:7./ 253p
978-4-582-83810-7

本体 ¥2,600+税



読売新聞 2019/09/22



中国戦線従軍記〜歴史家の体験した戦場〜(岩波現代文庫 学術 407)

藤原 彰 著
岩波書店

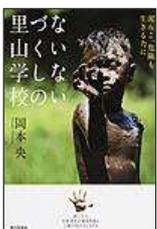
19歳で陸軍少尉に任官し、敗戦までの4年間、最前線で指揮をとり、戦後、その経験をもとに戦争史研究を牽引した藤原彰。日本軍のありさまと兵士・将官たちの日常を描き出した「従軍記」であるとともに優れた兵士論・戦場論。

2019:7./ 6p,268p
978-4-00-600407-1

本体 ¥1,080+税



読売新聞 2019/09/22



ないないづくしの里山学校〜泥んこ、危険も生きる力に〜

岡本 央 著
家の光協会

子どもたちは“ないないづくし”を“あるあるづくし”に変えて、生きる力を育んでいく。千葉県木更津市郊外で行われている里山学校の子どもの姿を、学校を始めた宮崎栄樹園長の保育哲学を交えながら、写真で紹介する。

2019:8./ 127p
978-4-259-54770-7

本体 ¥1,400+税



読売新聞 2019/09/22



国家を食べる(新潮新書 823)

松本 仁一 著
新潮社

世界一うまい羊肉、チグリス川の鯉の塩焼き、ソマリアのパパイヤ、カラシニコフ氏の冷凍ピロシキ。戦場、紛争地帯など、世界中を駆け巡ったジャーナリストが口にした食の数々から、国家とは何かを考える。究極の文明論。

2019:7./ 236p
978-4-10-610823-5

本体 ¥780+税



読売新聞 2019/09/22



ふしぎな鉄道路線～「戦争」と「地形」で解きほぐす～(NHK 出版新書 592)

竹内 正浩 著

NHK出版

日清戦争と山陽本線の難所「瀬野八」、新京成線のカーブと鉄道聯隊…。普段何気なく利用している全国の鉄道路線がなぜ、どのように敷かれたのかを、日本近代史に精通する著者が史料と地図を駆使しながら徹底的に深掘りする。

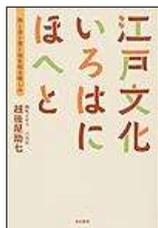
2019:7./ 302p

978-4-14-088592-5

本体 ¥950+税



読売新聞 2019/09/22



江戸文化いろいろはにほへと～粋と芸と食と俗を知る愉しみ～

越後屋 助七 著

亜紀書房

老舗「駒形どぜう」が 30 年余にわたって開催してきた講演サロン「江戸文化道場」。その中から選りすぐりの江戸噺をまとめた江戸文化の入門書。江戸時代から商売を続ける日本橋、神田、銀座、赤坂などの名店も紹介する。

2019:7./ 223p

978-4-7505-1602-8

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2019/09/22



国境を越えたスクラム～ラグビー日本代表になった外国人選手たち～

山川 徹 著

中央公論新社

リーチマイケル、ホラニ龍コリアシ、アンドリュー・マコーミック…。なぜ彼らは桜のジャージを選んだのか。ラグビー日本代表となった海外出身選手たちを訪ね、その思いと足跡を追う。

2019:8./ 284p

978-4-12-005222-4

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2019/09/22



美学校 1969-2019～自由と実験のアカデミア～

美学校 編

晶文社

美学校という実験場には、いまも過去・現在の講師陣と出身者が寄り集まり、未来の才能たちとぶつかり合う。美術・音楽・メディア表現の要所として蠢き続ける美の解放区の 50 年を収めたクロニクル。会田誠らのエッセイも掲載。

2019:8./ 322p

978-4-7949-7096-1

本体 ¥2,700+税



読売新聞 2019/09/22



土に贖う

河崎 秋子 著

集英社

全く無くなるわけではない。形を変えて、また生きられる。養蚕、ミンクの養殖、ハッカ栽培など、北海道で一度は栄えるも衰退した産業に携わる人間たちを峻烈に描いた短編集。『小説すばる』掲載を加筆・修正し単行本化。

2019:9./ 253p

978-4-08-771200-1

本体 ¥1,650+税



読売新聞 2019/09/22



8050 問題の深層～「限界家族」をどう救うか～(NHK 出版新書 596)

川北 稔 著

NHK出版

長期・高齢ひきこもり「8050 問題」について、全国規模の調査や支援現場のフィールドワークをもとに、問題の本質を解明。同時に、「親子共倒れ」から脱する具体的方策も提言する。

2019:8./ 207p

978-4-14-088596-3

本体 ¥800+税



読売新聞 2019/09/22



空を飛んだペンギンは次にどこへ向かうのか～サンシャイン水族館を復活させた現場改革～

小坂 義生、サンシャイン水族館 著

日経BP社

来館者数が低迷していたサンシャイン水族館は、なぜ V 字回復できたのか。次の目標を何に見据え、どこへ向かおうとしているのか。現場スタッフのインタビューを基に解き明かす。

2019:8./ 209p

978-4-296-10260-0

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2019/09/22



動乱!江戸城(実業之日本社文庫 ん 2-9)

浅田 次郎、火坂 雅志、末國 善己 編

浅田 次郎、火坂 雅志 著

実業之日本社

泰平の世といわれた江戸 250 年。だが、江戸城内外では大火事、暗殺など天下を揺るがす事件が起きていた。宿命を背負って困難と立ち向かった人々の生きざまを、浅田次郎、松本清張ら豪華作家陣が描く傑作歴史・時代小説集。

2019:8./ 330p

978-4-408-55500-3

本体 ¥741+税



読売新聞 2019/09/22



オイディプスの刃(河出文庫 あ 32-1)

赤江 瀑 著

河出書房新社

稀代の妖刀「青江次吉」が招いた驚愕の惨劇。大迫家の次男・駿介が憧憬を抱く刀研師の死を皮切りに、父も母も自死を遂げた。事件により離散することになった駿介たち三兄弟。13 年後、「次吉」は再び駿介の前へ現れ...

2019:9./ 327p

978-4-309-41709-7

本体 ¥980+税



読売新聞 2019/09/22



地図帳の深読み

今尾 恵介 著

帝国書院

学校地図帳を発刊し続けている帝国書院と、地図研究家の今尾恵介による地図雑学本。海面下の土地、中央分水界、飛び地、地名や国名、経緯度・主題図・統計など、「地図帳」の楽しい「読み方」を紹介する。

2019:8./ 173p

978-4-8071-6469-1

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2019/09/22、朝日新聞 2019/09/28



某

川上 弘美 著

幻冬舎

名前も記憶もお金も持たない某は、丹羽ハルカ(16 歳)に擬態することに決めた。変遷し続ける<誰でもない者>はついに仲間に出会う。愛と未来をめぐる長編。『小説幻冬』連載に加筆・修正。

2019:9./ 368p

978-4-344-03504-1

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2019/09/24



自己・あいだ・時間～現象学的精神病理学～(ちくま学芸文庫)

木村 敏 著

筑摩書房

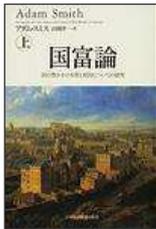
読売新聞 2019/09/29

2006:5./ 472p

978-4-480-08969-4

本体 ¥1,500+税





国富論～国の豊かさの本質と原因についての研究～<上>

アダム・スミス 著

日本経済新聞出版社

市場とは、労働とは、豊かさとは。経済と社会のしくみ、本質を、わかりやすい例と平易な言葉で解き明かした政治経済学の金字塔。アダム・スミスの名著が画期的新訳で甦る。

読売新聞 2019/09/29

2007:3./ 12p,432p

978-4-532-13326-9

本体 ¥3,600+税



国富論～国の豊かさの本質と原因についての研究～<下>

アダム・スミス 著

日本経済新聞出版社

グローバル化に潜む問題を見抜いていた洞察力により国の役割の本質に迫り、現代社会が抱える課題を読み解く「知の遺産」。アダム・スミスの名著が画期的新訳で甦る。

読売新聞 2019/09/29

2007:3./ 594p

978-4-532-13327-6

本体 ¥4,000+税



<意識>とは何だろうか～脳の来歴、知覚の錯誤～(講談社現代新書)

下条 信輔 著

講談社

読売新聞 2019/09/29

1999:2./ 262p

978-4-06-149439-8

本体 ¥800+税



旅人の夜の歌～ゲーテとワイマル～

小塩 節 著

岩波書店

26歳の若さでワイマル公国の宮廷に招かれたゲーテ。小国とはいえ、一国の政治を担うことになった文学者は、そこで何をなしたのか。2篇の詩「旅人の夜の歌」を手がかりに、ドイツ文化の深層を歴史的背景とともに描きだす。

読売新聞 2019/09/29

2012:11./ 15p,265p

978-4-00-025867-8

本体 ¥2,700+税



新仏教論

森 政弘 著

佼成出版社

「一つ」という観点から仏法のいろいろな法門に触れ、いかに仏教ならびに仏法において「一つ」が大切にされているかを示す。さらに、現代社会が抱える未曾有の諸難問から社会を救うべく、「自在学」の基本の概要を披瀝する。

読売新聞 2019/09/29

2013:8./ 259p

978-4-333-02617-3

本体 ¥1,800+税



日本語「標準形(スタンダード)」の歴史～日本語の焦点～(講談社選書メチエ704)

野村 剛史 著

講談社

日本語には標準語があったと考え、明治以降のアナウンサー等がしゃべる「標準語」と区別して「スタンダード」と称する。東京語が標準語になったのではなく、「スタンダード」が東京語をつくったことを明らかにする。

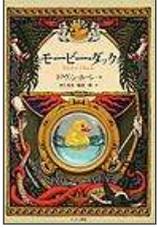
読売新聞 2019/09/29

2019:6./ 269p

978-4-06-516385-6

本体 ¥1,850+税





モービー・ダック

ドノヴァン・ホーン、村上 光彦、横濱 一樹 著
こぶし書房

貨物船からこぼれ落ちた大量のアヒルのおもちゃたち。青年教師は海流を辿り、アヒルたちを追跡し…。「白鯨」を下敷きに、漂流プラスチック問題などを織り交ぜ、アラスカから中国沿岸にいたる航海を描く、海洋冒険巨編。

読売新聞 2019/09/29

2019:6./ 654p

978-4-87559-351-5

本体 ¥2,800+税



Panda Love～知られざるパンダの世界～

エイミー・ビターリ、市前 奈美 著
産業編集センター

中国・四川省。絶滅の危機にあるジャイアント・パンダを守る飼育員たちと、その交流をとらえたフォト・ドキュメント。『ナショナル・ジオグラフィック』誌の写真家による、3年間の密着の記録。

読売新聞 2019/09/29

2019:7./ 157p

978-4-86311-232-2

本体 ¥2,500+税



千一夜物語～ガラン版～<1>

西尾 哲夫 著
岩波書店

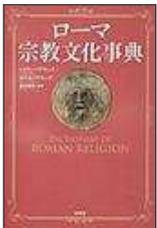
アントワーヌ・ガラン翻訳による「千一夜 アラブの物語」全 12 巻を日本語訳。1 は、「黒き島々を治める若き王の話」「アミーナの話」など、「杵物語」から「王子である三人の遊行僧とバグダードの五人の娘の話」までを収録。

読売新聞 2019/09/29

2019:7./ 7p,299p

978-4-00-028773-9

本体 ¥3,500+税



ローマ宗教文化事典

レスリー・アドキンズ、ロイ・A.アドキンズ、前田 耕作 著
原書房

古代ローマの宗教の本源に光をあてた事典。ローマ人と神々とのつながりの全貌を解き明かすに不可欠な神名・敬称・添え名・神殿・聖域・祝祭・祭事・神官・祭司・雑司を集成。ローマ帝国皇帝年表なども収録。

読売新聞 2019/09/29

2019:9./ 15p,357p

978-4-562-05604-0

本体 ¥12,000+税



ナポレオン<1> 台頭篇

佐藤 賢一 著
集英社

一代でフランス皇帝に上り詰めたナポレオンの一生を描く。1 は、幼少期からイタリア方面軍司令官として数々の戦争に歴史的勝利を収めるまでの躍進期を描く。集英社 WEB 文芸『RENZABURO』掲載を書籍化。

読売新聞 2019/09/29

2019:8./ 525p

978-4-08-771197-4

本体 ¥2,200+税



格闘

高樹 のぶ子 著
新潮社

駆出しの作家だった頃の私が取り組み、完成できなかったノンフィクション。それは、ある忘れられた柔道家の型破りな半生を追ったものだった。だが、取材を進める毎にその実像はぼやけていき…。『新潮』掲載を単行本化。

読売新聞 2019/09/29

2019:7./ 362p

978-4-10-351610-1

本体 ¥1,800+税





神の書～イスラーム神秘主義と自分探しの旅～(東洋文庫 896)

アッタール、佐々木 あや乃 著
平凡社

ペルシア神秘主義文学を代表するアッタールの傑作。官能、名声、富、権力、超絶知などへの欲望を斥け、真理に至る神秘主義の道程へと導く、乞食から王侯まで多彩な人々の多様な物語を収録する。

2019:8./ 549p
978-4-582-80896-4

本体 ¥3,800+税



読売新聞 2019/09/29



戦国十二刻 終わりのとき(光文社文庫 光文社時代小説文庫 き 25-1)

木下 昌輝 著
光文社

その死まで、残り 24 時間-。豊臣秀頼、今川義元、山本勘助、徳川家康ら戦国の乱世に生きた男たちの死に至るまでの一日を、濃密に描く全 6 編を収録する。斬新な歴史解釈と鮮やかなどんでん返しに彩られた作品集。

2019:7./ 270p
978-4-334-77884-2

本体 ¥600+税



読売新聞 2019/09/29



百年の快樂(小学館文庫 く 16-1)

工藤 美代子 著
小学館

人生百年時代をどうやって幸せに生きるのか。出逢いと結婚のドラマ、美容整形の最前線、セックスへの葛藤、介護や遺産相続…。後半生を迎えた女性の赤裸々な告白にとことん向き合い、鋭く現実を抉り出す。

2019:8./ 284p
978-4-09-406679-1

本体 ¥750+税



読売新聞 2019/09/29



孤絶～家族内事件～

読売新聞社会部 著
中央公論新社

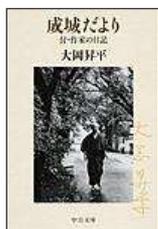
介護殺人、ひきこもり、児童虐待…。周囲から孤立した家族の中で起きた悲劇。事件の背景には、限界まで追い込まれた当事者の苦悩があった-。誰もが直面するかもしれない事件を総力取材した『読売新聞』連載をもとに単行本化。

2019:8./ 237p
978-4-12-005223-1

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2019/09/29



成城だより(中公文庫 お 2-18)

大岡 昇平 著
中央公論新社

成城に暮らして 10 年余。70 代に入ってなお作家の好奇心は衰えることがない。文学、漫画、映画、世相、文壇事情…。大岡昇平が批評と所感を闊達に綴る。1979 年 11 月?80 年 10 月の日記を収録。大磯時代の日録も併録。

2019:8./ 375p
978-4-12-206765-3

本体 ¥1,100+税



読売新聞 2019/09/29



英国名門校の流儀～一流の人材をどう育てるか～(新潮新書 827)

松原 直美 著
新潮社

歴代首相からノーベル賞受賞者、名俳優まで輩出する英国パブリック・スクール。その名門ハーロウ校で日本語教師となった著者が目の当たりにした最高の教育現場における、社会に資するリーダーの育て方を紹介する。

2019:8./ 219p
978-4-10-610827-3

本体 ¥760+税



読売新聞 2019/09/29



ナポレオン<2> 野望篇

佐藤 賢一 著
集英社

一代でフランス皇帝に上り詰めたナポレオンの一生を描く。2 は、若き常勝将軍から初代フランス皇帝の座へと駆け上がるまでを描く。集英社 WEB 文芸『RENZABURO』掲載を書籍化。

読売新聞 2019/09/29

2019:9./ 517p

978-4-08-771198-1

本体 ¥2,200+税



南方の志士と日本人～インドネシア独立の夢と昭和のナショナリズム～(筑摩選書 0179)

林 英一 著
筑摩書房

「インドネシア人」初の日本留学生、ウスマンとガウス。ナショナリズムが台頭する中、大アジア主義を学び、インドネシア独立をひたむきに目指した彼らの波乱に満ちた人生を、フィールドワークと膨大な文献から描き出す。

読売新聞 2019/09/29

2019:9./ 220p

978-4-480-01686-7

本体 ¥1,500+税



ホモ・デジタルの時代～AI と戦うための(革命の)哲学～

ダニエル・コーエン、林 昌宏 著
白水社

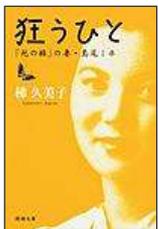
1968 年 5 月の学生運動を起点にして、現在までの思潮と今後の展望を、経済学、社会学、哲学、科学技術、心理学などから学際的に総括。新たな人文知のために、デジタル社会における「経済成長」の真実に迫る。

読売新聞 2019/09/29

2019:9./ 222p,17p

978-4-560-09721-2

本体 ¥2,200+税



狂うひと～「死の棘」の妻・島尾ミホ～(新潮文庫 か-50-2)

梯 久美子 著
新潮社

島尾敏雄の私小説「死の棘」の愛人の正体は？ 本当に狂っていたのは妻か夫か？ 島尾夫妻それぞれの日記や手紙など膨大な資料によって、妻・ミホの生涯を辿り、戦後文学史に残る伝説的夫婦の真実に迫る。

読売新聞 2019/09/29

2019:9./ 905p

978-4-10-135282-4

本体 ¥1,100+税



ヤットコ スットコ女旅

室井 滋 著
小学館

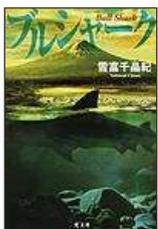
車中や機内で出会ったり見かけたりする人々や我が身に起こる出来事は、まるで人生の縮図！ 女優・室井滋が旅でのハプニングの数々をあますところなくユーモラスに綴る。『女性セブン』『夕刊フジ』連載を加筆修正し単行本化。

読売新聞 2019/09/29

2019:9./ 255p

978-4-09-396545-3

本体 ¥1,200+税



ブルシャーク

雪富 千晶紀 著
光文社

不二宮市職員の矢代は、来常湖トライアスロン大会に向けて奔走していた。そんななか水質の異常に気づいた同期の関が、来常湖に検体を取りにいくと言い残して失踪する。関を捜す矢代は、湖にサメが迷い込んでいると聞き…。

読売新聞 2019/09/29

2019:8./ 317p

978-4-334-91298-7

本体 ¥1,600+税





ナポレオン<3> 転落篇

佐藤 賢一 著
集英社

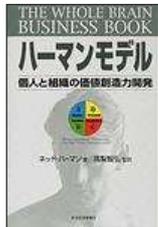
ヨーロッパの大半を支配したナポレオンだが、ロシア遠征に失敗し対仏同盟軍に追い詰められる。稀代の英雄を描く歴史巨編、完結!

読売新聞 2019/09/29

2019:10./ 520p

978-4-08-771199-8

本体 ¥2,200+税



ハーマンモデル～個人と組織の価値創造力開発～

ネッド・ハーマン 著
東洋経済新報社

大脳生理学の研究成果をもとに、元 GE 研修所長が開発した、個人およびチームの能力開発と適正配置、人事政策・組織変革のための創造性開発プログラムを紹介。創造性は科学的に開発できる!

日本経済新聞 2019/09/07

2000:10./ 376p

978-4-492-53102-0

本体 ¥2,800+税



白痴 改版(新潮文庫)

坂口 安吾 著
新潮社

日本経済新聞 2019/09/07

1996:6./ 253p

978-4-10-102401-1

本体 ¥520+税



2100年の科学ライフ

ミチオ・カク 著
NHK出版

現在から 2100 年までの各段階で、現在のテクノロジーはどのように発展し、日常生活はいかなる形になるのか。バーチャル・ドクター、核融合発電…。世界屈指の科学者 300 人以上の取材をもとに、人類の「未来」を描きだす。

日本経済新聞 2019/09/07

2012:9./ 471p,7p

978-4-14-081572-4

本体 ¥2,600+税



ブルー・オーシャン戦略～競争のない世界を創造する～ 新版(Harvard Business Review Press)

W.チャン・キム、レネ・モボルニュ、入山 章栄、有賀 裕子 著
ダイヤモンド社

血みどろの競争が展開するレッド・オーシャンに別れを告げ、競争がなく新規需要に満ちた、高成長と高収益に?がる市場、すなわち「ブルー・オーシャン」をいかに創造するのか。実践への道筋をより具体的に示した新版。

日本経済新聞 2019/09/07

2015:9./ 371p

978-4-478-06513-6

本体 ¥2,000+税



プラータナー～憑依のポートレート～

ウティット・ヘー・マムーン、福富 渉 著
河出書房新社

絡み合う政治とエロス。ある芸術家の性愛遍歴を通して語られる、人間と国家の「からだ」の欲望とは。生きることそのものの動乱と官能を描く、タイ現代文学気鋭の小説家の初邦訳。

日本経済新聞 2019/09/07

2019:6./ 292p

978-4-309-20768-1

本体 ¥2,800+税





ゴルバチョフ～その人生と時代～<上>

ウィリアム・トーブマン、松島 芳彦 著

白水社

冷戦終結 30 年にして解明される、ゴルバチョフという「謎」。ソ連改革から解体へと導いて「世界を変えた男」を、人間味豊かに描く。写真も多数収録。用語解説、人名索引、略語一覧付き。

日本経済新聞 2019/09/07

2019:5./ 360p,58p

978-4-560-09696-3

本体 ¥4,700+税



ゴルバチョフ～その人生と時代～<下>

ウィリアム・トーブマン、松島 芳彦 著

白水社

冷戦終結 30 年にして解明される、ゴルバチョフという「謎」。クーデターから失脚後まで、「世界を変えた男」を、人間味豊かに描く。写真も多数収録。用語解説、人名索引、略語一覧付き。

日本経済新聞 2019/09/07

2019:6./ 388p,86p

978-4-560-09697-0

本体 ¥4,800+税



インバウンド・ビジネス戦略

池上 重輔、早稲田インバウンド・ビジネス戦略研究会 著

日本経済新聞出版社

世界を顧客に高収益産業を育てる、発想の“イノベーション”とは？ 新たなインバウンド・ビジネスを考察・実行するための考え方や基本的な知識を解説し、エリア&テーマ事例を紹介。ツーリズムリーダーの育成にも言及する。

日本経済新聞 2019/09/07

2019:6./ 440p

978-4-532-32283-0

本体 ¥2,000+税



演出家鈴木忠志～その思想と作品～

渡辺 保 著

岩波書店

古今東西の古典劇を大胆に再構成した独創的演出によって世界的に高い評価を得ている演出家・鈴木忠志。「トロイアの女」「リア王」等、主要な鈴木作品を丹念に読み解き、その思想と演出の本質を明らかにする。

日本経済新聞 2019/09/07

2019:7./ 7p,209p,4p

978-4-00-001086-3

本体 ¥2,300+税



「差別はいけない」とみんないうけれど。

綿野 恵太 著

平凡社

セクハラや差別が跡を絶たないのは、「差別はいけない」と叫ぶだけでは解決できない問題があるからだ。反発・反感を手がかりにして、差別が生じる政治的・経済的・社会的な背景に迫る。

日本経済新聞 2019/09/07

2019:7./ 316p

978-4-582-82489-6

本体 ¥2,200+税



不穏なフロンティアの大戦略～辺境をめぐる攻防と地政学的考察～

ヤクブ・グリギエル、A.ウェス・ミッチェル、奥山 真司、川村 幸城 著

中央公論新社

アメリカの研究者らが、辺境における中国、ロシア、イランの「探り(プロービング)」を阻止できないアメリカ同盟システムの弱体化を指摘。地政学の観点から、日本をはじめとするフロンティア地域の同盟国との連携強化を提言。

日本経済新聞 2019/09/07

2019:7./ 289p

978-4-12-005214-9

本体 ¥2,900+税





溪流釣り礼讃(中公文庫 ね 2-10)

根深 誠 著
中央公論新社

定年後は、山奥の溪流に行こう! 気の合う仲間たちと溪流に身を置き、魚影を追う。川のせせらぎに耳を傾け、焚火を囲み、酒を味わう。登山家として活躍した著者の、滋味溢れる釣り紀行。『陸奥新報』等掲載をもとに文庫化。

日本経済新聞 2019/09/07

2019:7./ 314p

978-4-12-206760-8

本体 ¥840+税



ヘミングウェイで学ぶ英文法

倉林 秀男、河田 英介 著
アスク出版

平易な語彙で書かれたヘミングウェイの短編を通じて、文法に関する知識を深めながら、「作品を読み通す喜び」を味わえる英語学習書。英文、和訳、文法・作品解説等を収録。朗読音声ダウンロードできるシリアルコード付き。

日本経済新聞 2019/09/07

2019:5./ 310p

978-4-86639-280-6

本体 ¥1,900+税



貧困専業主婦(新潮選書)

周 燕飛 著
新潮社

月 100 円の PTA 会費も渋る…。勝ち組の象徴とされていた専業主婦の 8 人に 1 人が貧困に直面している。なぜ彼女らは、自ら働かない道を選択をしているのか? 克明な調査をもとに研究者が分析した衝撃のレポート。

日本経済新聞 2019/09/07

2019:7./ 202p

978-4-10-603844-0

本体 ¥1,200+税



ザ・ワン・デバイス〜iPhone という奇跡の“生態系”はいかに誕生したか〜

ブライアン・マーチャント、倉田 幸信 著
ダイヤモンド社

多数の「発明の集合体」は、どのように実現したのか? リチウム採掘場からブラックマーケットまで世界中を駆け巡り、アップル社の秘密主義のベールに包まれた開発過程を分析。世界中を熱狂させた iPhone の秘密に迫る。

日本経済新聞 2019/09/07

2019:7./ 425p

978-4-478-10439-2

本体 ¥2,000+税



戦国の教科書

天野 純希、今村 翔吾、木下 昌輝、澤田 瞳子、武川 佑、矢野 隆、末國 善己 著
講談社

あの極悪武将は、実は「いい奴」だった? 歴史時代小説界を代表する 6 人の作家が、戦国時代を知るうえで重要な 6 つのテーマを軸に綴った短編集。さらに理解が深まる解説とブックガイドも収録。

日本経済新聞 2019/09/07

2019:7./ 283p

978-4-06-516490-7

本体 ¥1,500+税



宇宙はなぜ哲学の問題になるのか(ちくまプリマー新書 332)

伊藤 邦武 著
筑摩書房

人間にとって宇宙とは何だろう? 宇宙に果てはあるのか? 「宇宙の中の人間の位置」というテーマに沿って、古代・近代・現代の哲学の中心的な課題を考えるとともに、大哲学者たちの思想的なプロフィールを解説する。

日本経済新聞 2019/09/07

2019:8./ 237p

978-4-480-68356-4

本体 ¥860+税





方言の地図帳(講談社学術文庫 2577)

佐藤 亮一 編
講談社

「あさっての次の日」は「やのあさって」? 「しあさって」? 自然・生活・感情・動植物など 178 語について、全国 2400 箇所の大規模調査をもとにして作られた言語地図を、明快な解説とともに掲載する。

日本経済新聞 2019/09/07

2019:8./ 459p
978-4-06-516679-6

本体 ¥1,490+税



これからの都市ソフト戦略

藤後 幸生 著
KADOKAWA

お仕着せの都市計画から脱却するには。寂れた街に人と活気が戻る、400 メートルですべてがそろそろ、暮らしやすく魅力的な街のつくり方を、成功事例や豊富な資料とともに多角的に解説する。

日本経済新聞 2019/09/07

2019:7./ 301p
978-4-04-108148-8

本体 ¥1,600+税



明るい不登校～創造性は「学校」外でひらく～(NHK 出版新書 593)

奥地 圭子 著
NHK出版

不登校に悩む親子の駆け込み寺「東京シューレ」の設立者が、不登校の現状と制度の大転換を的確に描く。不登校経験者たちが自分らしさを生かして社会で活躍する様子と、それを可能にした東京シューレの実践もレポートする。

日本経済新聞 2019/09/07

2019:8./ 222p
978-4-14-088593-2

本体 ¥800+税



スポーツビジネスイノベーション～東京大学大学院特別講義～

間野 義之 著
日経BP社

「稼げるスポーツ」を目指して、いま何をすべきか。岡村信悟、花田光司、為末大、川淵三郎など各分野の第一人者が語ったリアルな提言を全収録。東京大学大学院での講義録をもとに単行本化。

日本経済新聞 2019/09/07

2019:7./ 210p
978-4-8222-8974-4

本体 ¥2,200+税



カザアナ

森 絵都 著
朝日新聞出版

国の規制が強まり監視ドローンが飛び交う空のもと、タフに生きる中学生の里宇とその家族。一家は、不思議な力を持つ“カザアナ”と出会い、人々を笑顔にするささやかな奇跡を起こしていく。『小説トリッパー』連載を単行本化。

日本経済新聞 2019/09/07、東京・中日新聞 2019/09/08、毎日新聞 2019/09/08

2019:7./ 378p
978-4-02-251614-5

本体 ¥1,700+税



非色(角川文庫クラシックス)

有吉 佐和子 著
角川書店

日本経済新聞 2019/09/14

1997:5./ 415p
978-4-04-126202-3

本体 ¥620+税





病院で死ぬということ

山崎 章郎 著

主婦の友社

末期ガン患者とその家族、それに携わる医師が綴る「人間らしく死んでいく」には今の病院では…。

1990:10./ 223p

978-4-07-936836-0

本体 ¥1,262+税



日本経済新聞 2019/09/14



看取り先生の遺言～がんで安らかな最期を迎えるために～

奥野 修司 著

文藝春秋

治らないがん患者のために在宅緩和ケアを立ち上げた肺がん専門医・岡部健が説いた、自宅で迎える平穏な死。カール・ベッカー教授との対談も収録。『文藝春秋』掲載に大幅に加筆して単行本化。

2013:1./ 303p

978-4-16-376010-0

本体 ¥1,400+税



日本経済新聞 2019/09/14



「お迎え」されて人は逝く～終末期医療と看取りのいま～(ポプラ新書 066)

奥野 滋子 著

ポプラ社

幻覚・せん妄として治療対象であった「お迎え」現象が、死生に向き合う貴重な過程として医療現場で注目されている。緩和ケア医として 2500 人を看取った医師が終末期医療のあり方、死との向き合い方を問いかける。

2015:8./ 196p

978-4-591-14630-9

本体 ¥780+税



日本経済新聞 2019/09/14



「在宅ホスピス」という仕組み(新潮選書)

山崎 章郎 著

新潮社

自宅で最期を迎えることが当たり前になる時、本人と家族は前もって何を知っておくべきか。ホスピスケアの第一人者である医師が、慣れ親しんだ場所で尊厳ある死を迎えるための考え方や取り組みを紹介する。

2018:3./ 253p

978-4-10-603824-2

本体 ¥1,300+税



日本経済新聞 2019/09/14



戦中・戦後の暮らしの記録～君と、これから生まれてくる君へ～

暮らしの手帖社

1969 年刊「戦争中の暮らしの記録」から 50 年。ふたたび『暮らしの手帖』は、戦争体験の手記を募った。戦時中の記録に加え、戦後の混乱期のできごと、体験者からの「聞き書き」など、157 点を収録する。

2018:7./ 309p

978-4-7660-0209-6

本体 ¥2,500+税



日本経済新聞 2019/09/14



がんを抱えて、自分らしく生きたい～がんと共に生きた人が緩和ケア医に伝えた10の言葉～

西 智弘 著

PHPエディターズ・グループ

がんという病を抱えて、どう生きていくのか。何が生きる力を高め、逆に奪っていくのか。がんと共に生きた 10 人が、緩和ケア医に語った言葉と、その背景にある物語を伝える。

2019:5./ 269p

978-4-569-84307-0

本体 ¥1,400+税



日本経済新聞 2019/09/14



戦争が立っていた～戦中・戦後の暮らしの記録 拾遺集戦中編～

暮らしの手帖社

ひとつひとつの投稿が教えてくれる、戦時下の「出来事」。「戦中・戦後の暮らしの記録」で惜しくも選外となった投稿と、「貴重資料」として暮らしの手帖社に眠る1967年募集の秘蔵原稿を収録。

日本経済新聞 2019/09/14

2019:5./ 234p

978-4-7660-0213-3

本体 ¥1,700+税



よい移民～現代イギリスを生きる 21 人の物語～

ニケシュ・シュクラ 編

栢木 清吾 著

創元社

21世紀のイギリス社会で「有色の人間」であるとはどういうことなのか。イギリスで生まれた移民 2世・3世の著名なクリエイター21人が、自己存在の意味や葛藤、社会の偏見などを繊細かつ巧みに表現する。

日本経済新聞 2019/09/14

2019:7./ 326p

978-4-422-36011-9

本体 ¥2,400+税



核武装と知識人～内閣調査室でつくられた非核政策～

岸 俊光 著

勁草書房

非核三原則はどのようにしてできあがったのか。内閣調査室はどのように生まれ、なぜ知識人との人脈を形成するにいたったのか。内閣調幹部の証言やジャーナリストの個人蔵資料などを駆使して、非核政策の「謎」に光を当てる。

日本経済新聞 2019/09/14

2019:7./ 6p,399p,13p

978-4-326-35178-7

本体 ¥3,600+税



アレクサ vs シリ～ボイスコンピューティングの未来～

ジェイムズ・ブラホス、野中 香方子 著

日経BP社

IoTの鍵を握るテクノロジー「しゃべるAI」の覇者は誰か? ITの巨人たちが繰り広げる音声AIのプラットフォーム戦争、個人情報への漏洩・悪用…。技術ジャーナリストが、ボイスコンピューティングの未来を解き明かす。

日本経済新聞 2019/09/14

2019:6./ 442p

978-4-8222-8975-1

本体 ¥1,800+税



虐待死～なぜ起きるのか、どう防ぐか～(岩波新書 新赤版 1784)

川崎 二三彦 著

岩波書店

2000年に児童虐待防止法が施行されたが、虐待死は後を絶たない。児童相談所で虐待問題に取り組んできた著者が、発生要因を考察。変容する家族や社会のありように着目し、問題の克服に向けて具体的に提言する。

日本経済新聞 2019/09/14

2019:7./ 6p,207p,7p

978-4-00-431784-5

本体 ¥780+税



令和の新常識～平成・昭和の旧常識をアップデート～(PHP文庫 に36-1)

日本の新常識研究会 著

PHP研究所

江戸時代、士農工商という身分制度はなかった。太陽系の惑星は1つ減って8つ。春菊はサラダがベスト…。近年変化した常識について、歴史や法律、社会、科学、健康、美容など幅広い分野にわたって紹介する。

日本経済新聞 2019/09/14

2019:8./ 317p

978-4-569-76949-3

本体 ¥800+税





君が異端だった頃

島田 雅彦 著
集英社

3月生まれの幼年期から、めくるめく修業時代を経て、鮮烈なデビューへ。文豪たちとの愛憎劇と、妻がある身の最低男の、華麗なる遍歴と、不埒な煩悶と。島田雅彦による自伝的青春私小説。『すばる』掲載を単行本化。

日本経済新聞 2019/09/14

2019:8./ 298p
978-4-08-771190-5

本体 ¥1,850+税



なんにもなかった〜戦中・戦後の暮しの記録 拾遺集戦後編〜

暮しの手帖社

1945年8月15日「玉音放送」の前後に、何があったか? 何を思ったか? あの日に生きた人々が、その体験を綴る。「戦中・戦後の暮しの記録」で選外となった投稿から全49編を収録する。

日本経済新聞 2019/09/14

2019:7./ 238p
978-4-7660-0214-0

本体 ¥1,700+税



ネッシーはいることにする

長 蘭 安浩 著
ゴブリン書房

野球部の地区予選敗退。<無頼の詩人>の三回忌。幼なじみの思いがけない告白…。いつものように生きているこの時にも、自分の知らない世界は確実に動いているという事実に胸がざわつき、僕の中学最後の夏休みがはじまった…。

日本経済新聞 2019/09/14

2019:7./ 277p
978-4-902257-38-0

本体 ¥1,500+税



ジョージが射殺した猪〜傑作短編小説集〜

又吉 栄喜 著
燦葉出版社

沖縄で生まれ、沖縄を心底愛し、沖縄を書き続ける芥川賞作家・又吉栄喜の短編小説集。ベトナム戦争を背景に人間の本性に迫る表題作をはじめ、処女作「海は蒼く」、琉球王国の悲劇を描いた「尚郭威」など全7編を収録する。

日本経済新聞 2019/09/14

2019:6./ 301p
978-4-87925-136-7

本体 ¥2,500+税



NOVA<2019年秋号>(河出文庫 お20-14)

大森 望、アマサワ トキオ 著
河出書房新社

SFを中心に書き下ろしの新作短編を集めたオリジナル・アンソロジー。2019年秋号は、谷山浩子「夢見」、高野史緒「浜辺の歌」、高山羽根子「あざらしが丘」、田中啓文「宇宙サメ戦争」など、全9編を収録。

日本経済新聞 2019/09/14

2019:8./ 414p
978-4-309-41705-9

本体 ¥920+税



文化がヒトを進化させた〜人類の繁栄と<文化-遺伝子革命>〜

ジョセフ・ヘンリック、今西 康子 著
白揚社

なぜヒトは独自の進化の道を歩むことができたのか、それはいったいどの時点からなのか。“ヒトの遺伝的進化の最大の駆動力となってきたのは文化である”という考えのもと、人類の誕生の秘密に迫る。

日本経済新聞 2019/09/14

2019:7./ 605p
978-4-8269-0211-3

本体 ¥3,600+税





チョンキンマンションのボスは知っている～アングラ経済の人類学～

小川 さやか 著
春秋社

一攫千金を夢見て香港に集まるタンザニア人。彼らのセーフティネット、信用システム、シェア経済とは？既存の制度に期待しない人々の生き様と経済のしくみを読み解く。『ウェブ春秋はるとあき』連載をもとに単行本化。

2019:7./ 273p
978-4-393-33371-6

本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2019/09/14、読売新聞 2019/09/15



織田信忠～天下人の嫡男～(中公新書 2555)

和田 裕弘 著
中央公論新社

父・信長から才覚を認められ、19歳の若さで織田家家督を継いだ信忠。信濃・甲斐に攻め入り、宿敵武田氏を滅ぼすなど実績を積み重ね、将来を囑望されながらも、本能寺の変に散った26年の生涯をたどる。

2019:8./ 4p,250p
978-4-12-102555-5

本体 ¥860+税



日本経済新聞 2019/09/14、読売新聞 2019/09/22



幸福な監視国家・中国(NHK出版新書 595)

梶谷 懐、高口 康太 著
NHK出版

習近平体制下で、政府・大企業が全人民の個人情報・行動記録を手中に収めているが、その監視社会に中国人のほとんどが不満を抱いていない。それはなぜか。気鋭の経済学者とジャーナリストが中国のいまを多角的に掘り下げる。

2019:8./ 254p
978-4-14-088595-6

本体 ¥850+税



日本経済新聞 2019/09/14、読売新聞 2019/09/29、毎日新聞 2019/09/29



ものがたりで学ぶ経済学入門

根井 雅弘 著
中央経済社

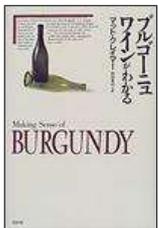
経済学者と出会った高校3年生の経太。歴史や政経の教科書を読み返したり、夢で経済学の巨人と会話したりするうちに、偉大な経済学者と夢の中で対話するまでになり…。小説形式で描いた経済学の入門書。

2019:8./ 253p
978-4-502-31791-0

本体 ¥2,300+税



日本経済新聞 2019/09/14、毎日新聞 2019/09/15



ブルゴーニュワインがわかる

マット・クレイマー 著
白水社

精密なワイン評論で知られる著者が、名だたる産地であるフランス・ブルゴーニュ地方を舞台に、その本領を豊かに発揮。ぶどう畑と作り手の個性に焦点をあて、「テロワール」という言葉にこの地のワインの本質を見出していく。

2000:3./ 332p,18p
978-4-560-03993-9

本体 ¥3,800+税



日本経済新聞 2019/09/21



過ぎ去りし日々の光<上>(ハヤカワ文庫 SF)

アーサー・C.クラーク、スティーヴン・バクスター 著
早川書房

日本経済新聞 2019/09/21

2000:12./ 343p
978-4-15-011338-4

本体 ¥660+税



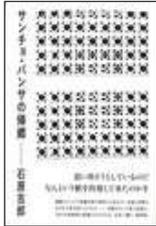


心の社会

マーヴィン・L. ミンスキー 著
産業図書
日本経済新聞 2019/09/21

1990:7./ 574p
978-4-7828-0054-6

本体 ¥4,300+税



サンチョ・パンサの帰郷～石原吉郎詩集～(思潮ライブラリー)

石原 吉郎 著
思潮社

しずかな肩には 声だけがならぶのでない 声よりも近く 敵がならぶのだ(「位置」より) 失語と沈黙のはざままで書き記しえたもの-。名篇ぞろいの石原吉郎の第1詩集を、1963年初版時の体裁で復刻。

2016:3./ 144p

978-4-7837-3515-1

本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2019/09/21



?景芳短篇集(エクス・リブリス)

? 景芳 著

白水社

注目の中国 SF 作家による短篇小説集。ヒューゴー賞受賞「北京 折りたたみの都市」ほか、社会格差や高齢化、エネルギー資源、医療問題、都市生活者のストレスなど、中国社会を映し出す全7篇を収録。

2019:3./ 256p

978-4-560-09057-2

本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2019/09/21



中国金融の実力と日本の戦略(PHP新書 1198)

柴田 聡 著

PHP研究所

急成長を遂げる中国の銀行市場において、日本はどのようにその「果実」を享受すべきか。日中金融協力の現場に立ってきた著者が、エビデンスに基づく客観的な分析と豊富な図解で、中国金融の最前線と日本の対応策を描き出す。

2019:8./ 238p

978-4-569-84311-7

本体 ¥880+税



日本経済新聞 2019/09/21



ソーシャルメディアの生態系

オリバー・ラケット、マイケル・ケーシー、森内 薫 著

東洋経済新報社

ソーシャルメディアはあらゆるレベルにおいて、生きている有機体のように機能している。ソーシャルメディアにあてはまる生物学 7 つの法則、プラットフォームの生存競争などを解説し、デジタルアーキテクチャの未来を描く。

2019:6./ 449p,13p

978-4-492-50308-9

本体 ¥2,200+税



日本経済新聞 2019/09/21



ディック・ブルーナ～ミッフィーと歩いた 60 年～(文春文庫 も 31-1)

森本 俊司 著

文藝春秋

ミッフィー生みの親、ディック・ブルーナ。意外と知られていないその素顔、そして“世界一愛される絵本”誕生の秘密とは。ブルーナとその関係者に取材を続けてきた著者が、絵本に込められた作者の想いに迫る。

2019:7./ 286p

978-4-16-791319-9

本体 ¥750+税



日本経済新聞 2019/09/21



めぐりながれるもの人類学

石井 美保 著
青土社

フィールドで文化人類学者が見たものとは? タンザニア、インド、60 年安保の水俣、京都大学の「立て看」撤去問題…。異なっていながら同じものに満ち、分かたれていながら?がっている私達の生のあり様を鮮やかに描き出す。

日本経済新聞 2019/09/21

2019:6./ 210p

978-4-7917-7174-5

本体 ¥1,900+税



ユニバース 2.0～実験室で宇宙を創造する～

ジーヤ・メラリ、青木 薫 著
文藝春秋

時空と空間、その全ての始まりを人工宇宙で解き明かす! ビッグバンの残像という手がかり、宇宙の種「磁気単極子」…。第一線の科学者たちへのインタビューを交え、宇宙の始まりについての研究の到達点を明らかにする。

日本経済新聞 2019/09/21

2019:7./ 397p

978-4-16-391065-9

本体 ¥2,200+税



明智光秀と本能寺の変(ちくま新書 1426)

渡邊 大門 著
筑摩書房

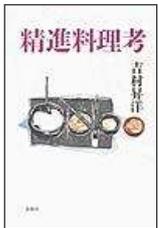
なぜ本能寺で織田信長を討ったのか? 名門・土岐明智を自称しながら足軽衆としてキャリアをスタート。主君を変えながら武功を重ねて頭角を現わした「知将」の人生をたどり、明智光秀という戦国ミステリーの主人公を読み解く。

日本経済新聞 2019/09/21

2019:8./ 286p

978-4-480-07241-2

本体 ¥880+税



精進料理考

吉村 昇洋 著
春秋社

禅の僧食を中心とした“精進料理”の世界を旅しよう! 道元禅師の著書「典座教訓」「赴粥飯法」をベースに、曹洞宗の教える食事に関する心がまえと実践を述べ、インド・中国・日本の僧食の歴史と内容について解説する。

日本経済新聞 2019/09/21

2019:8./ 270p,11p

978-4-393-15902-6

本体 ¥1,900+税



海に生きた百姓たち～海村の江戸時代～

渡辺 尚志 著
草思社

江戸時代、海の男たちは身分的には百姓だった。当時の漁業とはどのようなものだったか? 網元と網子の対立と協調の歴史とは? 江戸時代の全国の漁村の姿を網羅的に紹介し、古文書等から江戸期以降の漁業の実態を追いかける。

日本経済新聞 2019/09/21

2019:7./ 295p

978-4-7942-2404-0

本体 ¥2,200+税



国連事務総長～世界で最も不可能な仕事～

田 仁揆 著
中央公論新社

四半世紀にわたり国連に奉職した著者が、9 人の事務総長が辿った足跡を縦糸に、彼らが異なる時代時代で直面した事案を横糸に、国連事務総長という職の可能性と限界を検証。事務総長と国連が果たしうる役割を考える。

日本経済新聞 2019/09/21

2019:8./ 4p,322p

978-4-12-005225-5

本体 ¥2,500+税





愛(講談社現代新書 2537)

菅野 一徳 著
講談社

友愛、性愛、恋愛、キリスト教の無償の愛…。愛にはさまざまな呼び名があるが、これらはいったい、どのような本質的な意味を共有することで「愛」の名の資格を得ているのか? 「愛」の本質を哲学で解き明かす。

日本経済新聞 2019/09/21

2019:8./ 221p

978-4-06-517047-2

本体 ¥860+税



デジタル時代の競争政策

杉本 和行 著

日本経済新聞出版社

競争政策の役割は、日本経済を強くするための競争環境を整備し、競争市場というインフラが損なわれないようにすること。巨大 IT 企業が市場を牛耳る時代、競争政策はどうあるべきかを、現職の公取委員長が平易に説く。

日本経済新聞 2019/09/21

2019:8./ 10p,161p

978-4-532-35827-3

本体 ¥1,800+税



集中講義 デジタル戦略～テクノロジーバトルのフレームワーク～

根来 龍之 著

日経BP社

デジタル変革に関連する戦略理論の入門書。5G、IoT、Maas、サブスクリプションなどの産業トレンドの変化に対応するための戦略的意思決定に際して押さえておくべき重要なポイントを、理論と事例を交えながら解説する。

日本経済新聞 2019/09/21

2019:8./ 270p

978-4-8222-8963-8

本体 ¥2,000+税



大伴旅人～人と作品～(祥伝社新書 580)

中西 進 編

祥伝社

新元号「令和」の基となった、「万葉集」梅花の歌三十二首并せて序-。その作者・大伴旅人の詩心はどこにあり、彼は何を文学遺産として残したのか。大伴旅人の生涯をたどり、全作品を解釈つきで紹介する。

日本経済新聞 2019/09/21

2019:9./ 225p

978-4-396-11580-7

本体 ¥820+税



家畜化という進化～人間はいかに動物を変えたか～

リチャード・C.フランシス、西尾 香苗 著

白揚社

オオカミをイヌに、イノシシをブタに変えた「家畜化」。人間の作った世界で動物はどのように変わったのか。進化発生生物学やゲノム解析など最新科学を駆使し、文明誕生の鍵を握る家畜化という進化を読み解く。

日本経済新聞 2019/09/21

2019:9./ 558p

978-4-8269-0212-0

本体 ¥3,500+税



メデューサの笑い

エレーヌ・シクスス 著

紀伊國屋書店

日本経済新聞 2019/09/28

1993:7./ 374p

978-4-314-00595-1

本体 ¥3,107+税





タニタの働き方革命

谷田 千里、タニタ 著
日本経済新聞出版社

働く時間や場所にとらわれず、自分自身で主体的に働き方や人生全体をデザインできる。真の「働き方改革」を目指す株式会社タニタの新制度「日本活性化プロジェクト」の誕生の秘密と導入の試行錯誤を描く。体験談も収録。

日本経済新聞 2019/09/28

2019:6./ 222p

978-4-532-32282-3

本体 ¥1,500+税



経済学史～経済理論誕生の経緯をたどる～

野原 慎司、沖 公祐、高見 典和 著
日本評論社

どのような時代の要請が、その理論を生み出したのか。経済学の見取り図を得ることができる一冊。歴史的背景を追いながら、古典古代から現代までの経済理論の概略を初学者にもわかりやすく解説する。

日本経済新聞 2019/09/28

2019:7./ 13p,304p

978-4-535-55927-1

本体 ¥2,700+税



日本社会のしくみ～雇用・教育・福祉の歴史社会学～(講談社現代新書 2528)

小熊 英二 著
講談社

女性や外国人に対する閉鎖性、地方や非正規雇用の格差、生産性の低さ…。日本を支配する「社会の慣習」とは何か? 「日本の働き方」成立の歴史的経緯とその是非を問い、“この国のかたち”を浮き彫りにする。

日本経済新聞 2019/09/28

2019:7./ 601p

978-4-06-515429-8

本体 ¥1,300+税



きのこのなぐさめ

ロン・リット・ウーン、枇谷 玲子、中村 冬美 著
みすず書房

喪失の痛みをのさなか、社会人類学者の著者はふと参加したきのこ講座で、足下に広がるワンダーランドに出会う。きのこ狩り、愛好家の友情、色・形・匂いの個性、レシピ…。きのこの不可思議な魅力を通して描く、魂の再生の物語。

日本経済新聞 2019/09/28

2019:8./ 311p,7p

978-4-622-08809-7

本体 ¥3,400+税



反・経済学入門:経済学は生き残れるか～経済思想史からの警告～

有江 大介 著
創風社

「経済学はどのように生まれたのか」「経済学とは何か」「経済学はどこまで科学か」という問いを、経済思想史の視点から考えた書。数式を一切使用せずに、わかりやすい話し言葉で解説する。入門的な参考文献一覧も掲載。

日本経済新聞 2019/09/28

2019:7./ 268p

978-4-88352-239-2

本体 ¥1,500+税



習近平の中国経済～富強と効率と公正のトリレンマ～(ちくま新書 1431)

石原 享一 著
筑摩書房

改革開放の開始から 40 年。習近平政権の下、対米貿易戦争で中国経済は重大な転機を迎えている。中国は凋落していくのか。長年にわたって中国経済を見つめてきた著者が、矛盾に満ちた経済発展史と今後進むべき道筋を解説する。

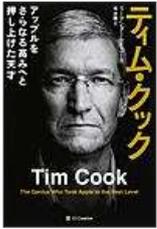
日本経済新聞 2019/09/28

2019:8./ 221p

978-4-480-07248-1

本体 ¥780+税





ティム・クック～アップルをさらなる高みへと押し上げた天才～

リーアンダー・ケイニー、堤 沙織 著

SBクリエイティブ

ジョブズと180度違う経営でAppleを世界初の1兆ドル企業へ押し上げた寡黙なCEOは、何を考え、何をするのか。秘密のベールに包まれた天才ティム・クックの真相を、丹念に紐解く。

2019:8./ 357p

978-4-8156-0250-5

本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2019/09/28



ごめんなさいといえる(小学館文庫 み 2-13)

三浦 綾子、三浦綾子記念文学館 著

小学館

愛について、罪と許しについて、考え続けた作家・三浦綾子の言葉が、心に響いてくる。作家デビュー当時の頃から、1990年代までの幅広い時期のエッセイを収録。「氷点」執筆時の生活を綴る夫・三浦光世の日記も公開。

2019:8./ 251p

978-4-09-406678-4

本体 ¥750+税



日本経済新聞 2019/09/28



カインは言わなかった

芦沢 央 著

文藝春秋

公演直前に失踪を遂げた若きダンサー。鍵を握るのはカリスマ演出家と因縁の弟。芸術の神に魅入られた美しき男達の許されざる罪とは…。夢を追い、欲望に翻弄される人間の哀しき業に迫った慟哭ミステリー。

2019:8./ 357p

978-4-16-391069-7

本体 ¥1,650+税



日本経済新聞 2019/09/28



昭和も遠くなりけり

矢野 誠一 著

白水社

「小沢昭一さんの形見」「飢餓世代」「廓ばなしの名人たち」…。昭和の話ならお手のものの著者が、50年続く「東京やなぎ句会」の句友たちの動向を中心に、思い出の人間模様の数々を生き生きと描く。

2019:8./ 244p

978-4-560-09717-5

本体 ¥2,500+税



日本経済新聞 2019/09/28



奴隷船の世界史(岩波新書 新赤版 1789)

布留川 正博 著

岩波書店

奴隷船で奴隷はいかなる境遇に置かれたのか。奴隷貿易と奴隷制に立ちむかったのはどんな人たちか。奴隷船を主題に、大西洋奴隷貿易をめぐる世界史をたどる。また、現代の奴隷制の様相や今なお残る人種差別の問題にも切りこむ。

2019:8./ 15p,234p,6p

978-4-00-431789-0

本体 ¥860+税



日本経済新聞 2019/09/28



奇跡のチーム～ラグビー日本代表、南アフリカに勝つ～(文春文庫 い 98-2)

生島 淳 著

文藝春秋

2015年ラグビーW杯。エディー・ジョーンズ率いる日本代表は、強豪南アフリカを相手に逆転勝ちを収めた。エディー・ジャパンはなぜ日本ラグビーの歴史を変えることができたのか。徹底取材を通して、その理由を解き明かす。

2019:9./ 268p

978-4-16-791357-1

本体 ¥710+税



日本経済新聞 2019/09/28



資本主義に出口はあるか(講談社現代新書 2536)

荒谷 大輔 著
講談社

新自由主義がもたらす現代の苦悩...本当に「この社会しかありえない」ののだろうか? 本当の意味での「自由」「平等」「多様性の尊重」を実現する社会のあり方とは? 気鋭の哲学者が描く、歴史の法則と未来への道標。

日本経済新聞 2019/09/28

2019:8./ 273p
978-4-06-517016-8

本体 ¥900+税



野生化するイノベーション～日本経済「失われた 20 年」を超える～(新潮選書)

清水 洋 著
新潮社

「米国のやり方」を導入しても、日本企業の生産性が上がらないのはなぜか。「野生化=ヒト・モノ・カネの流動化」という視点から、イノベーションをめぐる誤解や俗説を覆し、日本の成長戦略の抜本的な見直しを提言する。

日本経済新聞 2019/09/28

2019:8./ 259p
978-4-10-603845-7

本体 ¥1,300+税



文革受難死者 850 人の記録～負の世界記憶遺産～

王 友琴、小林 一美、佐々木 恵子、劉 燕子、麻生 晴一郎 著
集広舎

一党独裁 70 年の中国では、死の事実と生の記憶さえも闇に葬られるのか? 毛沢東時代と変わらぬ政治体制下、忘却に抗して文革受難死者 850 人を記録した書。論文、写真も収録する。

日本経済新聞 2019/09/28

2019:7./ 561p
978-4-904213-76-6

本体 ¥5,950+税



奇妙な死刑囚

アンソニー・レイ・ヒントン、栗木 さつき 著
海と月社

貧しい黒人ゆえに、無実のまま死刑囚にされた著者は、狂わんばかりの怒り、絶望、恐怖の果てに、囚人らしからぬ生き方をしはじめ、奇跡を手にする。30 年近く独房に監禁された過酷な体験を綴った回想録。

日本経済新聞 2019/09/28

2019:8./ 465p
978-4-903212-67-8

本体 ¥1,800+税



なぜ女はメルカリに、男はヤフオクに惹かれるのか?～アマゾンに勝つ!日本企業のすごいマーケティング～(光文社新書 1019)

田中 道昭、牛窪 恵 著
光文社

アマゾン分析の第一人者と、トレンド研究の第一人者が、「いまさら聞けない」基本的手法から有望な日本企業の戦略、最新情報や技術まで、マーケティングの秘策を徹底解説。「進化するアマゾン」も分析する。

日本経済新聞 2019/09/28

2019:8./ 385p
978-4-334-04427-5

本体 ¥1,000+税



老妓抄 改版(新潮文庫)

岡本 かの子 著
新潮社

毎日新聞 2019/09/01

2004:10./ 218p
978-4-10-104002-8

本体 ¥460+税





洲崎パラダイス(集英社文庫)

芝木好子 著
集英社
毎日新聞 2019/09/01

1994:9./ 222p
978-4-08-748213-3

本体 ¥390+税



書物の破壊の世界史～シュメールの粘土板からデジタル時代まで～

フェルナンド・バエス、八重樫 克彦、八重樫 由貴子 著
紀伊國屋書店出版部
シュメールの昔から、アレクサンドリア図書館の栄枯盛衰、ナチスによるビブリオコースト、イラク戦争下の略奪行為、電子テロまで。膨大な量の文献や実地調査をもとに、世界各地の書物の破壊の歴史をたどる。

2019:2./ 739p
978-4-314-01166-2

本体 ¥3,500+税



毎日新聞 2019/09/01



ベストセラーはもういない～ニューヨーク生まれ返本ゼロの出版社～

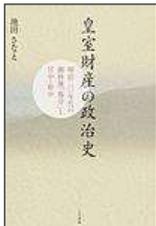
秦 隆司 著
ボイジャー
「出版は「完全に死んでいる」と語ったジョン・オックス。彼は電子本とオンデマンド本の出版社 OR ブックスを経営している。ジャーナリストの著者が OR ブックスの実態などを例に、出版社が生き残るための鍵を解き明かす。

2018:12./ 212p
978-4-86239-850-5

本体 ¥2,500+税



毎日新聞 2019/09/01



皇室財産の政治史～明治二〇年代の御料地「処分」と宮中・府中～

池田 さなえ 著
人文書院
明治維新後、皇室財政を支えるための独自財源のひとつとして模索された、山林や鉱山などで形成される不動産「御料地」。明治 20 年代を舞台に、御料地の設置から払い下げ等の「処分」までを、一次史料をもとに分析・通覧する。

2019:3./ 440p
978-4-409-52076-5

本体 ¥6,800+税



毎日新聞 2019/09/01



障害のある子が将来にわたって受けられるサービスのすべて(備えて安心)

渡部 伸 著
自由国民社
保育・教育から就労相談、生活面で利用したい各種サービス、親が亡くなったあとを支える制度まで、障害があることで利用できる福祉サービス、公的な支援策、経済的なサポート制度などを、本人の年代やシーンごとに紹介する。

2019:4./ 191p
978-4-426-12534-9

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2019/09/01



国語教師

ユーディット・W.タシュラー、浅井 晶子 著
集英社
女は国語教師、男は有名作家。16 年ぶりに再会した元恋人たちは、即興で物語を披露し合う。男は自分の祖父を主人公にした物語を、女は「私」が若い男性を監禁する物語を。だがそれは、次第に過去の暗い事件へ?がりがり...

2019:5./ 285p
978-4-08-773498-0

本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2019/09/01



世界戦争の世紀～20世紀知識人群像～

桜井 哲夫 著
平凡社

戦争がつくる世界のなかで、誰が誰とともに、どう生きたか。2つの「世界戦争」という政治現象を柱にしつつ、その流れのなかに翻弄され続けたヨーロッパ知識人の思想と行動をからめながら、20世紀の歴史と思想を跡づける。

毎日新聞 2019/09/01

2019:7./ 855p
978-4-582-70361-0

本体 ¥6,400+税



ことばを写す～鬼海弘雄対話集～

鬼海 弘雄、山岡 淳一郎 編
鬼海 弘雄、山田 太一 著
平凡社

山田太一、荒木経惟、平田俊子、道尾秀介、田口ランディ…。第一線で活躍する創作者たちと、写真家・鬼海弘雄が、ジャンルを超えて縦横に語り合う。『アサヒカメラ』掲載をまとめて単行本化。

毎日新聞 2019/09/01

2019:7./ 189p
978-4-582-23130-4

本体 ¥2,200+税



ヒロシマの『河』～劇作家・土屋清の青春群像劇～

八木 良広 編
土屋 清 著
藤原書店

米占領下の広島を舞台に、理想社会の実現へと疾走する「原爆詩人」峠三吉らを描いた土屋清の戯曲「河」。広島で演劇に人生をかけた土屋の生きかたと、半世紀以上経っても色あせずに残る名作戯曲の軌跡を追う。

毎日新聞 2019/09/01

2019:7./ 354p 図版 12p
978-4-86578-231-8

本体 ¥3,200+税



江戸っ子漱石先生からの手紙～一〇〇年後のきみへ～(世界をカエル)

渡邊 文幸 著
理論社

小生は人に手紙をかく事ともらう事が大好きである。生涯に書いた手紙は 2500通以上。人間・夏目漱石の人生を、学生・教師・留学生・作家の各時期に書いた手紙でたどり、明治から大正へ移り変わる日本の姿を見つめ直す。

毎日新聞 2019/09/01

2019:7./ 262p
978-4-652-20307-1

本体 ¥1,300+税



賜物(ナボコフ・コレクション)

ウラジーミル・ナボコフ、ウラジーミル・ナボコフ、沼野 充義、小西 昌隆 著
新潮社

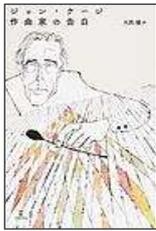
若き詩人は、父の影を追い芸術家へと羽化する。言語遊戯の技巧を尽くし、名作文学の引喩に満ちた、ナボコフのロシア語時代の最後にして最高の大長篇「賜物」と、初邦訳の短篇「父の蝶」を収録。

毎日新聞 2019/09/01

2019:7./ 635p,2p
978-4-10-505609-4

本体 ¥5,700+税





ジョン・ケージ作曲家の告白

ジョン・ケージ、大西 穰 著
アルテスパブリッシング

1992年8月に亡くなった米国の現代音楽作曲家ジョン・ケージ。彼が自らの半生と思想を語った、1948年と1989年の自伝的講演を収録する。講演の解題、訳者解説も掲載。

毎日新聞 2019/09/01

2019:7./ 125p

978-4-86559-206-1

本体 ¥1,600+税



菜の花の沖縄日記

坂本 菜の花 著
ヘウレーカ

生まれ故郷の石川県を離れ、遠い沖縄で高校生活を始めた15歳の少女・菜の花。彼女が見て感じた、ありのままの沖縄をみずみずしい感性で綴る。『北陸中日新聞』連載を単行本化。

毎日新聞 2019/09/01

2019:8./ 198p

978-4-909753-04-5

本体 ¥1,600+税



村山槐多詩集

窪島 誠一郎 編
村山 槐多 著

JRC

「死」から「生」へ、「生」から「死」へ。全速力で疾走した無垢なる詩魂のかたまり、村山槐多。その1913年から没年の1919年までの作品を収録した歿後100年記念詩集。窪島誠一郎による解題も掲載。

毎日新聞 2019/09/01

2019:7./ 430p

978-4-86538-097-2

本体 ¥2,500+税



黒い豚の毛、白い豚の毛〜自選短篇集〜

閻 連科、谷川 毅 著
河出書房新社

ヒラヒラと舞う雪花、冬の枯草の暖かい匂い、鉄の規律に縛られた軍隊生活、テーブルに刺さった赤い箸の十字架…。ノーベル文学賞候補と目される作家が自ら選んだ、農村と軍隊と信仰をめぐる9つの短篇を収録する。

毎日新聞 2019/09/01、朝日新聞 2019/09/14

2019:7./ 266p

978-4-309-20773-5

本体 ¥2,900+税



神前酔狂宴

古谷田 奈月 著
河出書房新社

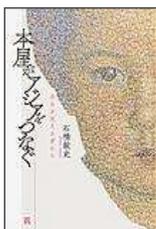
神社の結婚披露宴場で働く浜野、梶、倉地。配膳スタッフとして日々披露宴の「茶番」を演じるうちに、神社の祀る神が明治日本の軍神であることを知り…。結婚、家族、日本という壮大な茶番を切り裂く。『文藝』掲載を単行本化。

毎日新聞 2019/09/01、読売新聞 2019/09/15

2019:7./ 226p

978-4-309-02808-8

本体 ¥1,600+税



本屋がアジアをつなぐ〜自由を支える者たち〜

石橋 毅史 著
ころから

ソウルで、香港で、台北、那覇、東京で…。「本屋」は、その町に暮らす人びとの自由を支えてきた。出版ジャーナリストの石橋毅史が国境をひとつ越えて出会った「本屋」たちの物語。『東京新聞』等連載を単行本化。

毎日新聞 2019/09/01、日本経済新聞 2019/09/28

2019:8./ 158p

978-4-907239-41-1

本体 ¥1,700+税





美しい日本語 荷風<1> 季節をいとおしむ言葉

永井 荷風、持田 叙子、高柳 克弘 著
慶應義塾大学出版会

永井荷風の生誕 140 年、没後 60 年を記念して、荷風の美しい日本語を詩・散文、俳句から選りすぐり、堪能できるアンソロジー。1 は、「牡丹の客」「葡萄棚」「雪のやどり」など、季節をいとおしむ言葉を収録。

2019:8./ 222p
978-4-7664-2616-8

本体 ¥2,700+税



毎日新聞 2019/09/02



純潔～Shining Snow～

嶽本 野ばら 著
新潮社

大学のキャンパスで出会った君は独り政治活動を行い、浮きまくっていた。アニメ研究会に引きずり込まれた僕は、ヲタと 2 次元の洗礼を受けつつ、君に惹かれ、身を投じていく…。『新潮』掲載を大幅に加筆修正。

2019:7./ 503p
978-4-10-466006-3

本体 ¥2,900+税



毎日新聞 2019/09/07



熱源

川越 宗一 著
文藝春秋

樺太で生まれたアイヌ、ヤヨマネクフは故郷を奪われたポーランド人や、若き日の金田一京助と出会い、自らの生きる意味を見出し…。明治維新後、樺太のアイヌに何が起こっていたのか。アイヌの闘いと冒険を描く傑作巨篇。

2019:8./ 426p
978-4-16-391041-3

本体 ¥1,850+税



毎日新聞 2019/09/07



原爆供養塔～忘れられた遺骨の 70 年～(文春文庫 ほ 24-1)

堀川 恵子 著
文藝春秋

広島市の平和記念公園にある原爆供養塔には、7 万人もの被爆者の遺骨がひっそりとまつられている。氏名や住所がわかっていながら、なぜ無縁仏とされたのか。引き取り手なき遺骨の謎をたどる本格ノンフィクション。

2018:7./ 430p
978-4-16-791109-6

本体 ¥880+税



毎日新聞 2019/09/08



骨が語る兵士の最期～太平洋戦争・戦没者遺骨収集の真実～(筑摩選書 0163)

檜崎 修一郎 著
筑摩書房

玉砕、飢餓、処刑-。太平洋各地で旧日本軍兵士及び民間人約 500 体の遺骨を鑑定してきた人類学者が、ツバル共和国からサイパン島、樺太まで、戦没者の遺骨収集と鑑定におけるさまざまな体験をレポートする。

2018:7./ 234p
978-4-480-01670-6

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2019/09/08



ふるさとは本日も晴天なり(ハルキ文庫 よ 11-1)

横山 雄二 著
角川春樹事務所

深夜のラジオ放送に熱中していた少年・横山雄二は、苦勞の末、放送局のアナウンサーに合格する。人気アナウンサーへの階段を上っていたが、ある事件をきっかけに会社で孤立してしまい…。広島県の現役アナウンサーによる小説。

2018:10./ 304p
978-4-7584-4209-1

本体 ¥680+税



毎日新聞 2019/09/08



ひとりで暮らす、ひとりを支える～フィンランド高齢者ケアのエスノグラフィ～

高橋 絵里香 著
青土社

「豊かで手厚い福祉」というイメージの北欧・フィンランド。しかし、実際はどうか。長年、島嶼地域に暮らす独居高齢者たちを調査してきた気鋭の文化人類学者が、フィンランドの高齢者介護のリアルを描き出す。

2019:4./ 261p

978-4-7917-7161-5

本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2019/09/08



表現の自由とメディアの現在史～統制される言論とジャーナリズムから遠ざかるメディア～

田島 泰彦 著
日本評論社

自公政権末期?民主党政権?自民党安倍政権のもとで広がってきた言論・メディア統制。それに対抗しきれず、本来のジャーナリズムのありかたから遠ざかってきたメディアの現状を振り返り、言論の自由とメディアの役割を問う。

2019:6./ 7p,277p

978-4-535-52435-4

本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2019/09/08



ミュシャから少女まんがへ～幻の画家・一条成美と明治のアー・ヌーヴォー～(角川新書 K-273)

大塚 英志 著
KADOKAWA

「少女まんが」の描線の起源はどこにあるのか。アー・ヌーヴォーの画家、ミュシャのアートは、いかにして日本に受容されたのか。一条成美にスポットライトを当て少女まんがの起源を描く。図版も多数収録。

2019:7./ 365p

978-4-04-082314-0

本体 ¥1,100+税



毎日新聞 2019/09/08



美学への招待 増補版(中公新書 1741)

佐々木 健一 著
中央公論新社

芸術に対し抱く素朴な感想や疑問を手がかりに解きほぐす美学入門書。科学技術の発展により、複製がオリジナル以上に影響力を持つようになった芸術のあり方・捉え方の変化を論じる。新しい潮流を大幅増補。

2019:7./ 10p,316p

978-4-12-191741-6

本体 ¥1,000+税



毎日新聞 2019/09/08



大英自然史博物館珍鳥標本盗難事件～なぜ美しい羽は狙われたのか～

カーク・ウォレス・ジョンソン、矢野 真千子 著
化学同人

大英自然史博物館から約 300 羽の鳥の標本が消えた。世にも美しい鳥が行きついた先は、希少な羽で毛針を制作する愛好家たちの世界だった。2009 年 6 月に起きた盗難事件の真相に迫る犯罪ルポルタージュ。

2019:8./ 381p 図版 16p

978-4-7598-2013-3

本体 ¥2,800+税



毎日新聞 2019/09/08



ナチ 本の略奪

アンデシュ・リデル、北條 文緒、小林 祐子 著
国書刊行会

世界を思想的にも制覇しようとするナチの野望にとって、歴大な本を略奪し、それを用い「敵」を研究し尽くすことが不可欠だった。ナチによる本の略奪と四散、そして戦後の返還にまつわるさまざまな困難について語る。

2019:7./ 431p

978-4-336-06321-2

本体 ¥3,200+税



毎日新聞 2019/09/08



テニアン～太平洋から日本を見つめ続ける島～

吉永 直登 著
あけび書房

原爆投下の出撃基地だったテニアン。現在まで残る記憶と多くの元住民がつづった文章、筆者が会った人たちの話を結び、そこで生き、歴史を紡いだ日本人たちの足跡を克明に描く。

2019:7./ 254p
978-4-87154-168-8

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2019/09/08



加藤武芝居語り～因果と丈夫なこの身体～

市川 安紀 著
筑摩書房

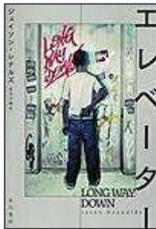
フランキー堺らとの友情、杉村春子の教え、太地喜和子の最期…。戦後の演劇界・映画界を駆け抜けた役者・加藤武が江戸弁で豪快に語った芝居人生の軌跡。生前最後のインタビューをまとめた一冊。『キネマ旬報』掲載を加筆修正。

2019:7./ 332p
978-4-480-81852-2

本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2019/09/08



エレベーター

ジェイソン・レナルズ、青木 千鶴 著
早川書房

ウィルの兄が射殺された。悲しみに暮れるウィルが兄の洋服?笥から見つけたのは、1挺の拳銃。仲間内に伝わる「掟」に従って犯人を殺すため、銃を持ってエレベーターに乗り込むが、そこで出会うはずのない「何か」に出会う…。

2019:8./ 317p
978-4-15-209878-8

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2019/09/08



世界はたくさん、人類はみな他人

本橋 成一 著
かもがわ出版

「炭鉱(ヤマ)」で写真家としてデビューしてから半世紀。「いのちを見つめること」を作品の根底に据え続けてきた本橋成一の初めてのエッセイ集。『信濃毎日新聞』連載に加筆修正し書籍化。

2019:8./ 143p
978-4-7803-1038-2

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2019/09/08



夢見鳥

中村 吉右衛門 著
日本経済新聞出版社

一代で名優にのぼりつめた初代の跡を継ぐという重みが、さらなる高みを目指して、たゆまぬ修行に向かわせた。現代歌舞伎の第一人者が 75 年の半生を振り返る。『日本経済新聞』連載を加筆修正し単行本化。上演記録も掲載。

2019:8./ 279p
978-4-532-17670-9

本体 ¥2,300+税



毎日新聞 2019/09/08



昭和天皇の声

中路 啓太 著
文藝春秋

昭和天皇が政治的決定を下したのは三度。日本にとって、天皇とはいかなる存在か。国民の想いに戸惑い、悩む、生身の天皇の姿を描く。『オール讀物』掲載をまとめて単行本化。

2019:8./ 249p
978-4-16-391071-0

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2019/09/08、産経新聞 2019/09/29



カフカの生涯(白水 U ブックス)

池内 紀 著

白水社

有能な公務員としての業績、家業とのかかわり、女性たちとの関係…。カフカ自身の言葉、日記や手紙、また作品という「精神の証言」をよりどころに、作家の内面に忍び込んだユニークな評伝。

2010:6./ 350p

978-4-560-72116-2

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2019/09/15



キノの旅～the Beautiful World～<1>(電撃文庫 0461)

時雨沢 恵一 著

KADOKAWA

毎日新聞 2019/09/15

2000:7./ 238p

978-4-04-866849-1

本体 ¥530+税



罪と罰の彼岸～打ち負かされた者の克服の試み～ 新版

ジャン・アメリー、池内 紀 著

みすず書房

収容所を脱走し、反ナチス運動へ。再逮捕と拷問、強制収容所を生き延びた著者が、社会が人間の尊厳を奪うとはどのようなことか、人は何によって人間であるのかを、自らの体験を遡り、手探りするように綴った省察の記録。

2016:10./ 212p

978-4-622-08519-5

本体 ¥3,700+税



毎日新聞 2019/09/15



記憶の海辺～一つの同時代史～

池内 紀 著

青土社

人生の軌跡をたどり、何を実証しようとしたのか。念願としたのは私的な記録を通じた時代とのかかわりだった…。10歳のときの朝鮮戦争から、カフカ訳を終えた60歳までをたどる、自伝的回想録。『ユリイカ』掲載を書籍化。

2017:12./ 355p

978-4-7917-7023-6

本体 ¥2,400+税



毎日新聞 2019/09/15



彼女たちの場合は

江國 香織 著

集英社

「これは家出ではないので心配しないでね」14歳と17歳。少女は2人きりで“アメリカを見る”旅に出た…。美しい風景と愛すべき人々、そして「あの日の自分」に出会える長編小説。『小説すばる』連載を加筆・修正。

2019:4./ 472p

978-4-08-771183-7

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2019/09/15



工場日記

シモーヌ・ヴェイユ、富原 眞弓 著

みすず書房

哲学教師としてリセで教鞭を執ったのち、自ら女工の生活に飛び込んだ、フランスの思想家・ヴェイユ。苛酷な労働の中に生まれる思考と感情を書き留めた記録に、工場の作業、機械や道具の仕組みについての校閲を加えた決定版。

2019:7./ 257p

978-4-622-08817-2

本体 ¥4,200+税



毎日新聞 2019/09/15



ヒト、犬に会う～言葉と論理の始原へ～(講談社選書メチエ 705)

島 泰三 著
講談社

1万5000年前に始まった人間と犬の共生。幻想や感情で判断する人間、論理的に判断する犬。犬は人の言葉を理解し、人の心を読み、人の窮地を救う。人間と犬、運命共同体としての関係の特異性と起源を探る。

毎日新聞 2019/09/15

2019:7./ 266p

978-4-06-516644-4

本体 ¥1,750+税



トマト・ブック

坂田 阿希子 著
東京書籍

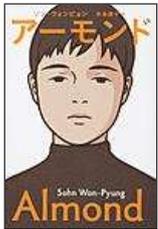
真っ赤で、おいしくて、瑞々しくて、世界中で愛されているトマト。冷やしトマト、フライトマト、ガスパチョ、ラムとトマトのオープン焼き、手作りケチャップのナポリタンなどを収めた、一冊丸ごとトマト料理の本。

毎日新聞 2019/09/15

2019:7./ 127p

978-4-487-81291-2

本体 ¥1,500+税



アーモンド

ソン ウォンピョン、矢島 暁子 著
祥伝社

アーモンド(扁桃腺)が人より小さく、怒りや恐怖を感じるできないユンジェ。彼の前にもうひとりの“怪物”が現れて…。他人の感情がわからない少年と、物心もつかないうちに親とはぐれた不良少年、2人の成長物語。

毎日新聞 2019/09/15

2019:7./ 267p

978-4-396-63568-8

本体 ¥1,600+税



レス

アンドリュー・ショーン・グリア、上岡 伸雄 著
早川書房

小説家レスのもとに、9年間付き合った元恋人の結婚式への招待状が届く。どうやったら式から逃れられるか。出席を断る口実に、レスは世界中の文学イベントをめぐる旅に出る…。旅路の果てに、愛は見つかるのか?

毎日新聞 2019/09/15

2019:8./ 325p

978-4-15-209877-1

本体 ¥2,600+税



京の工芸ものがたり<2>

中野 仁人、澤田 美恵子、ブライアン・チェン 著
理論社

手描友禅、七宝、京焼、御所人形、蒔絵…。装飾性に特化した、あるいは機能を超えた工芸品を取り上げ、京の工芸品の作り手たちの知られざる物語を、日本語と英語で綴る。

毎日新聞 2019/09/15

2019:6./ 207p

978-4-652-20315-6

本体 ¥1,800+税



ノモンハン責任なき戦い(講談社現代新書 2538)

田中 雄一 著
講談社

関東軍はなぜソ連・モンゴル軍に大敗を喫したのか。この悲惨な敗戦から、なぜ何も学ばなかったのか。一次資料を基に、“太平洋戦争への序曲”とも言われるノモンハン事件の全貌を描き出す。NHKスペシャルをもとに新書化。

毎日新聞 2019/09/15

2019:8./ 243p

978-4-06-516857-8

本体 ¥900+税





人生も仕事も変わる!最高の遊び方

成毛 眞 著
宝島社

遊びから創造する力、イノベーションを起こせ! 遊びの達人・成毛眞が、遊びの本質、自身がこれまでやってきた遊び、世界の超一流たちの遊び方について述べ、成毛流大人の遊び 20 を紹介する。俳優・六角精児との対談も収録。

2019:7./ 222p

978-4-8002-9552-1

本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2019/09/15



叱られ、愛され、大相撲!〜「国技」と「興行」の100年史〜(講談社選書メチエ 709)

胎中 千鶴 著
講談社

東京で、大阪で、台湾で、満洲で、お相撲さんたちは、それぞれの相撲道を追求してきた。国会で叱られても、戦地で怖い目にあっても…。「興行」と「国技」という2つの側面から、大相撲 100 年の歴史をたどる。

2019:9./ 269p

978-4-06-517211-7

本体 ¥1,750+税



毎日新聞 2019/09/15



ロヒンギャ難民 100万人の衝撃

中坪 央暁 著
めこん

ロヒンギャ問題とは何か、あの日何が起きたのか、解決の道はあるのか、そして日本に何が出来るのか…。バングラデシュで実際にロヒンギャ難民支援に従事してきた元新聞記者が、この未曾有の人道危機をレポートする。

2019:8./ 525p 図版 5 枚

978-4-8396-0317-5

本体 ¥4,000+税



毎日新聞 2019/09/15



世界のキッチンから〜商品開発と写真の関係〜

高橋 ヨーコ 著
美術出版社

キリンビバレッジから発売されている清涼飲料水「世界の Kitchen から」の商品開発メンバーが世界各地のキッチン取材。イタリア、デンマーク、台湾など 18 か国のキッチン写真家・高橋ヨーコが撮影した記録写真集。

2019:9./ 318p

978-4-568-50641-9

本体 ¥2,900+税



毎日新聞 2019/09/15



スカラ座〜吉田林檎句集〜(知音青炎叢書 14)

吉田 林檎 著
ふらんす堂

春水や心の底に石ひとつ 泣くほどのことにはあらず冬灯 そこにのみ日の差す
ごとし冬桜 未婚でも既婚でもなく寒茜 平成 22 年から 30 年までの作品をまとめた第 1 句集。

2019:8./ 196p

978-4-7814-1206-1

本体 ¥2,100+税



毎日新聞 2019/09/16



サピエンス全史〜文明の構造と人類の幸福〜<上>

ユヴァル・ノア・ハラリ 著
河出書房新社

アフリカでほそぼそと暮らしていたホモ・サピエンスが、食物連鎖の頂点に立ち、文明を築いたのはなぜか。その答えを解く鍵は「虚構」にある。人類史全体をたどることで、我々ほどのような存在なのかを明らかにする。

2016:9./ 267p

978-4-309-22671-2

本体 ¥1,900+税



毎日新聞 2019/09/22



サピエンス全史～文明の構造と人類の幸福～<下>

ユ瓦尔・ノア・ハラリ 著

河出書房新社

なぜ文明は爆発的な進歩を遂げ、ヨーロッパは世界の覇権を握ったのか?その答えは「帝国、科学、資本」のフィードバック・ループにあった。人類史全体をたどることで、我々はどうのような存在なのかを明らかにする。

毎日新聞 2019/09/22

2016:9./ 294p

978-4-309-22672-9

本体 ¥1,900+税



日産自動車極秘ファイル 2300 枚～「絶対的権力者」と戦ったある課長の死闘 7 年間～

川勝 宣昭、勝見 明 著

プレジデント社

カルロス・ゴーンがやってくる 13 年前、日産の経営を凋落させる原因を作った労組問題。日産圏 23 万人の頂点に君臨したのが塩路一郎だった。絶対的権力者に「義憤」の戦いを挑み、少数の同志とともに労組体制を倒した記録。

毎日新聞 2019/09/22

2018:12./ 283p

978-4-8334-2303-8

本体 ¥1,600+税



いつもそばには本があった。(講談社選書メチエ 700)

國分 功一郎、互 盛央 著

講談社

書物とは、交錯する記憶のネットワークである。書き手は積み上げられてきた知の記憶にアクセスし、読み手は読書の時空の記憶とともに本に出会う。人文書をめぐる状況の変遷を受けとめ、2 人の著者が書物について交互に語る。

毎日新聞 2019/09/22

2019:3./ 125p

978-4-06-515012-2

本体 ¥900+税



三河吉田藩・お国入り道中記(インターナショナル新書 036)

久住 祐一郎 著

集英社インターナショナル

天保 12 年、三河吉田藩の参勤交代の行列が江戸を出発した。しかし、決まらない日程、ダブルブッキング、馬に乗れない老家臣など、数々の難題が…。藩の目付役が書き残した詳細な記録を繙き、働く武士のリアルな姿を描く。

毎日新聞 2019/09/22

2019:4./ 234p

978-4-7976-8036-2

本体 ¥840+税



暴君～新左翼・松崎明に支配された JR 秘史～

牧 久 著

小学館

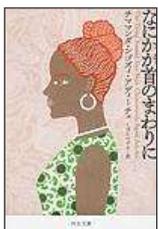
機関士に憧れた少年時代から、「革マル派」最高幹部、JR 東日本「影の社長」へ…。国鉄解体前後から 30 余年に及んで“封印”されてきた、松崎明の生涯を軸に展開する、複雑怪奇な平成 JR の裏面史。

毎日新聞 2019/09/22

2019:4./ 476p

978-4-09-388665-9

本体 ¥2,000+税



なにかが首のまわりに(河出文庫 ア 10-1)

チママンダ・ンゴズィ・アディーチェ 著

河出書房新社

アメリカに渡ったナイジェリアの少女の深い悲しみをみずみずしく綴った表題作(「アメリカにいる、きみ」改題)のほか、人種、ジェンダー、家族にまつわるステレオタイプな思考を解きほぐす、切なく繊細な短編全 12 編を収録。

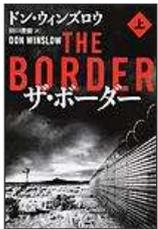
毎日新聞 2019/09/22

2019:7./ 318p

978-4-309-46498-5

本体 ¥1,150+税





ザ・ボーダー<上>(ハーパーBOOKS M・ウ 3・3)

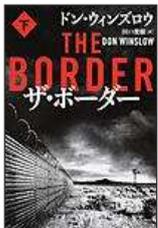
ドン・ウィンズロウ、田口 俊樹 著
ハーパーコリンズ・ジャパン

グアテマラの殺戮から 1 年。メキシコの麻薬王アダン・バレーラの死は、新たな混沌と破壊を解き放った。後継者を指名する遺言が火種となり、カルテルの玉座をかけた抗争が勃発。一方、ヘロイン流入が止まらぬアメリカでは...

毎日新聞 2019/09/22

2019:7./ 765p
978-4-596-54118-5

本体 ¥1,296+税



ザ・ボーダー<下>(ハーパーBOOKS M・ウ 3・4)

ドン・ウィンズロウ、田口 俊樹 著
ハーパーコリンズ・ジャパン

メキシコでは再び恐怖が街を支配していた。熾烈を極める抗争、凄惨さを競って SNS で拡散する虐殺映像。終わりなき血と暴力の連鎖に、ケラーは米国国内からカルテルへの金の流れを断つべく、囹捜査官を潜入させ...

毎日新聞 2019/09/22

2019:7./ 814p
978-4-596-54119-2

本体 ¥1,324+税



2100年の世界地図～アフリシアの時代～(岩波新書 新赤版 1788)

峯 陽一 著
岩波書店

2100 年までに世界の人口は 100 億人を超え、アフリカとアジア、すなわち「アフリシア」の人々がその 8 割以上を占める。地理情報システムの手法を駆使し、人口分布など地球規模の情報を多彩なカラー地図で示す。

毎日新聞 2019/09/22

2019:8./ 8p,207p,7p
978-4-00-431788-3

本体 ¥960+税



久米正雄作品集(岩波文庫 31-224-1)

久米 正雄、石割 透 編
久米 正雄 著
岩波書店

芥川、菊池らと共に「新思潮」に集い、様々な個性が競い合う文壇に新鮮な風を吹き込み、注目を集めた久米正雄。「受験生の手記」「競漕」等の青春小説をはじめ、俳句、随想など、多岐にわたる久米作品を精選する。

毎日新聞 2019/09/22

2019:8./ 390p
978-4-00-312241-9

本体 ¥850+税



吉田都 永遠のプリンシパル

吉田 都 著
河出書房新社

日本が生んだ世界のプリマ、吉田都の輝かしいキャリアを振り返るメモリアルブック。35 年分の秘蔵フォト、愛するレパートリー 15 作品に込めた思い、舞台裏、寄稿等を収録する。見返しにも写真あり。

毎日新聞 2019/09/22

2019:8./ 127p
978-4-309-29042-3

本体 ¥3,150+税



生きることばへ～余命宣告されたら何を读みますか?～

金子 直史 著
言視舎

病を得て余命宣告された硬派のジャーナリストが、死に直面した文化人たちの格闘を読み解き、伝えた、いのちをかけた読書案内。共同通信社から地方紙各紙に配信された連載に、並行して書かれた詳細な日記等を付す。

毎日新聞 2019/09/22

2019:8./ 270p
978-4-86565-155-3

本体 ¥1,600+税





街灯りとしての本屋〜11書店に聞く、お店のはじめ方・つづけ方〜

田中 佳祐、竹田 信弥 著
雷鳥社

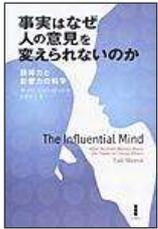
小さな個人書店が増えているいまの時代に生成しつつある、本屋に魅せられた人々の物語を紹介した本。11の書店に聞いた、お店のはじめ方・つづけ方や、本屋を始めたい人のための Q&Aなどを収録する。

2019:7./ 159p
978-4-8441-3758-0

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2019/09/22



事実なぜ人の意見を変えられないのか〜説得力と影響力の科学〜

ターリ・シャーロット、上原 直子 著
白揚社

人はいかにして他人に影響を与え、他人から影響を受けているのか。そのとき、脳の内部では何が起きているのか。認知神経科学者が、興味深い実験やユーモアに富んだ逸話を交えて「影響力」の秘密を紹介する。

2019:8./ 285p
978-4-8269-0213-7

本体 ¥2,500+税



毎日新聞 2019/09/22



アルハンブラ物語(講談社文庫)

ワシントン・アーヴィング 著
講談社

毎日新聞 2019/09/29

1983:9./ 377p
978-4-06-133105-1

本体 ¥583+税



スケッチ・ブック<上>(岩波文庫 32-302-0)

アーヴィング、齊藤 昇 著
岩波書店

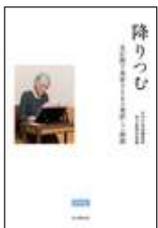
「アメリカ文学の父」アーヴィングの最高傑作といわれる、短篇小说ありエッセイありの雑記帳。アメリカ版浦島太郎「リップ・ヴァン・ウィンクル」をはじめ、おもに英国の風俗習慣を素描した、格調高い筆致の全19篇を収録。

2014:11./ 393p
978-4-00-373001-0

本体 ¥900+税



毎日新聞 2019/09/29



降りつむ〜皇后陛下美智子さまの英訳とご朗読〜

宮内庁侍従職、毎日新聞出版 編
宮内庁侍従職 著

毎日新聞出版

皇后陛下美智子さまが長年取り組まれてきた詩や御歌の英訳とご朗読の世界を紹介。皇后さまの英訳された詩と御歌のほか、「降りつむ」の楽譜も掲載する。皇后さまのご朗読映像を収録した DVD 付き。

2019:2./ 102p
978-4-620-32535-4

本体 ¥2,500+税



毎日新聞 2019/09/29



朝鮮戦争に「参戦」した日本

西村 秀樹 著
三一書房

朝鮮戦争でアメリカの基地国家となった日本。その最中に吹田枚方事件は起きた。毎日放送の元記者が、朝鮮戦争に日本が実質的に「参戦」していた実態と、当時日本国内で起きた反戦運動・吹田枚方事件の実相を明らかにする。

2019:6./ 319p
978-4-380-19004-9

本体 ¥2,500+税



毎日新聞 2019/09/29



ルポ「断絶」の日韓～なぜここまで分かり合えないのか～(朝日新書 721)

牧野 愛博 著

朝日新聞出版

徴用工判決、慰安婦財団、天皇謝罪要求…。どうして「日韓」はこんなにこじれるのだろうか？ 朝日新聞前ソウル支局長が「戦後最悪」の日韓関係の背景、韓国の「論理と本音」を明らかにし、解決のヒントを提示する。

2019:6./ 286p

978-4-02-295024-6

本体 ¥850+税



毎日新聞 2019/09/29



大岡昇平の時代

湯川 豊 著

河出書房新社

「俘虜記」に始まり、「昭和末」で終わる。時に厳しく、時に不器用に、全身を「文学」に捧げた作家、大岡昇平。昭和という時代を背負った真の文学者の生涯を辿り、その覚悟に迫る。『文藝』連載を加筆修正の上、改題。

2019:9./ 305p

978-4-309-02824-8

本体 ¥2,300+税



毎日新聞 2019/09/29



文楽芸談～三味線竹澤團七 橋寿のつぶやき～

竹澤 團七、荒木 雪破 著

東方出版

18歳で三味線弾きの初舞台を踏んで60余年。84歳にして現役バリバリ團七師匠の味わい深い語り口から湧き出る豊富な文楽の芸談。師匠彌七のこと、修行のこと、巡業のこと、文楽三味線のこと…これまでの半生を語る。

2019:8./ 206p

978-4-86249-368-2

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2019/09/29



日本近現代史講義～成功と失敗の歴史に学ぶ～(中公新書 2554)

山内 昌之、細谷 雄一 著

中央公論新社

明治維新から、日清・日露戦争、第二次世界大戦、東京裁判と歴史認識問題、戦後日中関係、そして未来に向けた歴史観の問題まで。特定の歴史観やイデオロギーに偏らず実証を旨とする、第一線の研究者たちによる入門講義。

2019:8./ 310p

978-4-12-102554-8

本体 ¥900+税



毎日新聞 2019/09/29



リバランス～米中衝突に日本はどう対するか～

エズラ・F.ヴォーゲル、加藤 嘉一 著

ダイヤモンド社

揺らぐ習近平 VS 暴走トランプ。漂うばかりの「いい人」日本は真の大人になれるか？ 日中の歴史、国民性、価値観を知り尽くし、米国の東アジア政策に影響を与えてきた知の巨人が語り尽くす。

2019:8./ 12p,290p

978-4-478-10862-8

本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2019/09/29



危機を生きる言葉～2010年代現代詩クロニクル～

野村 喜和夫 著

思潮社

詩は、私たちの手を使って、未来からの言語が書かせるものである。2011年?2018年の詩的時評に、石原吉郎から小笠原鳥類までを論じた詩人論を交差させた、2010年代現代詩のクロニクル。

2019:8./ 365p

978-4-7837-3820-6

本体 ¥3,200+税



毎日新聞 2019/09/29



玲子さんの心地いい時間〜おしゃれと暮らしのエッセンス〜(TJ MOOK)

西村 玲子 著
宝島社

「かわいい」や「素敵」は生きる力。西村玲子が心地よく過ごすための年齢に沿ったおしゃれやインテリア雑貨、旅の過ごし方などをかわいいイラストとともに紹介する。『大人のおしゃれ手帖』連載を書籍化。

2019:8./ 111p
978-4-8002-9397-8

本体 ¥1,200+税



毎日新聞 2019/09/29



謝名元慶福戯曲集 島口説

謝名元 慶福 著
ゆい出版

毎日新聞 2019/09/29

2019:8.
978-4-946539-37-4

本体 ¥3,000+税

